

事項一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七一 五月二十七日 在広東太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

湖南省ニ於テ吳佩孚譚延闔ガ湖南督軍張敬堯攻撃ニ
出デタルハ陸榮廷曹錕李純及張作霖力仕組ミタル陰
謀ナル旨容伯廷内報ノ件

第九〇号

（五月二十八日接受）

容伯廷ガ督軍公署ヨリ聞込ミタル所ナリトシテ二十六日森
岡ニ語レル所ニ依レバ湖南危険切迫セル為メ本日軍政府ハ
譚延闔ニ対シ初メテ軍資ヲ送リ金額ハ不明ナルモ財政困難
ノ折柄ニ付十万弗ヲ超エザルベシト思ハル吳佩孚ノ軍ハ目
下易家湾ニ止マリ後統部隊タル譚延闔ガ馬済、楊益謙等部
下ノ軍隊ノ到着ヲ待チツアリ南軍ハ譚軍二万、吳軍三
万、馬軍五千、楊軍四千計約五万九千北軍ハ張吳ノ軍合セ
テ四万ヲ出デズ今回吳佩孚カ（不明）ヲ名トシテ北進シ張
敬堯等ニ挑戦スルニ至リタルハ実ハ陸榮廷、曹錕、李純及
張作霖ノ四名ガ仕組ミタル芝居ニテ或ハ時局ガ意外ノ辺ニ
發展シ全國大動乱ノ端ヲ啓クコトナキヲ保セズ段祺瑞ガ再

ビ内閣ヲ組織セントスル野心ヲ仄メカシ来レル今日ノ機会
ニ乗ジ彼ノ勢力ト威望トニ大打撃ヲ加ヘンコトハ直隸派共
通ノ願ニシテ抑モ陰謀ハ（不明）セリ故ニ若シ湖南事件ニ
関シ段ガ辺防軍ヲ動カシ張敬堯ヲ応援スルガ如キコトアラ
バ曹錕張作霖ハ共ニ事ヲ起シテ段ヲ牽制スル筈ナリ然シテ
辺防軍ノ来援ナケレバ王占元ハ中立ヲ守ル見込アリ依テ湖
南省ハ結局南軍ノ手ニ落ツベク事成ルノ後吳佩孚ヲ湖南
督軍ニ譚延闔ヲ同省長ニ挙グル献立ナルガ湖南事件有利ニ
解決セル時ハ陸榮廷及張作霖ハ直チニ張勲ヲ起用シテ安徽
ヲ直隸派ノ手ニ収ムル大陰謀ヲ開始スベシ陸ハ曹錕及李純
トハ久しき前ヨリ聯絡ヲ保チ居レルモ張作霖トハ最近ノ交
ナルニ拘ラズ兩人ハ特別意氣相投ジ重大事件ハ必ズ第一ニ
打合ヲ為スヲ常トス云々

在支公使、上海ヘ転電セリ

七二 五月三十日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

湖南省ニ於テ南軍衡州ヲ占領シ長沙軍ハ出兵ニ多忙

ナル件
第三三号

南軍ハ二十九日朝衡州ヲ占領ス（在同地邦人発電）当地ハ
同地方ヘ向ケ出兵ニ多忙又要所ニ大砲ヲ配置シ警戒嚴ナリ
在支公使、上海、廣東、漢口ヘ転電セリ

七三 五月三十日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

万一長沙軍破レ秩序紊乱ノ場合ニハ日本陸戦隊ノ上

陸ヲ求ムル積リナル件
第三四号

（五月三十一日接受）

往電第三三号ニ閔シ万一当地軍破レ秩序紊乱シ官憲ノ取締
賴ムニ足ラザル場合ハ何等支那側ニ照会スルコト無ク適宜
日本軍艦ニ陸戦隊ノ上陸ヲ求メ又在郷軍人会員モ武装適當
ノ任務ニ從事スペキヲ以テ右御含置アリタシ

五月三十一日国務院諮詢四川塩務代表曾昭琪ト称スルモノ
「ベルトラム」ト同道來訪往電第八七号裕華公司ハ事實上

曲同豐ガ段祺瑞ヲ代表シテ一切ノ指揮ヲ為ス筈ナルモ表面
上ハ自分（曾）其ノ局ニ当ル事トナリ居レリト述ベタル後
最近吳佩孚ノ湖南引揚ト同時ニ各方面ニ於ケル南北軍隊稍
活氣ヲ帶ビ段派ハ最早湖南其ノ他ノ方面ニ向ヒテ軍事行動
ヲ開始セントシツアリ四川熊克武ニ向テモ彈薬三四百万

発ヲ至急供給スル必要アルモ運搬容易ナラズ就テハ此ノ際
二村之二対スル回答振ニ閔シ請訓ノ件
（六月一日接受）

七四 五月三十一日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

張湖南督軍ヨリ軍事輸送ノ為汽船借入方申込來レル

七三 七四 七五

八三一

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七一六 七一七 七一八

八三二

日本國軍艦ニテ宜昌ヨリ長寿県（重慶ノ下流）迄隱密ナル方法ニテ右弾丸運搬出来間敷キヤト申出タルニ付本官ハ右ハ絶対不可能ナル旨ヲ説示シタルニ曾ハ然ラバ運搬ハ然ルベキ方法ニテ日本國（脱）本商船ニ依ル事トシ途中ノ掩護

丈ヲ何等カ当リ障リナキロ実ノ下ニ日本軍艦之ヲ引受クル事出来間敷キヤト懇々依頼アリシモ本官ハ婉曲ニ之ヲ拒絶シタル処曾ハ此ノ上ハ漢口方面ニ於ケル日本ノ船舶業者ニ一応相談ヲ試ムヘシト答ヘ引取りタリ

北京、漢口へ郵送セリ

七一六 六月一日 内田外務大臣ヨリ
在漢口瀕川總領事宛（電報）

船津總領事ニ對シ日本側ニ於テ弾薬輸送ニ関与スベ力ラザル旨訓令ノ件

第三〇号
天津発本省宛第八九号ニ閑シ

日本側ニ於テ此際本件輸送ニ關与スルカ如キコトハ之ヲ避クル様致度ク其辺固ヨリ御如才無カルヘキモ為念

北京、天津へ転電アリタシ

貴電第三六号ニ閑シ此際日本側ニ於テ本件輸送ニ當ルカ如キハ支那政争ノ禍乱ニ投スルモノニテ之カ為メ面白カラサル事端ヲ招ク虞モアリ旁々之ニ関与スルカ如キコトハ避クル様致度実ハ已ニ最近段祺瑞側ヨリモ別電第一三号ノ通り在天津船津總領事ニ對シ全様ノ申出アリタルモ全總領事ニ於テ婉曲ニ之ヲ拒絶シ置キタル趣ニテ當時先方ニ於テハ尚漢口方面ニ於ケル日本ノ船舶業者ニ一応相談ヲ試ムヘシト述ヘ居タル趣ニ付之ニ関与セサル様在漢口瀕川總領事ヘモ申送リ置キタル次第ナリ御含迄

貴電及本電北京天津漢口へ転電アリタシ
註 別電ヲ省略ス右ハ前掲在天津船津總領事發内田外務大臣宛來電第八九号ナリ

七一八 六月二日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

湖南省ニ於ケル南北戰ト安直両派間ノ内訌トノ關係
二閑シ報告ノ件
(六月三日接受)

第三七号
安直両派ノ内訌当地ニ関係セリト思考セラルル点ハ支那人ノ言其ノ他ニ依リ列挙スルニ

(一)吳佩孚衡州引上ケノ際南軍ヲシテ要所ニ進軍セシメ張敬堯ヲ不利ナラシメタルコト及引上ケノ際小蒸氣船約四十三隻機関車四台、客車約百二十台ヲ徵發シ汽船七隻機関車二台客車約二十台ヲ残シ軍隊輸送ヲ不便ナラシメシコト
(二)当省内直隸系当地李奎元、常德ノ馮玉祥、湘潭ノ范国璋等当地南北戰ニ対シ傍観ノ態度ヲ取り居ルコト及直隸系ハ當省督軍ヲ李奎元ニ省長ヲ譚延闔ニセムト企図セル風説モアルコト

目下衡州占領ノ南軍ハ趙恒惕、楊益謙及李常（広西軍）（不明）優勢ナルカ如ク当地督軍モ亦汽車汽船ニ依リ盛ニ出兵

セルモ督軍其ノ他ノ幹部ノ家族等重要器具ヲ下流ニ向ツテ輸送セリトノ風説アリ然シ勝敗何レニアルヤ今猥りニ論定スル能ハサルヘク張督軍ノ兵約七、八万ト称セラレ小銃ハ客月漢陽廠ヨリ約三万挺及弾丸三千万発ヲ輸入シ（外國銃

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七一七 六月二日 内田外務大臣ヨリ
在長沙池永領事代理宛（電報）

日本船ニ依ル中國側ノ軍事輸送ハ差控フル様訓令ノ件

第一二号 至急

貴電第三六号ニ閑シ此際日本側ニ於テ本件輸送ニ當ルカ如

キハ支那政争ノ禍乱ニ投スルモノニテ之カ為メ面白カラサル事端ヲ招ク虞モアリ旁々之ニ関与スルカ如キコトハ避クル様致度実ハ已ニ最近段祺瑞側ヨリモ別電第一三号ノ通り

在天津船津總領事ニ對シ全様ノ申出アリタルモ全總領事ニ於テ婉曲ニ之ヲ拒絶シ置キタル趣ニテ當時先方ニ於テハ尚漢口方面ニ於ケル日本ノ船舶業者ニ一応相談ヲ試ムヘシト述ヘ居タル趣ニ付之ニ関与セサル様在漢口瀕川總領事ヘモ申送リ置キタル次第ナリ御含迄

貴電及本電北京天津漢口へ転電アリタシ
註 別電ヲ省略ス右ハ前掲在天津船津總領事發内田外務大臣宛來電第八九号ナリ

七一九 六月四日 在廣東太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

湖南省ニ於ケル南北戰ニ閑シ広東軍政府財政部次長
文群ノ談話報告ノ件
(六月五日接受)

本四日文群ガ森岡ニ内話セル所左ノ通

(一)湖南事件ニ閑シ南軍ハ衡州ヲ占領シテ後部隊ヲ両分シ一ハ北ニ進メ一ハ西ニ進メ五月三十一日衡山ヲ六月二日寶慶ヲ完全ニ占領シ氣勢大ニ揚レリ吳佩孚ノ軍隊ハ初メ河南湖北界ノ京漢鐵道一帶地方ニ駐屯スル筈ナリシモ段ノ軍隊南下ノ噂専ラナルヲ以テ当分漢口ニ駐マリ形勢ヲ見ルコトニ更メタル旨五月三十一日附電報ニ接セリ
(二)譚延闔ガ若シ長沙ヲ攻ムレバ段ハ必ズ北軍ヲ派シ張敬堯ヲ援助スベク自然曹鋗張作霖モ兵ヲ動カシ段ヲ牽制スルコトトナリ全國ヲ挙ゲテ兵乱ノ渦中ニ投ズル憂アルニ付斯ノ如キ慘事ヲ予防スベク軍政府ハ過日来連日政務會議ヲ開キ

第一〇五号

(六月十日接受)

昨八日文群ガ森岡ニ語レル所左ノ通

(一) 譚延闔ノ南軍ハ衡山占領後刻々北進シ目下長沙ニ接近セリ張敬堯ハ去ル六日長沙ヲ脱走シ軍務会辦李奎元代リニ長沙ヲ支配シツツアル處全人ハ直隸系ノ人物ナルヲ以テ長沙ハ數日ノ内平穏ニ南軍ノ手ニ帰スベシ楊益謙等ノ率ユル雲南軍モ亦既ニ茶陵ヲ占領シ攸県ノ北軍ニ圧迫ヲ加ヘツツアリ過般寶慶ノ戰争ニ於テ北軍多大ノ死傷者ヲ出シ師長田樹勲重傷ヲ負ヒ逃走シタル結果爾來北軍士氣全ク沮喪セルガ如シ譚延闔ハ戰勝ニ乘ジ九日郴州発衡州ニ移ルコトトナリ

吳佩孚ノ軍隊三分ノ二ハ河南、信陽、鄭州方面ニ移リタルモ残リ三分ノ一ハ漢陽ニ止マリ又全司令部ハ漢陽兵工廠ニ、全兵工廠ハ全然吳佩孚ノ指揮下ニアリ王占元ハ吳ト行動ヲ共ニシ寧ロ王ハ吳ニ對シ服從的態度ニ出デ居ル模様ナリ当地軍政府並麥春煊個人ノ名義ヲ以テ両三日来再三譚延闔ニ對シ戰闘中止ヲ電命シタルモ騎虎ノ勢如何トモスルナク湖南全省ハ遠カラズ譚延闔ノ勢力圏ニ歸スベシ

(二) 唐紹儀ハ直接並王揖唐ヲ介シ北京政府ニ對シ直ニ王揖唐

議和ノ衝ニ当ラントスルヤ反問シ返シタル旨在北京軍政府密使ヨリ電報シ來リタルガ徐ノ意ハ唐ガ若シ軍政府ノ代表者ト主張スルニ於テハ根本的ニ其ノ資格ヲ否認セントスルニアルコト勿論ニシテ上海民党今回ノ魂胆ハ余リニ淺薄ナルノ嫌アリ云々

今回湖南事件成功ニ関シ軍政府ハ喜色滿面ナルモ陽ニ之ヲ包ミテ頻リニ開戦ノ責任ヲ避ケツツ和議ノ促進ヲ熱望スル旨ヲ繰リ返シツツアリ

右在支公使、上海總領事、漢口總領事、長沙領事へ転電セリ

七二四 六月十日 在廣東太田總領事ヨリ

廣東軍政府南北大局ノ平和ヲ願念シ譚延闔ニ對シ戰闘中止ヲ命ジタル旨声明ノ件

第一〇九号

(六月十一日接受)

安福民党兩派ガ湖南事件惹起ノ責任ヲ廣東軍政府ニ嫁シ和

第四号

(六月十九日接受)

七二五 六月十一日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

南軍長沙進撃ノ場合ニ於ケル在留民ノ保護方ニ付日

英米領事湖南省督軍へ交渉ノ件

七二六 六月十二日 中支派遣隊司令官ヨリ

上原參謀總長宛(電報)

南軍ハ長沙ニ近ヅキツツアリ長沙在留民ハ領事館及

既ニ湘潭ニ迫リ居ルノ際南軍何時当地ニ進撃スルヤモ計ラレザルニ付予メ當地在留民保護ノ目的ヲ以テ協議シ下記ノ如ク決議シ督軍ニ交渉スルコトトセリ

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七二五 七二六

漢、電第一五二号 至急

十一日午前九時在長沙海軍ノ通報ニ依レハ南軍ハ勝ニ乗シ

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

八三八

テ今ヤ長沙上流五里ノ地点ニ肉迫シ督軍ハ其軍隊ヲ十一日夜既ニ（不明）同城内ニハ北軍残兵三々伍々道ヲ求ムルモノアルノミニシテ部隊ヲ見ス全ク無政府状態ニアリ昨十一日午後十一時三十分湘潭ヨリ長沙ニ帰航セル武陵丸ニ便乗セル古沢巡查ノ言ニヨレバ同船及倉庫ハ湘潭ニ於テ南軍ニ掠奪サレ長沙ヨリ視察ニ赴ケル同会社次席大沢某（大津来徳ナラン）ハ張敬湯ニ似タル故ヲ以テ捕ヘラレ遂ニ慘殺サレタリト云フ長沙在留民ハ湘潭ニ於ケル南軍ノ掠奪ニ鑑ミ領事ノ訓令ニ基キ領事館及武陵丸ニ避難中ナリ但シ十二日午前中ニ至ル迄長沙ニ於ケル日本人ノ生命財産ニハ損害無キカ如シ以上情況ノ変化ニ鑑ミ長沙ニ於ケル領事並ニ居留民保護ノ為當隊ノ一部ヲ派遣スルノ必要ヲ生スルヤモ計り難シ承知ヲ乞フ

七二七 六月十二日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

曰清汽船武陵丸湘潭ニ於テ南軍兵士ニ依リ船中ノ物

品ヲ掠奪サレ大津某慘殺セラレタル旨報告ノ件

第四五号

（六月十九日接受）
昨十一日当館員ヲ在留邦人保護旁々戰場視察ノ為湘潭へ出

アルニ該督軍ガ漸次退却シテ恣ニ長沙ヲ離ルルニ至リタルハ実ニ其ノ咎ヲ免レ難シ本職及兼職ヲ免ジ暫ク任ニ留マリ在湖南ノ軍隊ヲ督飭シテ現守備区域ヲ回復セシム若シ再奮励スルコトヲ知ラズ誤ヲ地方ニ残サバ張敬堯ハ此ノ重咎ニ任ゼザル能ハザルモノトス

二、王占元ヲ兩湖巡閱使ニ特任ス

三、吳光新ヲ特派シテ湖南檢閱使トス

七三一 六月十五日 内田外務大臣ヨリ
武陵丸掠奪ヲ蒙リ社員一名虐殺サレタリトノ報道並

第三二号
曰清汽船本社ヘノ入電ニ依レバ在長沙同社所屬船武陵丸ハ支那兵ニ掠奪サレ同社員一名ハ虐殺サレタリトノ趣ナルカ右ハ事實ナリヤ否ヤ又同地領事館ヲ始メ居留民ノ安否等不明ナル處長沙當地間電報不通ト認メラルルニ付貴官ニ於テ御取調至急電報アレ

七三〇 六月十四日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

督軍張敬堯ノ長沙敗退ニ伴フ善後処置ニ関スル大綱

統令報告ノ件

第五三九号

（六月十四日接受）
張敬堯長沙敗退ニ付六月十三日附大要左ノ大總統令発表セラル

一、張敬堯ハ譚延闔ノ攻撃ニ堪ヘズ長沙ヲ退出シタル旨電

報シ來リタルガ七年十一月双方停戦以来各守備区域ヲ定メ

七二七 七二八 七二九

七二七 七二八 七二九

張セシメタル處乗船日清汽船武陵丸全地ニ着スルヤ否ヤ南

軍ノ兵続々來船シ船中ノ物品ヲ掠奪シタリ（旅客ノ貨物モ含ム）當時当地日清公司員大津某ハ張敬湯ニ酷似セリトノ故ヲ以テ拉致セラレ慘殺サレタルモノト信ス

北京ヘ転電セリ

七二八 六月十二日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

張督軍長沙脱出及南軍長沙入城並軍艦隅田北軍ノ射

擊ヲ受ケ応射セル旨報告ノ件

第四六号

（六月十九日接受）

本十二日前三時張督軍ハ自己軍隊ト共ニ下江スル暇モナク市街各所ニ火災起り銃声又盛シテ今正午ニ至ル迄尚止マズ當館前碇泊軍艦隅田ニ向ケ發射シ水兵二名負傷シタルヲ以テ我方ニ於テモ已ムナク發射ス先方死者五名ヲ出ス何レモ北軍ノ所為ナリ南軍ハ今午後二時入城シ今朝避難命令ヲ発セリ

在支公使、上海、漢口ヘ転電セリ

七二九 六月十三日 内田外務大臣ヨリ
在長沙池永領事代理宛（電報）

アルニ該督軍ガ漸次退却シテ恣ニ長沙ヲ離ルルニ至リタルハ実ニ其ノ咎ヲ免レ難シ本職及兼職ヲ免ジ暫ク任ニ留マリ在湖南ノ軍隊ヲ督飭シテ現守備区域ヲ回復セシム若シ再奮励スルコトヲ知ラズ誤ヲ地方ニ残サバ張敬堯ハ此ノ重咎ニ任ゼザル能ハザルモノトス

二、王占元ヲ兩湖巡閱使ニ特任ス

三、吳光新ヲ特派シテ湖南檢閱使トス

七三一 六月十五日 在漢口瀬川總領事宛（電報）

武陵丸掠奪ヲ蒙リ社員一名虐殺サレタリトノ報道並

第三二号
曰清汽船本社ヘノ入電ニ依レバ在長沙同社所屬船武陵丸ハ支那兵ニ掠奪サレ同社員一名ハ虐殺サレタリトノ趣ナルカ右ハ事實ナリヤ否ヤ又同地領事館ヲ始メ居留民ノ安否等不明ナル處長沙當地間電報不通ト認メラルルニ付貴官ニ於テ御取調至急電報アレ

七三〇 六月十四日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

督軍張敬堯ノ長沙敗退ニ伴フ善後処置ニ關スル大綱

統令報告ノ件

第五三九号

（六月十四日接受）
張敬堯長沙敗退ニ付六月十三日附大要左ノ大總統令発表セラル

一、張敬堯ハ譚延闔ノ攻撃ニ堪ヘズ長沙ヲ退出シタル旨電

報シ來リタルガ七年十一月双方停戦以来各守備区域ヲ定メ

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七三一 六月十五日 在漢口瀬川總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

八三九

岳州ノ張敬堯軍ノ乱行ニ恐怖シ在同地英米婦人等日

本軍艦ニテ漢口ニ避難ノ件

(六月十六日接受)

岳州ニアル張敬堯ノ兵ハ十三日午後(脱)ニ侵入シ大奪掠ヲナシ剩ヘ米国宣教師一名ヲ殺害シタルヲ以テ全地外国人間ニ一大恐慌ヲ来シ居ル際偶々帝国軍艦嵯峨本日寄港シタルヲ以テ外国婦人八名(内米国人六名、英国人一名、独逸人一名)宗教学校ノ女生徒十三名全艦ニ便乗シテ当地ニ避難スヘキ旨電報アリタリ(十五日)

在支公使ヘ転電セリ

七三三 六月十五日

在漢口瀬川總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

武陵丸ノ被害、南軍ノ長沙ヘノ進出等ニ関シ嵯峨艦長等ヨリ得タル情報報告ノ件

(六月十六日接受)

第六四号 十五日午後四時嵯峨入港、艦長及同艦ニ便乗ノ陸軍士官ニ就キ長沙方面ノ状況ヲ聞キ取ルコト左ノ通

南軍ハ十一日湘潭ヲ占領シ其際同地ニ碇泊シ居タル武陵丸ハ猛烈ナル掠奪ヲ蒙リ同船ニ乗込ミ居タル長沙日清汽船会

伏見護衛セリ昨十一日午後二時南軍ノ一部入城シ本十三日湖南警備司令部設ケラレタルヲ以テ小官ハ同司令「李抱冰」ヲ訪問(脱語)ノ安寧維持ニ関シ問ヒ質セシニ十分公安ヲ維持スル旨ヲ答ヘタリ又湘潭ニ於ケル日清汽船ノ被害事件及邦人惨殺問題ニ付厳談シタルニ同司令ハ自分ハ関知セザルモ当局ニ問合ス旨答ヘタルヲ以テ差当リ死者ヲ送附スルコトヲ要求セリ尚後聞ニ依レバ昨日我軍艦ニ発射セシハ先發南軍ノ所為ナリシガ如カリシヲ以テ合セテ抗議ヲ申込ミ置キタリ今夕迄入城シタル南軍ハ約五千、市民大ニ歓迎シ市中頗ル平穏トナリタルヲ以テ明十四日避難解除ヲ命ズル筈前記発生シタル事件ニ関シテハ何レ責任者來着ヲ待チテ更ニ交渉セン(電不通ニ付)外務大臣在支公使ヘ転電アリタシ

七三五 六月十六日 在漢口瀬川總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南檢閱使ニ新任ノ吳光新湖南ノ事件ニ関シ來談ノ件

(六月十七日接受)

第六七号

十六日吳光新本官ヲ來訪シ談話セル要領左ノ通り

社雇員熊本県人大津来徳ハ南軍ヨリ張敬湯ト見違ヘラレ無理遣リニ陸上ニ引キ行カレ遂ニ慘殺サレタリ

張敬堯ハ湘潭陥落ノ報ヲ聞キ十二日午前三時岳州ニ引キ揚

ゲ翌十三日趙恒惕ノ兵約一旅団入城シタルニ長沙住民ハ爆竹ヲ鳴ラシテ之ヲ歓迎セリ同地ノ日本人ハ領事館ト武陵丸ニ避難シ居タルモ十四日ニハ一同其家ニ還ル筈ナリシ譚延闔ハ目下衡州ニ在リ張敬堯ハ岳州ニ吳ノ援兵來着ヲ待チ長沙ヲ回復スルノ意アルモノノ如シト

尚嵯峨、宇治並ニ伏見ノ三艦ハ此際岳州並ニ長沙間ニアリテ在留人並ニ船舶保護ノ訓令ヲ受ケタリト

在支公使ニ転電セリ

七三四 六月十六日

在漢口瀬川總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

池永領事代理ヨリ長沙入城ノ南軍司令官ニ対シ湘潭ニ於ケル掠奪及邦人殺害ニ付抗議ノ件

(六月十七日接受)

第六六号 長沙発本官宛電報

張督軍逃走後当地ハ無政府状態ニアリシヲ以テ日清汽船武陵丸ニ出帆延期ヲ命シテ一般居留民ヲ之ニ収容シ軍艦隅田

昨十五日南京ヨリ当地ニ到着シ初メテ湖南檢閱使ニ任セラレタルコトヲ承知シタルモ余ハ此大任ニ當ルコト能ハザルヲ以テ直チニ電報ヲ以テ辞退シ置キタリ今回湖南ノ事件ハ張敬堯及張敬湯ノ不人望ヨリ生シタルモノニシテ彼等ハ如何ニ南方ト戰ハントスルモ部下兵士ハ其命令ヲ奉ゼザルヲ以テ已ムヲ得ズ撤退シタルモノナレバ今後長沙ヲ回復スルニ再ビ武力ヲ用ヒ成功スベキヤ否ハ予測シ難シ余ハ今朝取敢ヘズ參謀ヲ岳州ニ遣シ置キタルモノ自ラ同地ニ行クヤ否ヤハ北京ヨリノ返電ヲ待チ決定スル筈ナリ兎ニ角大總統ハ平和主義ノ人ナルガ故ニ湖南事件ノ処置モ出来得ル丈平和ノ手段ヲ取ルモノト信ズ今回檢閱使ニ任ゼラレタルモ必ズシモ討伐ノ意ヲ含メルモノニアラズシテ湖南ヲ安定シ其秩序ヲ維持スルヲ主眼トスルモノナリトテ暗ニ張敬堯ノ民心ヲ失ヘルコトヲ指摘シ自ラ之ニ代リテ督軍タル抱負ヲ有セルモノノ如ク思ハシメタリ

在支公使ニ転電セリ

七三六 六月十六日

在漢口瀬川總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

張敬堯ヨリ長沙奪回ノ為日本側ノ援助ヲ求メタルニ

付之ヲ拒絶セル旨報告ノ件

(六月十七日接受)

第六九号

湖南督軍署軍事參議胡万泰ハ督軍署參議官黃中ト共ニ十六日午後張督軍ノ公文ヲ携帶シ本官ニ面会ヲ求メ今回張督軍長沙撤退ノ理由ヲ述へ且大總統ノ命令ニ依リ吳光新ト共ニ兵力ヲ以テ長沙ヲ克復スヘキ筈ナルニ依リ此際日本側ノ援助ヲ求ムル為唯今陸軍司令官ヲ訪問シ次テ當館ニ来リタル旨ヲ述ヘタリ右日本側ノ援助ト云フハ即チ長沙回復ノ第一手段トシテ約二個大隊ノ決死隊ヲ密ニ長沙城内ニ潜伏セシメテ奇襲ヲ試ミ度ニ付日本軍輸送船ニテ極内密ニ之ヲ長沙迄輸送シ吳レ間敷ヤト云フニアリテ右ニ関シ唯今宮地司令官ニモ協議シタル処司令官ハ熟考ノ上返答スヘキ旨答ヘラ

レタリト依テ本官ハ日本軍艦ハ言フニ及ハス商船タリトモ此際斯ル事件ニ干与スルコトハ断シテ出来難キ旨答ヘタル處彼等ハ若シ日本ニテ北方ヲ援助シ湖南省ノ平和克復ヲ速カナラシムルニ於テハ中央政府ニ於テ深ク感謝スルノミナラス之カ報酬トシテ湖南省ニ於ケル相当ノ利權ヲ日本ニ譲与スヘキ旨述ヘタリ然リト雖本官ハ如何ナル条件アリトモ到底右ノ相談ニハ慮シ難キ旨重ネテ返答シタルニ兩人ハ若

シ宮地司令官ヨリ之ニ関シ何等相談アリタルトキハ宜シク配慮アリタシト云ヒ尚同人等ハ吳光新ノ検閲使ヲ辞シタルハ單ニ表面上ノ事ニシテ内心ヨリ出テタルモノニアラサル

カ故ニ両三日中ニハ必ス岳州ニ来ルヘク而シテ李奎元ハ既ニ湖南ヲ去リ其部下ノ第十一師團ハ日下陸続当地ニ送還シ居レリ又范國璋ノ第二十師團モ早晚湖南ヲ引揚クヘシト語レリ

在支公使ニ転電セリ（十六日）

七三七 六月十七日 在中国小幡公使ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

岳州ノ米人宣教師殺害ニ關シ米國公使外交部ニ抗議

ノ件

(六月十七日接受)

岳州ノ米國宣教師殺害ニ關シ米國公使ハ六月十六日外交部ニ対シ米国人ノ生命財産保護ヲ要求シ且次ノ殺害ニ付テハ兎ニ角張敬堯個人ノ責任ナル旨ノ抗議ヲ申入レタル旨米國側ヨリ出タル趣ノ報道新聞ニ掲載セラレ居ル處外交部員モ其ノ抗議ノ事実ナル事ハ之ヲ承認セリ内容等ハ追テ探報スベシ

手段トシテ約二個大隊ノ決死隊ヲ密ニ長沙城内ニ潜伏セシ

メテ奇襲ヲ試ミ度ニ付日本軍輸送船ニテ極内密ニ之ヲ長沙

迄輸送シ吳レ間敷ヤト云フニアリテ右ニ関シ唯今宮地司令官ニモ協議シタル処司令官ハ熟考ノ上返答スヘキ旨答ヘラ

レタリト依テ本官ハ日本軍艦ハ言フニ及ハス商船タリトモ

此際斯ル事件ニ干与スルコトハ断シテ出来難キ旨答ヘタル

處彼等ハ若シ日本ニテ北方ヲ援助シ湖南省ノ平和克復ヲ速

カナラシムルニ於テハ中央政府ニ於テ深ク感謝スルノミナ

ラス之カ報酬トシテ湖南省ニ於ケル相当ノ利權ヲ日本ニ譲

与スヘキ旨述ヘタリ然リト雖本官ハ如何ナル条件アリトモ

到底右ノ相談ニハ慮シ難キ旨重ネテ返答シタルニ兩人ハ若

到底右ノ相談ニハ慮シ難キ旨重ネテ返答シタルニ兩人ハ若

七三八 六月十七日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第一師長趙恒惕ノ長沙入城及南軍ノ岳州方面ヘノ進

軍ニ關シ報告ノ件

第四八号 (六月十八日接受)

十四日熊克武ノ第一師長趙恒惕当地ニ入城本十七日午後三時他幹部モ入城市民大ニ歓迎ス南軍ハ岳州方面ニ進軍シツツアリ

在支公使、上海、廣東、漢口、廈門ヘ転電セリ

七三九 六月十七日 在漢口瀬川總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

吳佩孚ノ湖南引揚及湖南事件ノ今後ニ關シ京漢鐵路

管理局長丁士源來談ノ件

第七〇号 (六月十七日接受)

十七日丁士源本官ヲ來訪シ談話ノ要領左ノ通り

吳佩孚ハ今回京漢鐵道ノ十五列車ヲ抑留シタルニ依リ之カ回収方ヲ談判シタル結果漸ク十一列車丈取返シタルモ尚四列車即チ百式抬轎ハ抑留シテ放サズ吳佩孚ハ此程鄭州ニ在リシモ二三日前保定ニ赴キタリ目下吳ノ指揮下ニ在ル第三

七四〇 六月十八日 在中國小幡公使宛（電報）

湘潭ニ於ケル日清汽船被害事件及邦人慘殺問題並日

本軍艦砲擊事件ニ關シ中国政府ヘ抗議方訓令ノ件

七三八 七三九 七四〇 八四三

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

八四四

砲撃事件ニ関シテハ已ニ在長沙領事代理ヨリ南軍司令官ニ抗議ヲ申込ミタル趣ナルモ此際貴官ヨリモ中央政府ニ対シ前記各種不法行為ヲ指摘シ右ニ付テハ更ニ事態ヲ闡明シタル上申出ツルコトアルヘキモ支那政府ニ於テ帝国臣民ノ生命財産ノ保護ハ勿論其他不法行為ノ再演ヲ防止スル為メ速カニ的確適切ナル方法ヲ講セラレ度旨可然申入レ置カレタシ

右訓令トシテ在広東總領事ニ転電シ全様ノ趣旨ニ依リ軍政府当局ニ申入ルヘキ旨附言セラレタシ

七四一 六月十八日 在漢口瀬川總領事宛（電報）

湖南省ニ於ケル中国側不法行為ニ關シ南軍司令官ニ抗議方池永領事代理ニ訓令ノ件

第三三号

貴電第六六号ニ關シ池永ヘ左ノ通転電アリタシ

第一五号

支那側不法行為ニ關シテハ已ニ貴官ヨリ抗議ヲ申入レラレタル趣ナルモ尚此際帝国政府ノ訓令トシテ別電第一六号在支公使宛電訓ノ趣旨ニ依リ南軍司令官ヘ可然申入レ置カレ

七四三 六月十八日 在漢口第一遣外艦隊司令官ヨリ
加藤海軍大臣宛（電報）

南軍ノ伏見ニ加ヘタル暴行ニ關シ南軍指揮官ニ申入ルベキ事項第一遣外艦隊司令官ヨリ先任艦長ヘ電訓

セル旨報告ノ件

第一遣外艦隊機密第四五号ノ一

長沙ニ於テ南軍ノ伏見ニ加ヘタル暴行ニ對シ取敢ヘス南軍指揮官ニ對シ左ノ通主張スヘキコトヲ同地領事ト協議スヘキ旨先任艦長ニ電訓セリ

一、負傷者及暴行軍隊ノ処分ニ關シテハ帝国政府ノ訓令ヲ待チ更ニ要求ス

二、爾今取締ヲ嚴ニシ帝国艦船及臣民ニ對シ再ヒ斯クノ如キ失態ナキヲ誓フコトヲ公文書ヲ以テ交付スヘキコト

三、今後帝国艦船及臣民ニ對シ暴行等ノ行為アル場合帝国軍艦ハ直ニ必要トスル武力ヲ行使スヘキコトヲ通告スル

コト
右第一項負傷者及暴行軍隊ノ処分ニ關シテハ何分ノ御指令ヲ仰ク

右報告ス

（六月十八日）

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七四一 七四二

八四五

タシ北京及広東（本件關係電信ノ重要ナルモノト共ニ）ヘ転電アリタシ

註 長沙宛別電第一六号ヲ省略ス右ハ六月十八日内田外務大臣発瀬川總領事宛第三四号ヲ以テ転電セラレタルモノニシテ前掲外務大臣発小幡公使宛第三三三号ト同文ナリ

七四二 六月十八日 在中国小幡公使（電報）

湘潭ニ於ケル武陵丸掠奪及邦人殺害等ノ不法行為ニ關シ中国政府ニ申入方ニ關シ請訓ノ件

第五六四号 （六月十九日接受）

湘潭ニ於ケル武陵丸掠奪及本邦人殺害等ノ不法行為ニ關シテハ帝国政府ヨリ支那政府ニ対シ何等ノ措置ヲ執ラルコトト信ズル處余リ^{ホトボリ}熱ノ冷メザル内交渉ヲ開始スルコト必要ト認ムルニ付ナルベク速ニ必要ノ電訓ニ接スル様致シタシ尤モ不取敢外交部ニ対シ本件ニ關シテハ本国政府ノ訓令ヲ奉ジ追テ交渉スルトコロアルベキモ斯カル重大事件ハ其儘抛棄シタル次第ニアラズト信ズル處如何ナル措置ヲ執ラレタルヤ承知シ度キ旨並ニ時ヲ遷サズ該事件犯人捜査逮捕方取計ハレタキ旨公文ヲ以テ照会シ置ク考ナリ

七四四 六月十九日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

日清汽船長沙湘潭間ノ航行停止及長沙岳州間航行ニ關シ報告ノ件

セル旨報告ノ件

第四九号 （六月十九日接受）

目下当地方航路ハ危險ノ虞アルヲ以テ当地湘潭間航行ハ本月十五日日清汽船沅江丸（脱）航路ノ航行停止ヲ命シ又長沙岳州間ノ航路ハ帝国軍艦之ヲ護衛シ航行シツツアリ目下当地湘潭間ハ外国船モ航行セズ

在支公使ヘ転電セリ

七四五 六月十九日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

湖南省ニ於ケル南方軍兵士ノ不法行為ニ關シ南方軍當局トノ交渉ニ付報告ノ件

第五〇号 （六月二十一日接受）

湘潭ニ於ケル日清汽船武陵丸遭難事件、軍艦伏見ニ對スル支那兵ノ射撃事件並邦人保護方ニ關シ當地湖南警備司令部ニ嚴談シタルコトハ曩ニ電報シタルカ其後湖南省防遊司令部ナルモノ設ケラレ外人保護方ニ關シ照会アリタルヲ以

七四三 七四四 七四五

八四五

テ去ル十四日早朝避難解除ヲ為シ一方同部副司令唐榮陪ニ面会シ不取敢大要左ノ通り交渉セリ

(一)湘潭ニ於ケル慘殺サレタル邦人大津来徳ノ死体ヲ即時引渡スコト尚同死体引受ケノ為派出館員並同行関係者ヲ誠実ニ保護スル為支那側ヨリ責任者並兵士ヲ派スルコト(二)加害兵士ノ取調(三)航路ノ安全ヲ計リ濫リニ(不明)船内ニ進入セサルコト(四)軍艦伏見射撃兵士ノ取調並帝国軍艦ヲ射撃セサル様諭告スルコト(五)邦人住宅並倉庫等ヲ濫リニ進入検査セサルコト

然ルニ同副司令ハ其夜到著ノ第一師長趙恒惕ニ協議スル旨答ヘタルヲ以テ一昨十六日同師長ヲ訪問シ同様要求シタルニ前記(一)ヲ承諾シタルヲ以テ当館署員ヲ当地日清汽船派出張

所主任ト共ニ死体検視ノ上引取ラシムル為十七日湘潭ニ出張セシメタリ譚延闊十七日午後三時当地ニ入城セルヲ以テ同人ニ向ヒ武陵丸遭難事件ハ(一)大津ノ弔慰料(二)掠奪被害(不明)間接損害賠償(三)航路安全ノ保障(四)加害兵士ヲ重刑ニ処スルコト、軍艦伏見射撃事件ハ海軍省ニモ詳細報告セラレタリト愚考セラルルヲ以テ之カ交渉振り(以下不明)在支公使ヘ転電セリ

湖南省ニ於ケル我船舶ノ被害及邦人殺害並日本軍艦

砲撃ニ關シ中国政府及広東軍政府ニ抗議ノ件

最近支那政局一部ニ於ケル紛更ハ漸ク拡大ノ兆ヲ呈シ殊ニ其間支那各地新聞紙中ニハ頻ニ某々一派カ本邦資本家ニ対シ戰費等ノ調達ヲ内議シツツアルカ如キ荒唐無稽ノ報道ヲ伝フルモノサヘアリタルカ帝国政府ハ此際支那官民ニ於テ頗ル慎重ナル態度ヲ持シ苟クモ紛乱ノ渦中ニ投スルカ如キ挙措ニ出テサラムコトヲ希望シ曩ニ在支官憲ニ對シ我官民共ニ紛争ニ關与スルカ如キ行動ハ嚴ニ之ヲ警ム様訓令スル所アリタリ

然ルニ爾來湖南地方ニ於ケル局面ハ逐日危急ヲ告ケ遂ニ地方一帯騒乱ノ巷ト化シ而モ不幸ニシテ我カ船舶ノ被害事件及邦人殺害問題並帝国軍艦砲撃ノ如キ頻ニ支那側不法行為ノ続出ヲ伝フルニ至レリ先是在長沙帝国領事代理ハ在留民保護ノ為メ英米各国領事ト協議ノ上在留外国人ノ生命及財産ノ保護ニ關シ支那官憲ノ注意ヲ喚起シタルモ竟ニ以上ノ不祥事ヲ見ルニ至レルヲ以テ在長沙帝国領事代理ハ現ニ全

地方ニ於ケル事實上ノ権力者ニ対シ抗議ヲ申入レタルモ尚帝国政府ハ在支帝国公使ヲシテ中央政府ニ対シ抗議ヲ提起シ自今帝国臣民ノ生命財産ノ保護ハ勿論其他不法行為ノ再演ヲ防止スル為メ速カニ的確適切ナル方法ヲ講セムコトヲ申入レシムルト同時ニ他面右同様ノ趣旨ニ依リ広東軍政府當局ニモ申入ルヘキ旨在広東帝国總領事ニ訓令セリ

七四七 六月十九日 在漢口瀬川總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件ニ關スル湖北督軍王占元ノ談話報告ノ件

第七三号 (六月二十日接受)

六月十九日本官別用ニテ王督軍ト會見ノ際湖南事件ニ関シ督軍ノ為シタル談片左ノ如シ 今回ノ湖南事件ハ全ク張督軍ノ為セル失敗ヨリ出テタルモノニシテ第一ノ失敗ハ吳佩孚カ衡州撤退ノ際南方側ニ於テハ來陽、祁陽、安仁ノ三県ヲ要求シタルニ張督軍ハ之ヲ拒絶シタルニ依リ南軍ハ武力ヲ以テ之ヲ占領シ更ニ進ンテ衡州ヲ占領シタルモ張督軍ノ軍隊來著連カリシ為之ヲ防禦スルコト能ハサリシ結果南軍ハ破竹ノ勢ヲ以テ湘鄉湘潭ヲ陥レ遂ニ長沙ニ進入シタルモナリ第一ノ失敗ハ張督軍ハ其ノ弟張敬湯ヲ討伐總司令ト

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

八四八

軍カ岳州ヲ攻撃スルヤ否ヤハ固ヨリ予知スヘカラスト雖若シ南軍ニシテ岳州ヲ攻撃スルニ於テハ湖北省ノ治安上ニモ至大ノ影響ヲ及ホスモノナレハ之ニ対シテハ予メ防備ヲ為スノ必要ヲ生シ居レリト

北京、廣東、長沙ニ転電シ上海及南京ヘ郵送セリ

七四八 六月二十一日

在長沙水泳領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

大津ノ死体引取り及火葬ノ模様並南軍側トノ折衝ヲ

報告シ損害賠償要求ニ付請訓ノ件

第五二号 (六月二十六日接受)

十七日趙師長ハ大津死体引渡ノ為馬參謀並護衛兵ヲ、小官ハ右引取ノ為佐土原部長及日清汽船當地出張所主任ヲ同船湘潭ニ出向セシメタルニ馬參謀ハ同^{タイ}知事ニ引渡方ヲ依頼シタルヲ以テ當館派出員ハ日清公司主任並ニ予メ右死体監視人ヲ同行シ出張員支那人及同地事務員ト共ニ右死体ヲ掘り出し検屍ノ上(慘殺首級ハ斬首腹部十文字ニ切開臍腑剝り出サレ両(不明)部切解)馬參謀ト共ニ無事其夜帰着セルヲ以テ小官ハ直チニ翌十八日譚延闔ヲ訪問(交渉員ハ逃亡セルヲ以テ残務ヲ引継ゲル鄧交渉課長列席シ)死体引

ケリトノ意味ニテ布告ヲ發スル事ヲ要求スル考ナリ

右ニ対シテモ至急御回電アリタシ

在支公使ヘ転電セリ

七四九 六月二十三日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南省ニ於ケル我方被害ニ關シ外交部ニ抗議シ外交

総長代理ハ中国政府ノ責任ヲ認メ適切ナル方法ヲ講ズベキ旨回答ノ件

第五八〇号

(六月二十三日接受)

貴電第三三三号ハ往電第五六四号ト行違ニ接道シタル處右往電末段外交部宛公文ハ未ダ發送シ居ラザリシニ付貴電並ニ長沙領事報告ヲ參照シ二十一日附ニテ照会文ヲ認メ二十二日本使外交総長代理ニ會見シ貴電ノ趣旨並ニ領事報告ニ基キ支那軍隊ノ殘忍極マルノ不法行為ヲ指摘シ何レ詳報ニ接シタル上更ニ何等交渉ニ及ブベキモ不取敢本國政府ノ訓令ニ基キ交渉スル次第ナルコトヲ述べ尚今後若シ斯ル事件続発スルニ於テハ結局自衛的ニ各外國共同在留民ヲ保護スルノ外無カル可シトノ意見各國公使間ニ有之次第モ附言シタル上該照会文ヲ手交シタル処同代理ハ斯カル事件ノ發

七四八

取りニ至ル迄ノ概況ヲ説キ且慘酷極マル殺害状況ヲ臨検スル事ヲ希望シタルニ其必要無ク戰時混亂ノ際無智ノ部下兵士ノ為セル行為ニシテ自己ノ命ニ出テタルモノニ非ザル旨ヲ述べ誠心誠意謝罪セルヲ以テ死者ノ靈ヲ慰ムル為護衛兵ノ附添ヲ要求シタルニ承諾シタルヲ以テ十九日午後一時念ノ為同意味ノ書面ヲ發シ且二十日午後二時出棺火葬ニ附スル旨通知シタルニ当日早朝ヨリ護衛兵ヲ日清公司ニ派シ且出棺場ヨリ火葬場ニ至ル間護衛兵約百名並ニ樂隊ヲ附シ又供物ヲ贈リ前記鄧交渉課長ヲシテ弔詞ヲ代読セシメタリ式終リタルモ未ダ先刻當方ヨリノ書面ニ對スル回答無キヲ以テ念ノ為右課長ニ後日ノ異議ヲ予防シ愈々火葬ニ附ス可キ旨ヲ通ジ承諾ノ下ニ夕刻火葬ニ附ス今後ハ右事件ニ関シ取纏メタル証拠書類ニ依リ非公式ニ譚延闔ニ對シ書面ヲ以テ通知シ之ガ損害要求ニ關シテハ前頭ニ對スル御電訓ヲ待チテ要求スル考ナリ尚不日譚ヲ訪問不取敢南方兵ノ張敬湯トシ邦人大津ヲ慘殺シタルハ誤殺(當方ヨリ見レバ其際當館出張員並同行者邦人ナル旨ヲ立証シタルヲ以テ誤殺ト認ムル能ハズ)ノ甚ダシキモノナルヲ以テ一般市民ハ之ヲ信ズ可カラズ大津ノ死体ニ對シテハ礼ヲ厚フシテ弔意ヲ表シ置

七四九

八四九

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

廣東ヘ転電シ貴電第三三三三号ト共ニ長沙漢口ヘ転電ス

七五〇 六月二十四日 内田外務大臣ヨリ

在長沙池永領事代理宛（電報）

湖南省ニ於ケル我方被害ノ真相報告方及事件ノ根本

解決案ニ付留保方訓令ノ件

第一九号

貴電第五〇号ニ閔シ支那側今回ノ不法行為ハ到底輕々ニ附シ難キ所ナルハ勿論此際的確ナル将来ノ保障ヲ取附ケ置クコト絶対必要ト認メラレ旁々之力解決案ニ付キ目下折角考量中ノ次第ナルニ付テハ右被害事件ノ真相立ニ果シテ南軍側ノ所為ナルコト明白ナルニ於テハ其確証等委曲電報アリタシ尚ホ貴電御来示ノ要求条項ハ既ニ先方へ申入レ済ナルヤノ趣ノ処右ハ素ヨリ當面ノ善後処置ニ止マリ事件自体ノ根本解決案ニ付テハ上記貴官ヨリ委曲ノ事情御報告ヲ俟テ更ニ當方ヨリ申進スヘキニ付右ノ次第為念先方へ留保シ置カレタシ

北京廣東ヘ転電アリタシ

七五一 六月二十四日

若宮通信省管船局長ヨリ

田中外務省通商局長宛

通信省管船局長 若宮貞夫殿

(二)

大正九年六月十九日 上海支店発

南軍司令官ハ大津書記遭難取調ニツキ毫モ誠意ナク延引時ヲ移シ証拠湮滅ノ虞アル故領事、伏見艦長、司令部ニ赴キ嚴談ノ上十七日森主任及領事館員南軍護衛ノ下ニ湘潭へ出張遺骸ノ引取り及証拠材料取調ノ筈、宜昌航路船モ危険ノ虞アルニヨリ仮防備ヲ施スト漢口支店ヨリ來電アリタリ

(三)

大正九年六月十九日 上海支店発

大津書記遺骸ハ十七日森長沙出張所主任湘潭ニ出張シ領事館員ト協力捜索シ収容シタ葬儀ハ領事、伏見艦長、駐在武官及長沙在留民ノ熱誠ナル斡旋ニヨリ二十日午後二時譚督軍ヨリ儀仗兵ヲ附ケ最モ壯嚴ニ執行スル事ニシタル漢口支店經由長沙ヨリ來電アリタリ

七五二 六月二十八日 在漢口瀬川總領事ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

中國兵ノ日本本船射擊ニ閔シ中國側當局ニ嚴重取締ノ件

要求方在長沙領事代理ニ電訓シタル件

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七五〇 七五一

八五〇

日清汽船会社ヨリノ武陵丸被害報告写送付ノ件

船監第八一九号 通牒

大正九年六月二十四日

通信省管船局長（印）

外務省通商局長殿

支那動乱ニ閔スル件

本件ニ閔シ曩ニ屢次申進置候次第有之候處今般日清汽船会社ヨリ漢口湘潭線定期船武陵丸ノ被害程度其他ニ閔スル同社上海支店ヨリノ別紙來電写提出有之候条為参考及送付候（別紙）（一）（二）（三）

（二）

六月十八日上海支店発電報

漢口支店ヨリノ來電ニ依レバ武陵丸ノ被害ハ日モ當テラレザル慘状ニテ特等船客室ノ寝具、食器其他備付品全部及買辦室、食料品貯藏室等ハ破壊掠奪セラレ上級船員及下級船那人船員ノ使用品モ全部強奪セラレタリトノコトナリ以上

大正九年六月十九日

日清汽船株式会社

社長男爵 近藤廉平

第八八号

本官發在長沙領事宛電報第一二二号

二十八日宇治艦長ヨリノ報告ニ依レバ昨二十七日沅江丸ハ岳州ノ下流ニ於テ支那兵ヨリ射擊セラレタリト云フ又日清汽船会社ヨリノ届出ニ依レバ蓬萊丸モ亦二十七日臨湘磯附近ニ於テ船体ノ右舷ニ銃弾ヲ浴ビ為ニ火夫一名頭部ニ負傷シタリトノコトナリ右ハ領事館員ニ於テ便宜相當ノ措置ヲ取ルコトト信ズルモ尚貴官ニ於テ譚延闐ニ前頭御報告ノ件同時ニ至急在岳州軍隊ニ訓令シ嚴重ナル取締ヲ為サシムル様御取計相成度シ

外務大臣、在支公使ヘ転電セリ

七五三 六月二十九日 在漢口第一遣外艦隊司令官ヨリ

加藤海軍大臣宛（電報）

湖南省臨湘磯附近ニ於テ蓬萊丸及沅江丸ガ射撃ヲ受

ケタル件ニ閔シ嵯峨艦長ニ發シタル電訓報告ノ件

機密第五四号 （七月一日外務省写接受）

嵯峨艦長ニ左ノ通電訓セリ

左ノ件領事ヲ介シ至急交渉員ニ通告セシムベシ

七五二 七五三

八五一

湘磯附近ニ於テ南岸ノ南軍ヨリ乱射ヲ受ケ船体ニ多数ノ弾丸ヲ受ケ火夫一名負傷又廻江中ノ沅江丸二十七日夜半同ジク同所ニ於テ小銃射撃ニヨリ通航ヲ阻止セラレ一度新提ニ引返シ天明ヲ待ツコトノ已ムナキニ至レリ、加害者ノ南軍ナルハ確認スル所ナリ本職ハ昨日致セル譚延闔ノ誓約ヲ尊重シ其南軍ニアラサルコトヲ信セントス即チ是等暴挙ヲナスハ畢竟匪徒ニ外ナラスト信ズルヲ以テ支那官憲ノ取締行届カズスクノ如キ事件統発スルニ於テハ帝国居留民保護ノ任務ヲ有スル我艦隊ハ右ノ場合ニ於テ防衛ノ為予メ通告ヲ用ヒズ自ラ適當ト認ムル断乎タル手段ヲ執ルノ已ムナキニ至ルベシ

(六月二十九日)

七五四 六月三十日 内田外務大臣ヨリ
在長沙池永領事代理宛(電報)

湖南省ニ於ケル中国側ノ不法行為事件ニ関スル中国側トノ交渉振ニ付訓令ノ件

第二号

貴電第五二号ニ関シ

(一)貴官ニ於テハ支那側トノ間ニ損害要求問題ニ迄モ話ヲ進メラレ居ルカ如キモ元来今回ノ事件ハ事態頗ル重大ニシテ

リ提出スルカ如キハ此際断シテ見合セラレ度シ

北京広東ヘ転電アレ尚ホ本件ニ関スル貴電ハ今後總テ廣東ヘモ転電方取計ハレタシ

七五五 六月三十日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

伏見艦射撃ハ南軍ノ所為ナル旨報告ノ件

第五九号

(七月五日接受)

往電第四六号ヲ以テ去月十二日午前九時頃軍艦伏見ニ対シ射撃セシハ北軍敗兵ノ所為ナル如ク電報セシガ其後ノ実状ニ依レバ南軍先鋒部隊兵士ノ所為ナルコト判明シタルヲ以テ茲ニ訂正ス委細本日郵送セリ

在広東總領事ヘ転電セリ

七五六 六月三十日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛

湘潭ニ於ケル日清汽船武陵丸ノ掠奪並同社當地出張所員大津來徳慘殺及同地代理店同倉庫被害狀況ニ関スル件

機密信第一一號

在長沙

(七月十三日接受)

之カ解決条件ニ付テハ篤ト考慮ヲ要スルモノアリ從テ貴電第五〇号御來示ノ要求ハ單ニ當面ノ善後処置タルニ過キシテ之カ根本解決案ニ付テハ姑ク之ヲ留保シ事態ノ闡明ヲ俟テ交渉ヲ開始スヘキ次第ナルハ往電第一九号及漢口經由往電第一五号ニテ御了悉ノ通ナリ

(二)然ルニ從来貴官ヨリノ報告ハ乍遺憾尚ホ當時ノ事情ヲ的確ニシ難キ点無キニ非ス現ニ在支公使發貴官宛電報第二八号我軍艦砲撃ニ関スル責任者ノ何レナルヤ前後ノ報道齟齬セルカ如キ其ノ一例ニシテ旁々解決条件並ニ交渉ノ對手方ヲ決定スルニ付テハ往電第一九号ニ付シ貴官ヨリ委曲ノ報告接電ヲ俟タサルヘカラサル次第ナリ

(三)就テハ差当リ貴官ニ於テハ各被害事件ノ真相ヲ明カニシ其ノ責任者ヲシテ事態ヲ確認セシメ以テ追テ帝国政府ノ訓令ニ接スル迄解決条件ヲ留保スルニ止メラレ此上彼我ノ間ニ具体的談合ヲ進メラルルコトハ見合セラレタシ尚ホ貴電末段大津ノ慘殺ヲ以テ誤殺ノ甚シキモノナリ云々ノ意味了解シ難キモ如斯明白ナル殘忍行為ニ對スル弔慰ノ方法如何ハ前記本件ノ根本的解決案ノ主要ナル一項ヲ成スモノナルニ付御來示ノ如キ意味不徹底ナル布告發布ノ要求ヲ我方ヨ

三、湘潭着港當時ノ模様並ニ船内掠奪ト邦人ノ捕縛

七五五 七五六

八五三

武陵丸ハ本月十一日正午当地ヲ解纜湘江セリ途中北軍ノ下江スルヲ認メタルモ文章閣上流ハ既ニ南軍ノ手ニ帰シ至極平穏ノ状態ニアリタリ然レ共當館派出ノ古沢巡查ハ

万一ヲ慮リ同船長ニ対シ引返ス方安全ナラントノ意ヲ漏ラセシモ同船長ハ同地ノ南軍ニ帰シタル以上寧ロ入港ガ安全ナラントシ同日午後三時五分湘潭ノ中流ニ投錨セシニ少數ノ南兵ハ臨検スルト称シ船内ニ侵入シ最初ノ程ハ危害ヲ及ボス傾向見エザリシモ其後入替リ立替リ数百名ノ南兵上船シ遂ニ船客全部ノ手荷物ヲ掠奪シ漸次其度ヲ加ヘ午後七時頃ニハ船客、船員及船客用備品等殆ド一品モ余サズ掠奪セリ又其最中同船セシ大津来徳ハ張敬湯ニ酷似セルトノ嫌疑ヲ受ケ兵士ノタメ後手ニ捕縛サレ（尚ホ同船セシ北兵二名捕縛セラレ後殺害セラレタル由又兵士所持ノ銃、弾子ハ没収セラル）タルヲ以テ極力邦人タルコトヲ立証シタルモ聞キ入ル模様ナキノミナラズ却ツテ暴行ヲ加ヘントスル形勢ヲ示シ同人ヲ拉致シタルモノニ有之候捕縛セラレタル際大津来徳ノカクシヨリ湖南軍督軍署諮詢官黃中（當時ノ特等船客ニシテ漢口ニ於テ乗船シタルモノノ如ク当地日清公司出張員ハ知ラザルナ

兵ノタメ掠奪中ナリキ）

五、慘殺後ノ状況

十二日慘殺後ノ状況ヲ実見セル支那人ノ談ニヨレバ大津來徳ハ湘潭十六総ノ後方市街ヲ出テ洗硯塘ト称スル道路ノ左傍乾田ニ於テ十一日午後五時半頃銃殺シ後首ヲ落シ両手、両脚ヲ傷ケ胸腹部ヲ十字形ニ切開シ臍腑ヲ引出シ頭部ヲ持チ去リタルモノナリト當時遺骸ハ同所ニ放棄セラレ俯ニ長ク匍匐シ上部ニハ汗取り襯衣及ビ「ワイシャツ」ヲ被リ下部ハ何物ヲモ着サズ裸体トナリ手脚ヲ傷ケ耳ヲ削リ臍腑ハ附近ニ散乱シ首ハ切断セラレテ附近ニ見当ラザリシモ右ハ十四総倉門前ニ前頭部蓋骨ニ穴ヲ穿チ麻紐ヲ通シ晒首ニ致シ置キシモ十二日午後三時取り去リ丘鶏公嘴ノ墓地ニ前日銃殺セシ北兵三名ノ死体ト共ニ又身体ハ十三日前洗硯塘丘下大道ノ傍ノ北兵二名ヲ埋メタル隣ニ埋葬セリ

六、日清汽船株式会社湘潭代理店、同倉庫掠奪ノ模様右代理店ハ同日南軍兵士ノタメ目ボンキ器具並事務員ノ私有品タル衣類、金錢ノ掠奪ハ言フニ及バズ家具、什器等ヲモ破壊横暴ヲ逞フシ又同倉庫モ同日側面門戸ヲ破壊

リノ名刺発見セラレタル為一層其ノ疑ヲ深カラシメタルモノト考ヘラレ候

四、救護ト惨殺

前述ノ如ク極力人違タルヲ弁明シタルモ聞キ入ル様子更ニナク暴行ヲサヘ加フルニヨリ古沢巡查ハ止ムナク司令部ニ長官ヲ訪ヒ之ヲ救護セント欲シ後ヲ邦人等ニ托シ同地居住森井羊三ヲ同行出発シ各方面ヲ尋ネタルモ責任者ニ面会スルヲ得ズ最後ニ漸ク司令部ヲ尋ネ當テタルニ同所ニハ既ニ同行ノ邦人殆ンド來会シ大津来徳慘殺セラレタル件ニ関シ參謀周權初ト交渉中ナリシヲ以テ同巡查ハ始メテ此ノ凶事ヲ知リタルモノナリ邦人等モ最初大津来徳ノ急ヲ救ハント同所ニ來リタリシモ間モナク兵士入リ來リ今張敬湯ヲ殺シ首ヲ斬リ胸ヲ断チ割リ心ヲ出シ石油ヲ注ギ燒キ捨テタリト称シ尚ホ日本人ハ張敬湯ヲ保護セルモノナリナドト危険來会セン邦人ニ迄及ブベク危ブマレタルヲ以テ惨殺ノ現場ヲ確ムルヲ得ザリシトコロヨリ止ムナク屍体引渡並ニ途中ノ保護方ヲ依頼シ護衛兵約二十名ヲ附シ帰船シ同日午後八時十五分拔錨無燈全速力ニテ長沙ニ向ヒ申候（帰船ノ途中同地日清公司倉庫ハ南

侵入シ保管ニ係ル全貨物ヲ掠奪シタルモノニ有之候

七、武陵丸ノ着沙後ニ於ケル領事館ノ注意 武陵丸ノ当地ニ帰港スルヤ湘潭ニ於ケル事件ニ鑑ミ黃中始メ其ノ他南軍ノ疑惑ヲ招クベキ乗客ニ対シ下船方船長ニ注意ヲ与ヘタルニ黄中等ハ直ニ下船他船ニヨリ下江シタリト云フ

八、一件書類写添附目録

一、別紙一号写 告示

二、別紙二号写 督軍ヨリノ来信

三、別紙三号写 ^(註2) 告示

四、古沢巡查復命書

五、日清汽船株式会社汽船武陵丸被掠奪及大津来徳被害ニ関スル船長ノ報告書

六、参考人村井茂太外三名ノ聴取書（四通）

七、日清汽船株式会社長沙出張所員大津来徳於湘潭南兵ノ為惨殺セラレタル情況及遺骸ニ関スル当地同社出張所ヨリノ報告書

八、日清汽船株式会社汽船武陵丸及湘潭同社代理店倉庫南軍兵士ノ為掠奪被害ニ関スル同社當地出張所ノ報告書

右及報告候間御查閱相成度此段申進候 敬具

本信写送付先 支那公使、広東総領事

註 1 在長沙領事館告示第一二号トアルハ第一項ニ云フ別紙三号

ナリ
2 添附書類ヲ省略ス

本信写送付先 漢口 長沙
(附屬書)

小幡公使ヨリ陳外交総長代理宛抗議公文第一三八号写

第一三八号

大正九年六月二十一日

小幡公使

七五七 七月一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

中国軍隊ノ武陵丸掠奪、我国軍艦射擊、邦人慘殺等

二閔シ外交部ヘノ抗議文写送付ノ件

附屬書 六月二十一日付小幡公使ヨリ陳外交総長代理宛公文第一三八号写

機密第二六七号

大正九年七月一日

在支那 特命全權公使 小幡酉吉(印)
外務大臣子爵 内田康哉殿

本件ニ閔シテハ六月十八日附貴電第三三三号ヲ以テ御来訓ノ次第モ有之本使ヨリ外交総長代理ニ対シ不取敢抗議提出致置候次第八往電第五八〇号ノ通ニ有之茲ニ右公文写及送付候間御查閱相成度此段申進候也

ニ依リ行ハレタルヲ問ハス当然貴国中央政府ニ於テ其責ヲ負ハルヘキ儀ナルハ申迄モ無之候間帝國臣民生命財産ノ保護ハ勿論其他該不法行為ノ再演ヲ防止スル為速カニ的確適切ナル方法ヲ講セラレ度本件ニ閔シテハ更ニ詳報ニ接シタル上何分ノ儀交渉ニ可及モ不取敢此段照会得貴意候 敬具

七五八 七月三日 在中國小幡公使宛(電報)
岳州附近中國兵ノ不法行為ニ閔シ中国政府ニ対シ適切嚴重ノ措置方ヲ要請スル様訓令ノ件

第三六七号
漢口發長沙宛第一二二号ニ閔シ依然秩序紊乱ノ為メ此種不法行為ノ続出ヲ見ルハ遺憾ニ堪ヘス右被害事件ニ付テモ一応之ヲ指摘シ抗議ヲ申入レ尚何レ事態ノ判明ヲ俟チ更ニ交渉ニ及フコトアルヘキモ差当リ秩序維持回復ノ為メ至急適切嚴重ナル措置ヲ講セラレ度旨並ニ尚此上此種暴行終熄セサルニ於テハ我出先官憲ニ於テ邦人ノ生命財産保護ノ為メ自衛上必要ノ措置ヲ講スルノ止ムヲ得サルニ立至ルヘキ旨

帝国政府ノ訓令トシテ可然申入レラレタン
右訓令トシテ広東長沙へ参考トシテ漢口へ転電アリタン
右及報告候間御查閱相成度此段申進候 敬具

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ日本側被害一件

七五九 七月三日 在廣東太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

武陵丸遭難邦人慘殺軍艦伏見砲擊ニ閔シ漢口總領事
交部長ヘ抗議ノ件

第一四三号

(七月四日接受)

武陵丸遭難邦人慘殺軍艦伏見砲擊事件ニ閔シ漢口總領事ヨリハ今尚転電ニ接セザルモ余り長引ク嫌モアリ且事件ノ内容ハ貴電第四二号ニ依リ略々明白トナリタルヲ以テ本月三日御訓令ノ趣旨ヲ覺書ニ認メテ溫宗堯ニ手交シ一応ノ説明ヲ加ヘタル処温ハ極メテ眞面目ニ當方ノ説明ヲ調査シ即時譚督軍ニ訓電ヲ發スベキ旨申述ベタリ尚岳州米國宣教師殺害事件ニ閔シテハ軍政府ハ過日南軍司令部ヨリ報告ニ接シタルモ本件ニ閔シテハ何等報告ニ接シ居ラズト語レリ
在支公使ヘ電報セリ

註 外務大臣六月二十九日發太田總領事宛第四二号ヲ省略セリ右ハ在長沙領事代理發外務大臣宛第四五号及第五〇号ノ転電ナリ
七六〇 七月三日 在長沙池永領事代理宛(電報)

大津殺害日清汽船ノ損害等ニ付我方力中國側ニ要求

七五八 七月三日 在廣東太田總領事宛(電報)

八五七

スペキ弔慰料及賠償金裁定ニ関スル件

第二三号

今回ノ動乱ニ伴フ我被害中大津ノ殺害及日清汽船ノ損害ニ付テハ全社ヨリ詳細上申ヲ俟チ弔慰料及賠償金ヲ裁定スル筈ナルカ右査定上参考トナルヘキ事項アラハ貴見ト共ニ委曲電報アリタク將又一般在留邦人ノ被害ニシテ賠償ヲ要求スヘキモノアラハ之カ賠償見積額等併セテ電報アリタシ

七六一 七月五日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南省ニ於ケル我方被害ノ真相報告ノ件

第六〇号

貴電第一九号ニ関シ

各被害事件ノ真相並南軍側ノ所為ナルコトノ確証左ノ通電報ス尤モ昨四日未明当地発汽船便ニテ郵報セリ尚全号貴電末段ノ御電訓敬承本件解決ハ政府ノ命ニ依リ改メテ交渉開始ノコトハ度々先方へ言明シタルモ為急書面ヲ以テ先方へ通告スベキモ解決案ニ関シテハ未ダ何等申入レズ

(一)武陵丸ハ客月十一日午後三時五分湘潭ノ中流ニ投錨セシニ此ノ日南軍ハ全地ヲ既ニ占領シ少數ノ南兵ハ臨検スルト

称シ船内ニ侵入シ最初ノ程ハ危害ヲ及ボス傾向見エザリシモ其後入り替リ立チ替リ数百名ノ南兵乗船シ遂ニ船客全部ノ手荷物ヲ掠奪シ漸次其ノ度ヲ加ヘ午後七時頃ニハ船客船員及船客用備品等殆ド一品モ余サズ掠奪セリ又其ノ最中同船セシ大津来徳ハ張敬湯ニ酷似セリトノ嫌疑ヲ受ケ兵士ノ為後手ニ捕縛サレタルヲ以テ同行ノ邦人等ハ極力邦人タルコトヲ立証シタルモ聞キ入ル模様ナキノミナラズ反ツテ暴行ヲ加ヘントスル形勢ヲ示シ仝人ヲ拉致上陸シタリ捕縛セラレタル際大津来徳ノ衣裳ヨリ湖南督軍署諮詢官黃中(當時ノ特等船客ニシテ漢口ニ於テ乗船シ古沢巡查ノ報告ニ依リ見ルニ湘潭ノ南軍ノ手ニ帰シタルコトヲ知リタルヤ救護方ヲ船長ニ懇願シタルモノノ如シト)ノ名刺ヲ発見セラル古沢巡查ハ已ムナク司令部ニ長官ヲ訪ヒ之ヲ救護セント欲シ漸ク司令部ヲ尋ネ当テタルニ全所ニハ既ニ全船ノ邦人(上陸後大津ノ後ヲ追ヒ取リ戻シニ努メタル邦人)殆ド來会シ大津来徳慘殺セラレタル件ニ関シ參謀周権初ト交渉中ナリシヲ以テ全巡查ハ始メテ此ノ兇事ヲ知リタルモノナリ邦人等モ最初大津来徳ノ急ヲ救ハムト全所ニ來リシモ間モナク兵士入り來リテ今張敬湯ヲ殺シ首ヲ斬リ胸ヲ断チ

ニ揚ゲタルモ射撃ヲ中止セズ益々甚ダシク放置シ難キヲ以テ全午後九時五分小銃ヲ以テ応射セシニ全九時九分南兵ハ敗走全艦ハ射撃ヲ中止セリ

北京、廣東へ転電セリ

七六二 七月六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

武陵丸掠奪及大津慘殺事件ハ早急解決スル方有利ナルベキ旨稟申ノ件

第六五〇号

(七月六日接受)

外務大臣發在長沙領事宛第一九号ニ關シ根本解決案慎重御考慮ノ儀ハサルコトナガラ此種事件ハ其熱ノ冷メザルウチ成ルベク速ニ具体的条件ヲ提出シ解決ヲ期スル方有利ナラント信ゼラレ岳州ニ於ケル米國宣教師事件ノ如キハ支那側トノ間ニ既ニ大体話纏リタル模様ニテモアリ旁々武陵丸掠奪及大津慘殺事件ハ根本解決案ト引離シ損害額其他必要条件至急御決定ノ上交渉ヲ進行セシメラル様致シタク何分ノ儀御回電ヲ請フ

在長沙領事へ転電セリ

七六三 七月六日

在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛

嵯峨艦ニ対スル南軍ノ射撃ニ関スル同艦艦長ノ報告

写送付ノ件

機密公第一四号

(七月二十一日接受)

大正九年七月六日

在長沙

領事代理 池永林一(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

帝国軍艦嵯峨、伏見ニ対スル南兵射撃ニ関スル件

本件ニ閲シテハ機密公第一二号ヲ以テ帝国軍艦伏見ニ閲スルモノノミ詳細及報告置候処今回別紙写ノ通り梅田嵯峨艦長ヨリノ報告有之候間右ニテ御了知相成度此段報告申進候

敬具

本信写送付先 在支公使、広東総領事

(別紙)

嵯峨艦長ノ報告写

軍艦嵯峨射撃顛末

大正九年六月十三日嵯峨ハ別図^(註)ノ如ク碇泊警備任務中南軍

既ニ長沙ヲ占領シタル時ニ於テ同日午前七時頃同艦右舷後部ニ二三小銃弾飛来シ内一弾ハ舷側ニ命中シタルヲ以テ或ハ支那軍艦ト誤認セルニアラザルヤト慮リ直ニ鮮明ナル軍艦旗ヲ檣頭ニ掲ゲタルモ次デ上流方面約五百米ナル両岸ヨリ本艦々首両舷ヲ射撃シ内左舷艦首ニ四、五ノ命中弾ヲ見シモ幸ニ乗員ニ負傷ナカリキ時ニ上流ヨリ北兵七、八名ヲ乗セタル「ジャンク」下江シ來ルヤ両岸ノ南軍ハ之ヲ猛射シ左岸ニアリシ南軍五、六名ハ直ニ「ジャンク」ニ飛ビ乗リ北兵「ジャンク」ヲ追撃シツツ本艦ノ右舷艦首方ニ來リ北兵「ジャンク」ハ一旦本艦対岸ニ着陸シタルモ直ニ引返シ本艦々尾ニ接近シ來リ負傷セル北兵ハ庇護ヲ求ムル様子ナリシガ艦員之ヲ制止シタル為本艦下流約五、六十メノ處ニ於テ追撃シ來レル南軍「ジャンク」ノ為捕虜トナリ武装ヲ解除セラレ南軍側ヨリ赤十字ノ標識アル旗ヲ樹テタル民船來リテ北軍負傷兵ヲ収容シ去レリ

之ヲ要スルニ當時南北軍ノ對勢上一モ本艦ニ流弾ノ飛来スベキ理由ヲ見出サズ又南軍ガ何ノ目的ノ為ニ本艦ヲ射撃セシカヲ了解スルニ苦シム所ナリ(終)

註 別図ヲ省略ス

大

正九年七月六日

(七月二十一日接受)

七六四 七月六日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛

湖南省ニ於ケル南北戦ノ際ノ日本側被害ニ関シ譚延

圖二照会ノ件

附屬書 右譚延閣宛照会写

機密第一五号

大正九年七月六日

在長沙

領事代理 池永林一(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

本件ニ閲シテハ客月三十日附機密公第一三号ヲ以テ及報告^(註)

候其後御電訓ノ次第モ有之別紙ノ通り支那側ニ照会致置

候前回報告ニ依リ御了知ノ通り解決案ニ閲シテハ未ダ何等

交渉セズ唯ダ他日交渉解決上基礎トナル可キ事実ヲ當局ニ

確認セシムルニ努力スルニ止メタル次第ニ有之尚政府ノ訓

令伝達ニ対スル支那側回答文冒頭ニ於テ一般的ニ邦人ニ被

害ヲ及ホシタルコトヲ承認シ居ルヲ以テ尚之ヲ確実ニスル

為メ右照会文ヲ発シ置候次第ナルヲ以テ此ノ上前記各項事

件ニ閲シ書面ヲ以テ事実ノ顛末大要ヲ示シ加害兵士ノ取調

七六四

以書簡啓上仕候陳者今回ノ事変ニ際シ貴軍軍隊方敵国人ニ被ラシメタル不法事件即一、日清汽船会社員大津来徳ヲ慘殺及同会社所有武陵丸船内ニ於ケル掠奪並ニ同会社ノ湘潭倉庫及事務室ニ於ケル掠奪事件二、戴生昌湘潭事務室内ニ於ケル掠奪及同商所有小蒸氣船強徵事件三、帝国軍艦嵯峨、伏見両艦射撃及之レニ伴フ伏見兵員負傷事件等ヲ發生シタル件ニ閲シテハ已ニ詳細事實ヲ指摘シ申入置候處閣下ハ今後邦人ノ生命財産ヲ保護スルハ勿論前各項ノ如キ不法事件ヲ再発セシメザル為メ已ニ適切ナル予防方法ヲ講セル趣声明セラレ候処其後下江岳州臨湘磯附近ニ於テ日清公司

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

八六一

汽船射撃事件及戴生昌小蒸氣船強徵事件等続出シタルハ甚

ダ遺憾トスル処ニシテ且ツ日清公司汽船ガ被害地湘潭ニ向

ケ又戴生昌汽船ガ常徳其他ニ向ヒ航行セントスル今日ニ有

之候間更ニ之レガ取締ヲ嚴重ニセラル様相成度尚之等不

法事件解決案ニ関シテハ已ニ明言致置候通り他日帝国政府

ノ訓令ニ接スル迄留保可致候間左様御了知相成度此段得貴

意候 敬具

追テ戴生昌所有小蒸氣船ノ強徵並ニ航路妨害事件モ其節

大体其ノ事実ヲ申入置候モ尚ホ本件ハ今回ノ事變ニ際シ

被リタル他ノ不法事件ト共ニ詳細事実ヲ御通知可致候間

為念此旨申添候

大正九年七月六日

池永 林一

譚延闓殿

七六五 七月七日 在漢口瀕川總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

洞庭湖ニ於テ日清汽船湘江丸ガ射撃セラレタルニ付

当該官憲ニ嚴重取締要求方池永領事代理ヘ電訓シタ

ル件

外務大臣、在支公使ヘ転電セリ

七六六 七月十四日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

湖南擾乱ニ伴フ我被害事件ノ解決条件提示及中国側

ヲシテ我要求全部ヲ容認セシムル様折衝方訓令ノ件

別電 同日内田外務大臣発在中国小幡公使宛電報第四〇〇号

○号

第三九九号

右解決条件

湖南擾乱ニ伴フ我被害事件(大津殺害、軍艦伏見砲撃、武陵丸掠奪其ノ他日清汽船ノ被害)ニ関シ慎重考慮ノ末別電第四〇〇号ノ方針ニ依リ解決ヲ期スルコトニ決定セリ尚別電ノ内(以下)迄ハ最モ克ク事態ヲ認知セル在長沙彼我官憲ノ間ニ交渉ノ歩ラ進メシムル方却テ迅速ナル解決ヲ期シ得ヘキヤニ想察セラルルニ付御同感ノ節ハ訓令トシテ在長沙領事ヘ電達方可然取計ハレ度尤モ右ノ通取計フニ就テモ中央政府当局ヲシテ大体我方全部ノ要求ヲ承認セシメ置クノ必要アルハ勿論一方南方政府大体ノ同意ヲモ取付ケ置クコト肝要ニ付右可然御配意ノ上在広東總領事ヘハ貴官ヨリ

可然御指示アリタシ尚又死傷者ニ対スル弔慰金其ノ他損害

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

第一〇六号

(七月八日接受)

本官発在長沙領事代理宛第一五号

七月六日前二時常徳ヲ発シ七日午前八時漢口ニ帰着セシ

湘江丸船長ノ報告ニ依レバ同船ガ六日午前十時洞庭湖内大

安島ノ北端ナル南嘴ニ達シタルニ同處ノ丘ノ上ニ約三、四

十名ノ武装セル兵士現レテ丘上ヨリ大声ニテ停船ヲ逼リタ

ルモ同船ハ之ニ応ゼザリシニ忽チ射撃ヲ始メ銃弾ノ飛ビ來

リテ船体ニ命中シ若クハ水中ニ落ツルモノモ鮮カラザリシ

ガ同船ニハ防弾ノ設備ヲナシ居タルト射撃ノ際ニハ乗客及

乗組員ヲ反対ノ側ニ移サシメタル為幸ニシテ一名ノ死傷者

ヲモ出サザリシ右兵士ハ南軍ナルヤ又北軍ナルヤ服装区々

ニシテ何レトモ判断シ難ク又乗客中ニハ右ハ南県駐屯第五

混成旅ノ兵士ガ旅長ヲ殺害シ逃レテ匪賊トナリタルモノナ

リトモ云ヘリ右大安島ハ岳州常徳間ノ汽船航行ニ必ズ経過

セザルベカラザル地点ナルヲ以テ右ノ如キ暴行者ヲ此儘放

任スルニ於テハ今後同地ヲ通行スルコト甚ダ危険ニシテ如

何ナル損害ヲ蒙ルヤ計リ知ルベカラザルヲ以テ貴官ハ右ニ

関シ嚴重ナル取締方至急貴地當該官憲ニ御交渉ノ上其結果

電報アリタシ

(別電) 七月十四日内田外務大臣発在中国小幡公使宛電報第四〇〇号

湖南擾乱ニ伴フ我被害事件ノ解决条件

スル不法射撃ニ闘シ中國側へ照会ノ件

附屬書 七月十五日附小幡公使ヨリ陳外交總長代理宛書翰
写

機密第一九〇号

大正九年七月十五日 (七月廿七日接受)

在支那

特命全權公使 小幡西吉 (印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

湖南省ニ於ケル武陵丸掠奪大津来徳慘殺並ニ軍艦ニ対スル不法射撃ニ闘スル件

本件ニ関シ左記書類及送付候也

本信写送付先
長沙
漢口

大正九年七月十五日附陳外交總長代理宛照会第一五九号写

(附屬書)

七月十五日附小幡公使ヨリ陳外交總長代理宛照会写

第一五九号

以書翰致啓上候陳者本邦商船ニ対スル在湖南省貴國軍隊兵

ヲ擬シテ暴行ヲ加ヘ遂ニ大津ヲ陸上ニ引キ行キタリ依テ前記古沢巡査ハ已ムナク南軍司令部ニ至リ大津ヲ救護セント欲シ漸ク同所ニ着シタルニ此時囊ニ均シク大津ヲ救フ為同人ニ尾シテ同行シタル他ノ本邦人等モ都テ同所ニ集合シ居リ大津来徳カ途中既ニ兵士等ノ為慘殺セラレタル件ニ關シ參謀周権初ト交渉中ナリシニ出会いヒ初メテ此凶事ヲ知リタル次第ナリ而シテ他ノ本邦人等ハ最初大津ノ急ヲ救フ為該司令部ニ到リタルニ程ナク兵士等入り來リ只今張敬湯ヲ殺シ其首ヲ斬リ胸ヲ割キ心臓ヲ抽キ出シ石油ヲ注キテ燒キ棄テタリト称シ尚同所ニ居合セタル本邦人等ニ対シテモ不穏ノ言動アリ大ニ危険迫レルヲ感シタルヲ以テ古沢等モ慘殺ノ現場ニ赴キテ臨検スルヲ得ス已ムナク周參謀ニ対シ大津ノ屍体引渡並ニ一行帰船途中ノ保護方ヲ求メ碼頭迄護衛兵約二十名ヲ附セラレ帰船シ武陵丸ハ同日午後八時十五分拔錨長沙ニ帰航シタリ然ニ右帰船ノ途中他ノ軍隊兵士等ハ盛ニ同地日清汽船会社倉庫ヲ掠奪中ニテ之カ為前記一行ノ護衛兵等モ報ヲ聞クヤ掠奪ニ参加スル為直チニ其方ニ駛セ去リ碼頭迄至リタルハ僅カニ三名ノミナリ尚其後確カメ得タル所ニ依レハ

士ノ掠奪及其帝國臣民大津来徳慘殺並ニ其帝國軍艦ニ対スル不法射撃及之ニ依リ生セル帝國海軍兵ノ負傷等各事件ニシテハ曩ニ六月二十一日附公文第一三八号照会貴總長代理ニ面交致置候處其後關係帝國領事ヨリ更ニ報告ジ來レル所ニ拠レハ各事件ノ詳情左ノ通リニ有之候

(一)六月十一日午後三時頃日清汽船会社汽船武陵丸ハ湘潭前面ノ中流ニ投錨シタル處南軍ハ当日方ニ同地ヲ占領シ而シテ少數ノ南軍ハ同船ヲ臨検スヘシト称シ船員等ノ制止ニ拘ハラス船内ニ侵入シ来リ初メハ何等危害ヲ及ボス如キ拳動見エサリシモ數百名ノ兵士等入レ代リ陸続乗船シ来ルヤ遂ニ船客全部ノ手荷物ヲ掠奪シ初メ益々其勢ヲ増シ午後七時頃ニ至リテハ船客船員ノ所有品ハ固ヨリ船客用備品等ニ至ル迄一物ヲモ余サス掠奪シ尽シタリ尚右掠奪ノ最中該兵士等ノ或者ハ同船ニ在リタル日清汽船会社員大津来徳(原籍熊本県鹿本郡山鹿町人)ヲ指シテ張敬湯ナリト称シ直チニ同人ヲ捕ヘテ後手ニ縛シ同船ニ在リタル在長沙帝国領事館巡査古沢菊次郎及ヒ船員其他ノ邦人等カ其日本人タルコトヲ証言シタルニ拘ハラス該兵士等ハ毫モ之ニ耳ヲ藉サス却ッテ他ノ邦人等ニ対シテモ銃

同艦ハ直チニ射撃ヲ中止シタリ

以上各事件ニ関シテハ貴國側ニ於テ如何ナル措置ヲ執ラレタル次第ナルヤ前掲當方公文第一三八号ニ對シテモ未タ何御了知ノ上本件ニ對スル貴方御取計ノ次第何分ノ儀御回示相成度此段得貴意候 敬具

大正九年七月十五日

日本帝国特命全権公使 小幡西吉
支那共和国外交總長代理 陳鑑殿

七六九 七月十九日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南省ニ於ケル中国側ノ不法行為ニ關シ中国政府ノ

陳謝ノ外広東軍政府ノ陳謝ヲモ要求スル点ニ關シ意見裏申ノ件

第七一九号 (七月二十日接受)

貴電第四〇〇号要求条項(一)ト(二)ト全然同一ノ遺憾表示ヲ二箇所ニ於テ為サシムルコトハ便宜問題ヲ超越シテ二箇ノ政

府ヲ認ムルノ嫌アリテ面白カラザルノミナラズ陳外交總長代理モ南軍側ノ所為モ外國ニ對シテハ中央政府ニ於テ其ノ

ヘキ支那側軍憲カ目下ノ處南方側ノ隸下ニアルノ事実ニ顧ミ軍政府側ニ於テモ其ノ責任ヲ確認セシメ以テ本件ノ円満迅速ナル解決ニ便セシメムト欲シタルニ外ナラズ又広東総領事カ非公式ニ軍政府ト本件交渉ヲ試ミルモ之カ為メ必シモ同政府ノ存在ヲ認ムルモノトハ思考シ難キモ御來示ニ拠レハ中央政府ヲノミ對手方トスル方進捗上却テ好都合ト思考セラルルヤニ認メラルニ付テハ此際往電第四〇〇号(三)及(四)ノ措置ヲ執ルコトハ姑ク之ヲ見合セ専ラ中央政府ヲシテ(三)及(四)ヲ除ク我方要求全部ヲ承認セシムルコトト致度就テハ在長沙領事ヲシテ同地官憲トノ間ニ折衝セシムルコトト致度就テハ右ノ趣旨ニ依リ長沙広東ニ可然電達アリタシ

七七一 七月二十四日 内田外務大臣ヨリ
在長沙池永領事代理宛(電報)

湖南省ニ於ケル我方被害ニ對スル弔慰料賠償金査定 進捗方ニ關スル件

第二四号

七七二 七月二十六日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
湖南省ニ於ケル我方被害事件ニ關スル中國側トノ交渉ノ進メ方ニ付在長沙領事代理ニ電訓ノ件

第七五五号 (七月二十七日接受)

本使發在長沙領事宛七月二一拾六日第三五号

往電第二三号ニ關シ日清汽船ノ損害要償額ニ付テハ尚ホ實地ニ就キ精査中ノ由ナルカ右取調完了ノ上ハ一応貴官ノ認

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七七一 七七二

責ニ任ズルコト当然ナル旨申シ居ルコト既電ノ通ナルニ付此論法一点張ニテ押シ通シ唯實行ヲ伴フ(四)乃至(八)ハ事實問題トシテ當該領事モ交渉ニ當ラシムルコトトシ然ルベク若シ(三)ヲ存シ之ヲ北方政府ニモ通ズルニ於テハ是レガ為本来左迄困難ナク承諾スペキ(一)ヲ初メ(九)(十)マテ當北方政府ニ於テ承諾ヲ難ンズルニ至ルノ虞アリサリトテ軍政府ニ申シ入ル以上勿論是レヲ北方政府へ通ゼザル訳ニ行ク間敷ク即(一)及(三)ヲ保存スルガ為全部ノ解決ヲ渋滯セシムル虞アリト思ハル就テハ(三)ハ一切之ヲ見合セ從テ(四)モ亦之ヲ止メ強ヒテ必要アルニ於テハ(三)ノ次第中央政府ヲシテ軍政府ヘモ電達セシムルコトシ然ルベキカト存ズ

御再考ノ上至急何分ノ儀御電報ヲ請フ

七七〇 七月二十四日 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)

陳謝要求ハ姑ク見合セ可然旨回訓ノ件

第四二五号

貴電第七一九号ニ關シ南方側ヨリモ遺憾ヲ表示セシムトシタルハ解決条項中処分セラルヘキ責任者並陳謝ヲ實行ス

証ヲ經テ當方ヘ進達ノ運ヒトナルヘキニ付其御含ヲ以テ出来得ル限り速カニ調査進捗方御指示アリ度ク尚ホ其後モ引続キ被害ヲ生シタルモ差当リ機密第一号乃至第一五号貴信報告ノ被害ニ對スル賠償ヲ要求シ他ハ更ニ事實ノ精査ヲ俟テ賠償額等ヲ審定スルコトト致度ニ付右ノ御含ヲ以テ調查進行方折角御配意アリタシ將又大津ノ弔慰金ハ岳州ニ於テ殺害セラレタル米国人宣教師ノ先例等ニ顧慮シ殊ニ其慘虐ナル殺戮ニ鑑ミニ銀四万元位ヲ至当ト認ムルモ右ニ對スル御意見モ併セテ具申アリタシ

北京広東ヘ転電アリタシ

七七一 七月二十六日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南省ニ於ケル我方被害事件ニ關スル中國側トノ交

渉ノ進メ方ニ付在長沙領事代理ニ電訓ノ件

本使發在長沙領事宛七月二一拾六日第三五号

湖南擾乱ニ伴フ我被害諸件ニ關スル對支要求各項ニ付テハ過日大臣ヨリ電報アリタル答ノ處該条項中(三)及(四)ハ本使ヨリ卑見電稟ノ結果是ヲ見合セ専ラ中央政府ヲシテ(一)及(二)

八六九

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

八七〇

乃至(+)ヲ承認セシムル様交渉スル事トスベキ旨大臣ヨリ電訓アリ尚(国)乃至(+)事実問題ニ付テハ貴官ヨリ貴地官憲ヲシテ実行セシムル様措置セシムル事ト致シ度シトノ事ナリ就イテハ本使ニ於テ前記各条項中央政府へ提出ノ上貴地ニ於テ右(国)以下ノ実行ヲ迫ルベキ時機ニ達シタル節ハ其ノ旨電報スベキニ付予メ御含置アリタシ

大臣広東ヘ転電セリ（奉天經由二十七日前八、三〇）

七七三 七月二十七日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

湖南省ニ於ケル我方被害事件解決ノ為ノ我方要求ヲ

外交總長代理ニ提示シ急速解決ヲ要請シタル件

第七五九号 （七月二十八日接受）

貴電第四二五号ニ閑シ

七月二十七日本件要求条項及右ノ内(三)乃至(八)地方ニ於テ実行方ノ件ヲ附記セル覺書ヲ外交總長代理ニ手交シ十分説明ヲ加ヘ本件急速解決方申入レタル處同代理ハ是等事件ハ支那政府ニ於テモ極メテ重要ト認メタルヲ以テ曩ニ事件発生後程ナク譚延闔ニ対シ電報シ置キタルニ拘ラズ其後何等回報ナキニ付外交部ヨリ今回新二人ヲ派シ調査セシメタル上

七七三

可成速ニ解決スヘシト答ヘタリ依テ本使ヨリ大津ノ慘殺其他ノ事件ハ事実極メテ明確ニテ譚延闔ニ於テモ大体已ニ承認シ居ルノミナラス發生後已ニ二ヶ月余ヲ経過シ居リ此上更ニ新ニ内容調査ヲ遂ケストモ主義上正当ナル我条件ヲ容ル能ハサルノ理ナキコトヲ指摘シ且米國側岳州事件ノ例ヲ引キ是非トモ至急解決アリタシト要求シタル処同代理ハ更ニ外交部トシテハ曩ニハ譚延闔ヨリノ回報ヲ予期シツアリシ（脱）日子ヲ経過シ其後ハ時局紛乱ノ為諸官衙ノ事務停頓ノ姿トナリ從テ本件ニ遲延ヲ來シタル次第ニテ日本關係交渉事件ニ付輕重ノ別ヲ立ツルカ如キコト毛頭之ナク岳州事件モ米國公使館トノ間ニ何等解決セシニアラス單ニ張敬堯カ米國公使館ニ対シ四万五千元ヲ賠償スヘシト伸出テタルコトアルノミニテ公使側ハ此点ノミニテハ尚不満ニテ全体ニ付交渉其儘ニナリ居ル次第ナルカ要スルニ政府ハ本件覺書各事件ヲ重要視シ迅速解決ノ責ニ任スル決心ナルニ付右ニ諒セラレタシト述ヘタリ何レ適當時機ヲ見計ラヒ更ニ督促スル筈ナリ覺書郵送ス
長沙及広東ニ転電セリ

長沙及広東ニ転電セリ

セル我方要求条項覺書写送付ノ件
附屬書 右覺書写

機密第三〇四号

大正九年七月廿七日

在支那

特命全權公使 小幡酉吉（印）

外務大臣子爵 内田康哉殿

湖南省ニ於ケル日清汽船武陵丸及倉庫ノ掠奪、大津來

徳慘殺並帝国軍艦ニ対スル不法射擊ニ関スル件

本信写送付先 長沙
漢口

本件ニ閑シ左記書類及送付候也

大正九年七月廿七日外交總長代理ニ手交シタル覺書第

一六一號

（附屬書）

七月二十七日外交總長代理ニ手交ノ覺書写

第一六一號

覚書

七七五 七月二十七日 在中国小幡公使ヨリ

内田外務大臣宛

湖南省ニ於ケル日本側被害事件ニ閑シ中國側ヘ手交

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七七四 七七五

八七一

ノ慘殺並日本汽船武陵丸及日清汽船会社倉庫掠奪等被害事
件ニ対シ帝国政府ハ慎重考慮ノ結果茲ニ支那政府ニ対シ左

記各条件ヲ提出シ以テ此等事件ヲ円満ニ解決セんコトヲ期
スルニ付貴國政府ニ於テ速力ニ此正当公平ナル要求全部ヲ

容レラレンコトヲ希望ス

(一) 支那政府ヨリ帝国公使ニ対シ公文ヲ以テ前記各事件ノ發
生ニ対シ陳謝ノ意ヲ表スルコト

(二) 前項支那政府ノ公文ニ対シテハ帝国公使ハ文書ヲ以テ左
ノ趣旨ヲ声明スヘシ

「不幸ニシテ将来復又同様事件ノ發生ヲ見ルカ如キ場合
ニハ我方ハ自衛上或ハ我方自ラ適當ト認ムル措置ヲ執
ルノ已ムナキニ至ルヘキコト」

(三) 各不法行為ヲ直接ニ指揮シ若クハ下手シタル將校兵卒ハ
總テ嚴重刑罰ニ處スルコト

右刑罰執行(継続的刑罰ニ就テハ其宣告)ノ際ニハ在
長沙帝国領事又ハ館員ヲシテ之ニ立会ハシムルコト但

シ軍艦砲撃事件ニ就テハ帝国海軍將校ヲモ之ニ立会ハ
シムルコト

(四) 不法行為ヲ敢テシタル將卒ノ直屬長官ヲ嚴重処分スルコ

(五) 右ノ外軍艦砲撃事件ニ関シテハ不法行為ヲ加ヘタル主要
部隊指揮官ヲシテ我艦隊司令官ニ対シ陳謝ノ意ヲ表セシ
ムルコト

(六) 死傷者ニ対シ吊慰金ヲ支払フコト

(七) 掠奪其他ニ因ル損害ニ対シ迅カニ相當賠償金ヲ支払フコ
ト

尙前記条件中(三)乃至(八)ノ実行ニ関シテハ貴國政府ニ於テ之
ヲ承認セラレタル上帝國政府ニ於テ在長沙帝国領事ヲシテ
同地支那官憲トノ間ニ之カ措置ニ当ラシムルヲ妨ケサルニ
付貴國政府ニ於テモ之ニ関シ必要ト認メラル措置ヲ執ラ
ルル様致シ度シ

大正九年七月二十七日

在日本帝国公使館
在支那

七七六 七月二十九日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

湖南ニ於ケル中國軍隊ノ嵯峨艦砲撃ニ關シ中國側へ
提出ノ公文写送付ノ件

附屬書 七月二十八日附小幡公使ヨリ陳外交總長代理宛右

公文写

機密第三〇五号

大正九年七月廿九日

在支那

特命全權公使 小幡酉吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

本信写送付先

長沙

漢口

廣東

本件ニ関シ左記書類及送付候也

大正九年七月廿八日附外交總長代理宛公文第一六二一号

写

(附屬書)
七月二十八日附小幡公使ヨリ陳外交總長代理ニ提出ノ公文写

第一六二号

大正九年七月二十八日

陳外交總長代理宛

小幡公使

(二) 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七七六

八七三

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

八七四

來レル南軍戒克ノ為捕虜トナリ武装ヲ解除セラレタルカ要スルニ當時南北軍ノ對勢上一モ帝国軍艦ニ流弾ノ飛来スヘキ理由ヲ認ムル能ハサリシ次第ナル旨更ニ報告ニ接シ候查スルニ貴国軍隊其南北孰レタルヲ問ハススクノ如ク屢屢帝國軍艦ニ向ツテ故ナク射撃ヲ敢テシタルハ誠ニ不法ノ挙動ニ有之右ニ對シテモ貴国政府及当該貴国官憲ニ於テ当然其責任ヲ負ハサルヘカラサル儀ニ有之候間右様御承知相成度茲ニ別図写相添此段及照会候 敬具（別図写添付省略）

七七七 八月一日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
湖南省ニ於ケル我方被害事件ニ關シ外交部ヨリ譚延闊二問合ノ件

第六九号
本官發在支公使宛電報
第五七号
貴電第三八号ニ関シ

七月三十一日並本一日譚延闊訪問聞紀シタルニ六月末頃北
京外交部ヨリ電報アリタルモ何等回答スルコトナキ處又七月
二十九日事実内容取調協議ノ為直チニ人ヲ派スル旨電報

得度キ旨併セテ温ト接洽方御尽力ノ上結果電報アリタシ
外務大臣在長沙領事ヘ転電セリ（奉天經由八月五日前一
〇、三〇）

七七九 八月十一日 在漢口瀕川總領事宛（電報）
湖南ノ中国官憲ニ湖南事件ヲ確認セシムル為長沙ヘ
出張方訓令ノ件

第五一号

貴官長沙ニ出発方當方累次ノ督促ニ對シ何等返電ナク未タ
出発ナカリシモノト了解シ居タル處貴電第一三四号ニ依リ
始メ御出張ノコトヲ承知シタル次第ナルカ在支公使來電
ニ拠レハ支那政府ニ於テハ湖南事件ニ關シ今回實地調査員
ヲ特派スヘキ趣ナル處右ハ譚延闊ヨリ事実ノ真相ニ關シ詳

細ナル報告無キニモ由ルコトト認メラルモ翻テ推想スル
トキハ或ハ実地調査ニ名ヲ藉テ何等カノ言懸リヲ提起シ來

ルノ魂胆無シトモ謂ヒ難ク旁々先決問題トシテ湖南官憲ヲ
シテ各種不法行為ヲ充分確認セシメ置クコト極メテ肝要ト
認メラル處今日迄接到ノ長沙來電ニ拠レハ大津殺害事件

以外ノ各種事実ニ付テハ先方ニ於テ敢テ之ヲ否認セサルモ
スルニ貴國軍隊其南北孰レタルヲ問ハススクノ如ク屢屢帝
國軍艦ニ向ツテ故ナク射撃ヲ敢テシタルハ誠ニ不法ノ挙動

ニ接シタルモ目下ノ政況ニ照ラシ広東軍政府ヲ差置キ直接
外交部來往スル能ハスト尤モ七月五日軍政府ヨリノ接電
ニ對シテハ七月十日頃大体ノ事情ヲ回電セリト
廣東總領事ヘ転電ス

七七八 八月五日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
湖南事件解決ニ關シ廣東軍政府ノ協力ヲ得度旨同政
府へ申入方 在廣東總領事ニ電訓ノ件

第七九八号
（八月六日接受）
在廣東總領事宛電報第一二五号

湖南事件ニ關シ在長沙領事ヨリ本使宛第五七号電報アリタ
ルニ付貴官ハ溫宗堯ニ面会ノ上対支要求条項ヲ内示シ右電
報ノ大要ヲ告ゲ本件ハ事外交ニ關シ支那国内關係ノ為其ノ
正当解決ヲ遲延セシムル如キハ日支兩國ノ為甚ダ好マシカ
ラザル儀ナルニ付此ノ大事件ニ關シ然ルベク北方政府ト接
洽ノ上他面譚延闊ヲシテ至急本件各被害事件ノ事実内容ヲ
外交部へ通報セシムル様取計ハレ度キ旨非公式ニ申入レラ
レ尚同時ニ長沙領事ニ於テ湖南支那側ト接洽实行セシムベ
キ我条件（三）乃至（八）ニ關シテモ軍政府ニ於テ然ルベク配慮ヲ

北京、長沙、廣東ヘ転電アレ

註 在長沙領事代理七月二十三日發外務大臣宛第六七号省略セリ

七八〇 八月十一日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛
ノ交渉振報告ノ件

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七七九 七八〇

附屬書 八月十日池永領事代理ヨリ譚延闊宛照会書

八七五

湖南事変発生ニ際シ本邦人ノ被害ニ関シ申入ノ件

附記 本邦人側被害事実ノ詳細

機密信第二号

大正九年八月十一日

(八月二十五日接受)

左記(交渉権並ニ損害ノ賠償等ニ関シ説明ヲ加フ)

在長沙

領事代理 池永林一(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

本件ニ関シ客月十五日附機密公第一九号ヲ以テ及報告候処

右報告中(一)戴生昌所有小蒸氣船ノ強徵並ニ航路妨害事件(二)今回ノ事変ニ際シ被リタル他ノ不法事件ニ関シ別紙甲号写

ノ通り今回支那側ニ事実ヲ申入レ置候右支那側ニ照会文中

左記第一追書ハ被害事実ノ申入レ精確ヲ欠キ候モ右ハ予テ

電報致置候通り是等被害者ノ申告ヲ調査進行スルニ伴ヒ疑

ヲ差挿ム処多々有之候間殊ニ如斯追書ニ簡単ニ申入レ置タル次第ニ有之候右ハ目下当館原田署長ヲシテ之レガ真相ヲ

取調セシメ居リ候間調査ヲ遂ヶ次第更ニ及御報告候

這次湖南事変發生ノ際邦人ノ被害トシテ已ニ及御報告候モノハ左記ノ通りニ有之候処右ハ何レモ北京公使ニ於テ御交渉ノ趣ニ有之候間小官ハ同公使ノ指示ニ基キ万事取計可致

候尤モ是等事件以外多々有之候モ何レモ小事件ニ有之候間当地ニ於テ支那当局ト直接交渉致居リ候条左様御了承相成度此段報告申進候 敬具

一、日清汽船会社員大津来徳ヲ慘殺及同会社所有武陵丸船内ニ於ケル掠奪並ニ同会社ノ湘潭倉庫及事務室内ニ於ケル掠奪事件

二、戴生昌湘潭事務室内ニ於ケル掠奪事件

三、帝国軍艦嵯峨伏見兩艦射擊及之レニ伴フ伏見兵員負傷事件

四、岳州臨湘磯附近ニ於ケル日清汽船会社汽船射擊事件

右ノ内一ノ中大津来徳慘殺事件三、四ノ事件ハ当地支那当局ノ確認セルトコロ

尚其他モ大体ニ於テ之ヲ承認セルヲ以テ右ニ関シテハ二

ハ損害賠償額ハ本省ニ於テ御審査ノコトト思考仕り候間

一、四ノ損害賠償額ヲ日清汽船ヨリ可成速ニ提出セシメ

之ヲ審査ノ上本省其他ニ提出スルコト小官ノ目下執ルヘキ處ニ有之候モ右審査ハ當館ノ如キ人手不足ノ處ハ多少

間此段照会得貴意候 敬具

ノ時日ヲ要スルコトト思考仕候間本省ヨリ在東京同社ニモ至急提出スル様御下命相成度候尤モ同社漢口支店ヨリ東京同社ニ提出セシモノハ最近同社当地出張所ヨリ差出候モ右ハ本店ノ審議ヲ遂ケタルモノニハ無之候次ニ本件ニ関シテハ(一)(二)共ニ未タ支那当局ノ承認セサル處ニ有之殊ニ(三)ノ追書ニ關シテハ小官スラ疑ヲ挿ミ居ル次第ニ有之候間右ニ関シ小官ノ目下執ルヘキ處ハ(一)及(二)ノ内内田洋行被害事件損害賠償額ハ査定ノ上本省其他ニ報告済ナ

ルヲ以テ可成速ニ先方ヲシテ承認セシムルト共ニ別紙支那側照会文中第一追書ノ真相ヲ得本省へ報告スルト共ニ

支那側ニ申入ルコトト思考仕候

本信送付先 北京公使、広東総領事

註 七月十五日附機密第一九号ヲ省略セリ

(附屬書)

甲号写

八月十日附池永領事代理ヨリ譚延闓宛書翰

湖南事變發生ノ際ノ本邦人ノ被害ニ関シ申入ノ件

以書翰啓上仕リ候陳者今回ノ事変ニ際シ貴軍軍隊力敵国人ニ被ラシメタル不法事件ニ関シテハ七月六日附拙信ヲ以テ及照会候通り已ニ詳細事実ヲ指摘シ申入レ置候尚下江岳州

本件ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

申添候也

大正九年八月十日

譚延闓殿

池永林一

日間營業ヲ休止スルノ曰ムナキニ至リタルモノナリ

三、通源丸（長沙湘潭間線）

本船モ亦本航路ニ使用營業シ居リタル處南北両軍ノ為メ航行ヲ妨害セラレ六月六日起至六月二十一日共計十六日間營業不能トナリタルモノナリ

(附記)

本邦人側被害事実ノ詳細（註 池永領事代理ヨリ送付越）

第一、邦商戴生昌所有小蒸氣船ノ強徵並ニ航路妨害事件
一、全局經理船竜平号（長沙湘潭間線）

本船ハ本航路ニ使用營業シ居リタル處北軍第三師船所ノ為メ五月二十一日強徵セラレ吳佩孚軍ノ撤兵ニ使用兵士乗用ノ民船ヲ曳カシメ漢口ニ下航シ當館ヨリ交渉ノ結果六月五日長沙ニ回航シ來リタルモノニシテ其強徵日数共計十六日間又全月六日ヨリ全月二十一日ニ至ル十六日間ハ南北両軍ノ為メ航路ヲ妨害（妨害トハ強徵、射撃、兵士ノ強制乗込、乗客ノ驅逐等ノ類ヲ云フ）セラレ營業不能トナリタルモノナリ

二、景星丸（長沙湘潭間線）

本船ハ本航路ニ使用營業シ居リタル處南北両軍ノ為メ航行ヲ妨害セラレ遂ニ六月六日起至六月二十一日共計十六日間又全月十五日ヨリ二十一日ニ至ル七日間ハ全軍ノ為メ航路ヲ妨害セラレ營業休止ノ曰ムナキニ至リタルモノナリ

五、君山丸（長沙衡州間線）

本船ハ五月三十日長沙出帆衡州ニ向ヒタルニ其後杳トシテ消息ナカリシ處航行ノ途中翌三十一日南軍ノ為メ強徵セラレタル儘衡州ニ到着全軍ノ使用スル所トナリ兵士ヲ搭載シ六月十四日當地ニ下航シ來リタルヲ回収シタルモノナリ

ノニシテ本件モ亦前件全様當方ヨリ貴方ニ電報シ置キタレハ既ニ御承知ノコトナリソノ強徵日數十四日間（一月十四日）又全月十五日ヨリ全二十一日ニ至ル七日間ハ全軍ノ為メ航行ヲ妨害セラレ營業休止ノ曰ムナキニ至リタルモノナリ

六、彩霞丸（長沙常德間線）

本船ハ六月二十三日長沙ヨリ常德ヘ向ケ出帆全日午後十時元江ニ到着シタル処全地駐在北軍第五混成旅第一團第一營々長彭権該地全局事務所ニ到リ逮カニ彩霞丸ヲ強徵シタルモノニシテ其後全船ニハ軍旗ヲ掲ケ第五混成旅兵士二人連附一人搭乗シ七月三日午前三時半長沙ニ來着シ

該兵士等上陸シタルニヨリ當時碇泊中ノ帝国軍艦隅田ノ近傍ニ該船ヲ碇泊セシメ置キタル処全日前九時前記兵士等再ヒ彩霞丸ニ赴キ尚徵發シ去ラントスル所ヲ隅田艦ニ發見セラレ同艦其不法ヲ詰責シ船上ノ該兵士ヲ驅逐上陸セシメタルニ因リ漸ク彩霞丸ノ回収ヲ得タルモノナリ其強徵日數六月二十四日ヨリ七月二日ニ至ル九日間營業不能トナリタリ

七、普渡丸（元江三星湖間線）

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七八〇

八、芥航丸、同安丸（長沙常德間線）

本船ハ長沙常德線航路ノ營業ニ從事シ居リタル處南北両軍ノ為メ航行ヲ妨害セラレ六月十三日ヨリ六月二十一日ニ至ル共計九日間營業ヲ休止スルノ曰ムナキニ至リタルモノナリ

九、衡州丸、同貞丸（長沙常德間線）

本船モ亦長沙常德線航路ノ營業ニ從事シ居リタル所南北両軍ノ為メ航行ヲ妨害セラレ六月十四日起至全月二十二日共計九日間營業休止ノ曰ムナキニ至リタルモノナリ

十、景星丸（長沙湘潭間線）

本船長沙湘潭線ニ於テ六月二十一日ヨリ七月二日ニ至ル間南軍兵士ガ無買票強制乗船セシモノ左ノ如シ

一一、六月二十一日往航湘潭 兵士三等

十二人

一、全日復航長沙

”

二十五人

一、全日復航長沙

”

二十五人

一、全日復航長沙

”

二十五人

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七八〇

八八〇

一、六月二十二日往航湘潭 兵士三等 二十二人

一、全日復航長沙 " " 三十二人

一、六月二十三日往航湘潭 " " 二十九人

一、六月二十四日 " " 五十四人

一、全日復航長沙 " " 四十七人

一、六月二十五日往航湘潭 " " 四十三人

一、全日復航長沙 " " 二十七人

一、六月二十六日往航湘潭 " " 二十二人

一、六月二十七日 " " 二十一人

一、六月三十日 " " 二十一人

一、全日復航長沙 " " 十四人

一、七月一日往航湘潭 " " 二十八人

一、全日 " " 兵士三等 二人

一、全日復航長沙 " " 兵士三等 二人

一、全日 " " 兵士二等 四十六人

一、全日 " 兵士二等 十四人

共計兵士三等 四百四十三人 二等十六人

十一、源新丸ニ於ケル積載仁丹ノ掠去

源新丸ハ六月十二日常徳出帆長沙ニ向ヒタル処翌十三日

午後十時臨資口地方航行ノ際湖南第二混成旅第三團ニ強

第二、今回ノ事変ニ際シ被リタル他ノ不法事件

(一)内田洋行被害事件

(1)大正九年六月八日本邦商在漢口法租界泰興里内田洋行員山口豊太郎ハ湘潭ニ出張シ白猪鬃拾件送荷致ス可ク湘潭日清公司倉庫ニ寄託シタル処同地ヘ日清汽船武陵丸入

港ノ六月十一日ハ南北軍ノ会戦アリ北軍ノ撤退ト共ニ同

日午後六時頃南軍ハ日清公司倉庫及ヒ事務所ニ乱入シ総

テノ物品ヲ掠奪セルカ其際前記内田洋行寄託ノ白猪鬃モ

亦掠奪セラレタルモノニシテ其ノ明細左ノ如シ

一、仁丹七拾五盒毎盒壹百五十包總計壹万壹千參百五拾

包也

計 拾件 壱五三〇斤也

七八一 八月十八日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南省ニ於ケル我方被害ニ關スル照会ニ對シ譚延闔

ヨリ未ダ回答無キニ付瀬川總領事同氏ヲ訪ヒ会談ノ

件

第七四号 (八月十九日接受)

瀬川總領事ヨリ左ノ通

本官ハ十六日長沙ニ着シ湖南事件ノ成行ニ関シ池永ヨリ詳

細聞取且同件ニ関スル書類ヲモ閲覧シタル処七月六日^(註1)發照

会ニ対シテハ支那側ヨリハ未ダ何等回答ナキニ依リ十八日

督軍ヲ訪問シ右照会中ニ列挙セル事項ハ督軍ニ於テ悉皆承

認シ居ラルモノト信ズル処之ニ就テハ曩ニ大津氏慘殺事

件ニ対シ寄セラレタル回答ト同一ノ振合ニテ至急池永領事

ニ回答アル様致シタシトノコトヲ述ベタルニ督軍ハ本件取

調ノタメニハ今回特ニ湖北ヨリ特派員郭良泉ナルモノ來リ

本日ハ湘潭ニ赴キ居ルヲ以テ該特派員ノ帰来スルヲ待チテ

何分ノ回答ヲナスベキ旨答ヘタルニ依リ本官ハ湘潭ニ於ケ

ル日清汽船会社倉庫及事務室掠奪人並戴世昌事務室掠奪人

HN ◆	"	"	"	"	"	"	HN ◆	参七壱	番 号	荷 印	番 号	種 別	数 量
	"	"	"	"	"	"		三七三				英寸	三、五
								三七二				三、五	三、五
								三七四				三、五	三、五
								三七五				三、五	三、五
								三七六				五	五
								三七七				五	五
								三七八				五	五
								三八〇				四八〇斤	四八〇斤
精撰乱繩												四八〇斤	四八〇斤

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

八八二

並武陵丸船内ニ於ケル掠奪人等ハ其當時既ニ調査完了シ且池永領事ヨリモ充分説明シタル筈ナレバ右ノ事実ニ関シテ

ハ督軍ニ於テモ承認セラルルナレハ別ニ特派員ノ報告ヲ待

タルル必要ナキニアラズヤト述ベタルニ督軍ハ七月六日池

永領事ノ照会ニ対シテハ事実承認ノ回答ヲナスベキ旨答ヘ

タリ尚往電第六七号ニ関シテハ往電七^(註2)一號報告ノ通尚疑シ

キ点アルヲ以テ今回ノ事件トハ全然分離シ若シ果シテ（不明）如キ事実アルコトヲ認メタルトキハ改メテ抗議スル方

可ナリト信ズ又（不明）大津弔慰金額ニ関シテハ日清汽船

会社ニ於テ遺骸收拾及葬儀費追悼会費等トシテ別ニ五千元ヲ要求シ居ルニ付右一括シテ四万五千元ヲ弔慰金ノ名儀ニ

テ請求スルヲ至当ト信ズ

支、広へ転電セリ

註1 七月六日発照会ニ就イテハ前掲池永領事代理七月六日発外務大臣宛機密第一五号附屬書参照

2 池永領事代理七月二十三日発外務大臣宛第六七号及八月七日発第七一号ヲ省略セリ

七八一 八月二十日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

北京政府ガ湖北交渉員郭良泉ヲシテ湖南事件ヲ調査

ベタルニ同人ハ広東人ニシテ十余年前蔡乃煌ニ従ヒ当地ニ來リ湖南洋務局委員タリシコトアル者ニシテ湖北交渉員吳冲賢トハ同郷ノ関係ニシテ特ニ吳ヨリ本件ノ調査ヲ嘱託セ

ラレ当地ニ来リタル者ノ由ニテ同人ガ二ヶ月後ノ今日ニ於テ如何ナル調査ヲ為シ得ルヤハ固ヨリ知ル所ニ非ズト雖モ当地ニ於テハ池永領事ト湖南官憲トノ間ニ既ニ十分ノ諒解ヲ得タル事件ニ対シ右ノ如キ無責任ナル者ヲシテ単独ニ調査ヲ為サシメ万一右ノ報告ヲ標準トシ先方ヨリ抗議スルガ如キコトアラバ時節柄我国ニ取り云フベカラザル不利益トナルノミナラズ北京政府ニ於テ郭ノ報告ヲ待チテ本件ヲ処置スルガ如キコトアラバ其ノ解決ハ益々遲延スルノ虞アルモノト信ズ殊ニ湖南省ニ於テハ我ガ領事ト直接交渉ノ任ニ当レルハ督軍ナルモ本件ノ如キ重大問題ハ總テ軍事會議ニ附シテ裁決シ然ル後之ヲ広東軍政府ニ稟報シ其ノ指揮ヲ仰グノ順序トナレルモ今回本件ニ関係セル譚督軍及ビ鄧交渉科科長ハ何時其ノ位置ヲ轉ズルガ如キコトナキヤ保シ難シ信ズルガ故ニ右御諒承ノ上然ルベク御措置相成ル様致シ度シ

在支公使、上海、杭州へ転電セリ

七八三 八月二十二日 在廣東森岡總領事代理ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

湖南事件ニ關スル我方トノ交渉ニ付広東軍政府ヨリ

北京外交部ニ打合スルコトヲ是非要求スベキヤ小幡

公使へ問合ノ件

第二一八号

（八月二十二日接受）

本官発在支公使宛電報第一七六号

拙電第一六四号ニ関シ岑首席總裁及溫外交部長ノ名ヲ以テ

当方覺書ノ趣承既ニ譚延闐ニ対シ事実取調ノ上適当ニ処

置シ隨時報告スベキ旨電訓シタル趣去ル二十日付書面ニテ

回答シ來レル處右書面ニハ北京外交部ト直接打合ノ点ニ関

シ何等言及スル所ナキヲ以テ本官ハ早速書面ヲ以テ溫ノ口

約ヲ引用シ本件至急解決方に関シ既ニ北京外交部ヘモ打合

ノ電報ヲ發シ吳レタルヤ問合セタルニ温ハ本二十二日付書

面ヲ以テ未ダ南北統一セザルニ付本件ニ関シ北京外交部ニ

電報ヲ送リ直接商議スルニ便ナラズ結局譚督軍ニ電訓シ在

長沙日本領事ト協議処理セシムルヲ便トスル旨回答シ來レ

リ南北統一スレバ何モ軍政府ヲ煩ハス必要ナキ訳ニテ温ノ

セシメ居ルコトハ我方ニ不利ナル結果ヲ齎ス虞アル旨瀬川總領事ヨリ稟申ノ件

（八月二十一日接受）

第七六号

（八月二十一日接受）

瀬川總領事ヨリ左ノ通

湖南事件ニ関シ湖南官憲ガ其ノ當時池永領事ト屢次交渉ノ結果其ノ事実ヲ承認シ居ルコトハ往電第七四号裏報ノ通ニシテ十八日督軍ハ本官ニ向ヒ七月六日附ノ照会ニ対シ公文ヲ以テ全部承認ノ回答ヲ為スベキ旨声明シ且其ノ席ニ在リシ湖南交渉署交渉科長鄧承暉又確ニ其ノ事実ヲ承認シタルヲ以テ湖南官憲ガ大津事件軍艦射撃事件臨湘磯ニ於ケル汽船射撃事件ヲ確認セルハ言フニ及ハズ湘潭ニ於ケル日清汽船会社ノ倉庫及び事務所掠奪事件同ジク戴世昌事務所掠奪事件並ニ武陵丸船内ニ於ケル掠奪事件ノ事実ヲ承認シ居ルコトハ本官ニ対スル声明ニ依リ既ニ確實ナルモノト信ズ然ルニ本件ニ關スル事実ノ真相ハ未ダ北京政府ニハ一切報告シアラザルガ故ニ政府ニ於テハ特ニ湖北交渉員郭良泉ナル者ヲ当地ニ派遣シテ之カ調査ヲ命ジ同人ハ目下湘潭ニ赴キ専ラ本件ニ關スル事実調査中ナル由ノ処本官ハ漢口ニ於テ未ダ嘗テ郭良泉ナル名ヲ聞キタルコトナキニ依リ之ヲ取調

主張ハ徹底セザルモ実際ハ理屈以外ニ事情ノ存スル為ナル
ベシ兎ニ角軍政府ニ於テハ既ニ譚督軍ニ電訓ヲ与ヘタルコ
トナレバ之ニテ一応黙過スペキヤ將又北京外交部ニ対スル
直接協議打合ヲ飽ク迄要求スペキヤ御意見御電示ヲ乞フ
大臣、長沙へ電報セリ

註

森岡總領事代理八月十七日発小幡公使宛第一六四号（同代理
發外務大臣宛第二〇五号）省略セルガ該電ハ前掲小幡公使ヨ
リ八月五日広東總領事宛第一二五号（小幡公使發外務大臣宛
第七九八号）電報ノ趣ニ依リ森岡總領事代理ヨリ広東軍政府
溫外交部長ニ覺書ヲ手交セル旨ヲ報告セルモノナリ

七八四 八月二十三日

在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

湖南事件ニ閥スル日本側照会ニ付湖南督軍我方ノ主

張ヲ全部承認ノ旨ノ公文送附越ノ旨瀬川總領事ヨリ

報告ノ件

第七八号

（八月二十四日接受）

瀬川總領事ヨリ左ノ通

往電第七六号ニ記載ノ七月六日附ノ照会ニ對スル回答ハ其
ノ後送附シ來ラザルニ依リ本官ハ二十一日督軍ヲ訪問シ先
般口約セシ如ク該照会中列挙ノ事項ハ督軍ニ於テ全部承認

些カ態度ヲ変ジ鄧交渉科々長ト暫時何事カ語リ合ヒタル後

七月六日附照会記載列挙各項ニ就テハ全部承認ノ旨直チニ
書面ヲ以テ回答スペキ旨答ヘ翌二十二日午後ニ至り池永副
領事宛ニテ左ノ如キ公文ヲ送リ來レリ即貴領事七月六日來
翰中ニ列挙セラレタル（一）日清汽船会社員大津来徳慘殺事件

及全会社武陵丸船内ニ於ケル掠奪事件並ニ湘潭ニ於ケル倉
庫及事務室掠奪事件（二）戴世昌ノ湘潭事務所掠奪事件（三）軍艦
嵯峨伏見射撃事件並ニ伏見兵員負傷事件ハ其ニ諒悉ス今回

湖南ニ於ケル戰闘ノ為右ノ如ク累ヲ貴國居留民ニ及ボシタ
ルコトニ関シテハ本年六月二十日附書面ニ於テ既ニ遺憾ノ
意ヲ表シ置キタル次第ナリ唯貴翰追書中記載ノ事件ニ関シ
テハ事實調査ノ上追テ何分ノ回答ヲ為スベシ云々ト於是七
月六日附照会中ニ列挙ノ一、二、三ノ各事項ニ閑シテハ總テ
遺憾ノ意ヲ表シタルヲ以テ本件ハ之ニテ全部督軍ノ確認ヲ
得タルモノト看做シ得ベク而シテ戴世昌ノ汽船徵發問題ハ
當方ニ於テモ今回ノ交渉事項中ニハ加入セザル筈ナルニ付
右ニテ何等ノ差障ナキモノト認ム尚督軍回答文写ハ郵送ス
在支公使、広東へ転電セリ

セル旨速ニ公文ヲ以テ回答アリタシトノコトヲ述ベタルニ
鄧外交科々長ハ之ニ閑シ種々弁明ヲ為シタル末右ハ六月二
十日附書面ニテ十分其ノ意ヲ尽セリトテ兎ニ角當方ノ希望
スルガ如キ回答ヲ為スヲ肯ゼザルノ色見エタリ右ハ本件調
査ノ為目下湘潭ニ赴キ居ル郭良泉ノ報告ト矛盾セザランコ
トヲ期スルモノニシテ彼ノ大津慘殺事件ト軍艦射撃事件ト
ハ該書面中明ラカニ確認シ又臨湘磯ニ於ケル汽船射撃事件
モ其ノ後ノ書面ニテ確認シ居ルモ湘潭ニ於ケル日清汽船会
社倉庫及事務所掠奪事件及戴世昌事務所掠奪事件並ニ武陵
丸船内ニ於ケル掠奪事件ノ承認ハ書面上一々被害事件ヲ明
細ニ列挙セザルニ依リ本官ハ再三前言ヲ繰返シタルモ郭良
泉トノ關係上到底満足ナル回答ヲ得ルノ見込ナキガ如クナ
リシニ付本官ハ督軍ノ人格ヲ重ンジ左記ノ理由ニ依リ強ヒ
テ回答ヲ求メザルベキ旨声明シタリ即督軍ハ池永副領事及
本官ニ對シロ答ヲ以テ言明セラレタルコトハ仮令郭良泉ガ
如何ナル調査報告ヲ為ストモ之ガ為何等変更セラレバキモ
ノニ非ズト信ズルガ故ニ七月六日附ノ照会状ニ列挙スル各
項ハ督軍ニ於テ全部口頭ヲ以テ確認セラレタリトノコトヲ
本国政府ニ報告スベキニ付右様御承知相成度ト於是督軍ハ

長沙発本省宛第七六号ニ閑シ譚延闐ヨリ事實承認ノ公文ニ
接シタル節ハ直ニ貴方へ送付方電訓シ置キタルニ付テハ右
御接到ノ上ハ被害事件ニ閑スル在長沙領事対支那官憲往復
書類ヲ取揃ヘ支那政府当局ニ交付ノ上事態此ノ如ク明白ナ
ルニ拘ラス此ノ際更メテ調査員ヲ派遣スルカ如キハ全然無
意味ナルヲ指摘シ此ノ際一日モ速カニ本件ノ解決ヲ期スル
様嚴重督促アリタシ

長沙、広東へ転電アリタシ

七八五 八月二十四日 内田外務大臣宛（電報）

湖南事件ニ閑スル在長沙領事対中國官憲往復書類ヲ

北京政府ニ交付方竝事件解決督促方訓令ノ件

第四八一号

長沙発本省宛第七六号ニ閑シ譚延闐ヨリ事實承認ノ公文ニ
接シタル節ハ直ニ貴方へ送付方電訓シ置キタルニ付テハ右
御接到ノ上ハ被害事件ニ閑スル在長沙領事対支那官憲往復
書類ヲ取揃ヘ支那政府当局ニ交付ノ上事態此ノ如ク明白ナ
ルニ拘ラス此ノ際更メテ調査員ヲ派遣スルカ如キハ全然無
意味ナルヲ指摘シ此ノ際一日モ速カニ本件ノ解決ヲ期スル
様嚴重督促アリタシ

七八六 八月二十八日 在廣東森岡總領事代理ヨリ

内田外務大臣宛

湖南事件ニ閑スル廣東軍政府トノ往復文書写送付ノ件

二 右ノ添附書類

(九月十日接受)

機密第三六号

大正九年八月二十八日

在広東

総領事代理 森岡正平(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

大正九年八月二十八日付機密公第二十号在支公使宛信写送

付

件名

一、湖南事件ニ関スル交渉経過報告ノ件

(附属書一)

八月二十八日附在廣東森岡總領事代理ヨリ在中国小幡公使宛機密公第二〇号写

機密公第一〇号

大正九年八月二十八日

在広東

総領事代理 森岡正平

在支特命全權公使 小幡西吉殿

湖南事件ニ関スル交渉経過報告ノ件

本件ニ關シテハ本月十七日付拙電第一六四号同月二十二日

付拙電第一七六号並ニ本日付拙電第一八七号ヲ以テ大体及

報告置候處右ニ關スル本官及溫宗堯間往復文書為御参考一括及送付候間御查閱相成度此段申進候 敬具

本信写送付先 大臣及長沙領事

註 森岡總領事代理八月二十八日發小幡公使宛第一八七号(同代

理発外務大臣宛第二三二号)ヲ省略セリ

(附屬書二) (註 右附屬書一ノ添付書類ナリ)

(一)八月十七日附森岡總領事代理ヨリ温外交部長宛覺書写

覚書

曩キニ湖南ニ於テ支那軍隊ノ帝国軍艦砲擊帝国臣民大津來徳ノ慘殺並ニ日本汽船武陵丸及日清汽船会社倉庫掠奪等種々被害事件続發シタルニヨリ業ニ在北京小幡公使ヨリ北京外交部ニ対シ交渉ヲ開始セラレ更ニ七月二十七日付ヲ以テ我方要求条件ヲ外交部ニ提出セラレタル処北京政府ニ於テモ頗ル本件ヲ重大視セラレ事情報告方ニ關シ六月末譚督軍ニ電訓ヲ發セラレタルモ今以テ回答ニ接セザル旨並ニ最近調査員ヲ湖南ニ派遣セラル旨其際外交總長代理ヨリ小幡公使ニ御面談ノ次第アリ而シテ其後在長沙帝国領事

ガ譚督軍ニ會見シ談本件ニ及ビタル処六月末北京外交部ヨリ電報ニ接シタルモ何等回答ヲ發セズ又事件ノ内容取調且ツ打合ノ為メ直チ二人ヲ派スル旨七月二十九日外交部ヨリ電報ニ接シタルモ目下ノ政局ニ鑑ミ廣東軍政府ヲ差置キ直

接北京外交部ト対応スルコト能ハザル旨譚督軍ヨリ面談アリタリ右ニ関シ今回小幡公使ヨリ抑モ本件ハ事外交ニ關シ

貴國々内關係ノ為メニ正当ノ解決ヲ遲延セシメラルガ如キハ日支両国ノ為メ甚ダ面白カラザル次第ニ付貴軍政府ニ

於テ至急本件解決方ニ關シ然ルベク北京政府ト御接洽相成リ他面譚督軍ヲシテ速ニ本件被害事件ノ事実及内容ヲ北京外交部ニ報告セシメラレ度尚ホ小幡公使对北京政府要求諸

条項ノ内左記事項実行方ニ關シテモ譚督軍ヲシテ在長沙帝國領事ト速ニ協議措置セシムル様貴軍政府ノ御尽力ヲ願フベキ旨本官ニ対シ訓令アリタル處御承知ノ通り本件ハ事情頗ル明白ニシテ譚督軍ニ於テモ事情ハ大体了解セラレ居ル趣ニ付至急譚督軍ニ訓令シ円満ニ解決セシムル様貴軍政府ノ御配慮ヲ希望ス

一 各不法行為ヲ直接ニ指揮シ若クハ下手シタル將校兵卒ハ総テ嚴重刑罰ニ処スルコト

一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

在広東日本總領事館

森岡 正平

註 右覺書ノ漢訳文ヲ省略セリ

(二)八月二十一日附岑主席總裁及溫外交部長ヨリ森岡總領事代

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七八六

八八七

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七八八

八九〇

日モ速カニ我方要求全部ヲ承認シ以テ本件ノ迅速円満ナル
解決ヲ期スル様嚴重説得セラレ結果電報アリタシ
長沙、広東へ転電アレ

註 長沙來電第八九号ヲ省略セリ

七八八 九月九日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件ニ關スル我方ノ解決督促申入ニ對スル顔外
交總長ノ回答振報告ノ件

第九四九号

(九月十日接受)

貴電第五〇二号ニ閲シ九月八日顔總長ト會見
長沙領事七月六日附書面及之ニ對スル譚延闓ノ回答写ヲモ
示シ尚瀕川池永トノ面談ノ際ニ於ケル譚声明ノ次第等ヲ述
ベスノ如ク地方官憲ガ既ニ確認シ居ル事件ニ付新ニ調査ノ
結果ヲ待ツノ必要ナク殊ニ譚延闓ニ於テハ三乃至八ノ事項
ニ付長沙領事トノ間ニ切実商議ヲ進行シ急速解決ヲ期ス可
キ旨承諾ノ意思ヲ表示シ居レル次第ニテモアリ又米國側岳
州宣教師殺害事件ノ如キハ既ニ支那側トノ間ニ交渉解決シ
タル由ナルニ付テハ我事件ニ對シテモ此上謂レ無ク遲延ス
ルノ理由ナキ儀ナルニ付至急我ガ要求条件全体ヲ承認シ先

ル

七八九 九月十日 在中国小幡公使ヨリ

内田外務大臣宛

湖南事件ニ關スル顔外交總長宛覚書写送付ノ件

附属書

九月九日附小幡公使ヨリ顔外交總長宛覚書写

機密第三六一號

大正九年九月十日

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣伯爵 内田康哉殿

湖南省ニ於ケル武陵丸掠奪大津來徳慘殺並ニ軍艦ニ對

スル不法射擊等ニ關スル件

本件ニ閲シ九月八日顏外交總長ト会談ノ次第ハ往電第九四
九号ヲ以テ不敢概要及報告置候処当日顏總長ハ本件各事
件ニ關シテハ就任後間モナキコトトテ未タ充分關係案卷ヲ
披閱シ居ラス本使ニ於テ差支ナクハ更ニ覚書ヲ以テ何分申
越サルルヲ望ム旨申居タルニ付九日附ヲ以テ別紙写ノ通り
覚書ヲ同總長ニ送付致置候茲ニ右覚書写差進候間御查閱相
成度此段申進候也

本信写送付先 長沙、漢口、廣東

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七八九

ゾ条件ヲ實行セラレタント說キタル處顔ハ本件ニ付テハ
タシト述ベタリ依ツテ本使ハ長沙領事ノ報告ニ依レバ譚ハ
所詮中央ニ報告ヲ敢テセザル考ナルガ如ク又一方顔派遣ノ
調査員モ譚ノ為メニ其調査ヲ拒マレタリトスレバ結局何時
迄待ツトモ中央ニ於テ所要ノ報告ニ接セラルル望無キモノ

ト認ムルニ付前記譚延闓ノ日本領事ニ送附セル書面ニ基キ
其事實ヲ認定シ中央政府ヨリ陳謝ノ公文ヲ發セラル様致
シ度シト說キタルニ對シ外交總長ハ実ハ本件ニ付テハ尚充
分ニ研究シ居ラザルヲ以テ陳次長ニモ篤ト本件從來ノ關係
ヲ聞キ質シタル上解決ノ促進ヲ期スベシ尚譚ト日本領事トノ
本領事トノ交渉ノ模様書面ニテ承知シタント答ヘ尚乍序米
國側事件ハ未だ解決シ居ラズ自分トシテハ米國關係ヲ疎ニ
シ日本側事件ハ遅レシムル如キ意思ハ一向無之ニ付今後ト
モ充分諒解ヲ乞フト弁明シ居タリ
長沙、漢口へ転電セリ

(附屬書)

九月九日附小幡公使ヨリ顔外交總長宛覚書写

第一八五号

覚書

曩ニ湖南省ニ於テ發生セル帝國臣民ノ慘殺及軍艦砲擊ニ關

スル各事件ニ關シテハ本年七月二十七日附第一六一號覚書
ヲ以テ貴部ニ對シ極メテ穩當公正ナル解決条件ヲ提出シ
アル次第ナル処此等主要被害事件ニ關シテハ昨日貴總長ヘ面
交シ置タル書翰写ノ通り現実湖南地方官憲ニ於テ帝國總領
事領事等ニ對シスル不法被害事件ノ發生アリタルコトヲ已
ニ明カニ確認シ居レル次第ナルノミナラス此等事件タルヤ
其發生ノ當時ニ於テ固ヨリ衆目ノ共ニ覩ル所ニ係リ地方官
民間ニ於テ已ニ周知ノ事實ニ屬セリ從ツテ當時貴國軍隊側
ニ於テ大津來徳ノ慘殺武陵丸ノ掠奪日清汽船会社倉庫ノ掠
奪戴生昌事務所ノ掠奪帝国軍艦ニ對スル射擊致傷等有ラニ
ル不法行為ヲ敢行シタル事實アリヤ否ヤハ苟クモ誠意ヲ以
テ其有無ヲ確カムル以上誠ニ旬日ヲ以テ足ルヘキ筈ニ有之
然ルニ事件發生後已ニ三個月ニ垂ントスル今日ニ及ヒ尚漸
く調査員派遣中ニ在リト云ハレスル重大案件ヲ其儘差シ擱

カルルカ如キ状態ニ在ルハ甚々遺憾トスル處ナリ然ルニ本件ハ前述ノ通り湖南官憲ニ於テ已ニ此等不法事件ヲ確認シ居レルノミナラス之ニ對スル責任ヲモ自覺シ帝国領事トノ間ニ切実商議迅速解決スヘキ旨承諾ノ意ヲ表明シ居レル次第ナルニ就テハ貴部ニ於テ必スシモ新タナル調査ニ重キヲ措キ益々事件ノ結了ヲ遲延セシメラルノ要ナキ儀ト被存殊ニ本件ニ関シテハ曩ニ陳総長代理ハ本使ニ對シ南北両軍其何レノ所為タルヲ問ハス中央政府トシテ其責ニ任スヘキ旨ヲ明言セラレ居リ本使カ帝國政府ノ訓令ニ基キ貴國中央政府トノ間ニ本件ノ解決ヲ期セントスルハ固ヨリ右声明ノ意ニ副フモノニシテ若シ徒ラニ事件結了ヲ拖延セシムルカ如キハ大ニ其趣旨ニ反スル儀ナリ就テハ此際貴総長ニ於テ速カニ本件解決条件全部ヲ承認セラレ而シテ先ツ条件(一)ヲ實行セラレントヲ切望ス尚昨日面交シ置タル譚氏書翰中「事実調査ヲ俟チ更ニ答復スヘシ」トアルハ帝國領事ノ往翰追書ニ係ル戴生昌小蒸氣船ニ對スル強徵並ニ航路妨害事件等ヲ云ヘルモノニシテ譚氏ノ確認シタル主要事件ト何等關係ナキ儀ニ付右ニ就キ或ハ誤解セラレサランコトヲ望ム

間ニ切実商議迅速解決スヘキ旨承諾ノ意ヲ表明シ居レル次第ナルニ就テハ貴部ニ於テ必スシモ新タナル調査ニ重キヲ措キ益々事件ノ結了ヲ遲延セシメラルノ要ナキ儀ト被存

居レルノミナラス之ニ對スル責任ヲモ自覺シ帝国領事トノ間ニ切実商議迅速解決スヘキ旨承諾ノ意ヲ表明シ居レル次第ナルニ就テハ貴部ニ於テ必スシモ新タナル調査ニ重キヲ措キ益々事件ノ結了ヲ遲延セシメラルノ要ナキ儀ト被存

七九〇

九月二十二日 在中国小幡公使宛 内田外務大臣宛

付ノ件

附屬書 九月十八日附額外交總長ヨリ小幡公使宛回答写送

外交部ガ湖南ニ派遣セル調査委員ヨリノ報告書寫送付ノ件

機密第三七二号 (九月二十八日接受)

大正九年九月二十二日

在支那

特命全権公使 小幡酉吉 (印)

外務大臣伯爵 内田康哉殿

湖南省ニ於ケル武陵丸掠奪大津來徳慘殺並ニ軍艦ニ対

スル不法射擊等ニ関スル件

本件ニ關シテハ九月十日附機密第三六一号拙信ヲ以テ及報告置候處九月八日本使ヨリ額外交總長ヘ面談ノ次第並ニ九月九日附我カ覺書ニ對シ同總長ヨリ回答アリタル次第及右ニ對スル処置ノ大要ハ往電第一〇〇五号乃至第一〇〇七号

(註) 一九一〇〇五号乃至第一〇〇七号

查照可也須至照会者附鈔報告一件

右 照 会

大日本國欽命駐華全權公使小幡

中華民國九年九月十八日

別紙

外交部派遣ノ調査委員ノ報告書寫

照抄郭委員与劉副官會查節略

計開

甲 調査軍艦詳情

一 査本年六月十二日(即陰曆四月八日)午前六時北軍陸續退走至

八時候來敵船約兵二十余名時有地方土民三四人荷九响槍一支五响槍一支走至木碼頭向敵船連放七八槍敵兵未放槍迎擊但駛伴日本巡艦日兵揚旗不准再放土民無知以巡艦庇護敵船不以為然再向敵船加放二槍日兵即用機關槍向土民連放數發土民黃金生被日兵槍擊兩彈彈由胸進腰出土民朱桂生被日兵槍擊一彈彈由胸進背出外有一人傷手部棄槍散走日巡艦插旗送敵船下駛矣

一 査土民黃金生湘陰人民長沙大西門外劉陽碼頭碧灣街十四号父母均在父名黃斌黃金生自日兵槍擊後伊父雇扛送至雅礼醫院調治是日午後四時斃命屍埋小吳門外老五十號後公貴公使提出交涉外相應將調查委員報告鈔送先行照請到部再向

八九三

一、查士民朱桂生靖江人居大西門外鐵碼頭塙運街五十六号
自被日巡艦兵槍傷後經抬回大西門羅姓調養矣

乙 調査日人大津米徳被害詳情

一、拠潭人僉称本年六月十一日即陰歴四月二十五日午後二時有武陵丸駛潭泊潭河中至三時解纜起錨喧伝為張四王爺敬湯而去具
有保險意味該船旁浮有軍衣褲數件經南軍望空開槍喊囑停輪
實施檢查手続旋検査該武陵丸並未裝載貨物營業莫詳駛潭來
去之宗旨

一、查武陵丸船内潛有前湖南營產經理處長辜天保前督軍署
參議兼善後籌備處總務科科長黃中求日人保護計保險費洋三千元時有前任酃縣知事王雄健及土民二三人所共覩交涉後辜
黃二人即向大餐間而去

一、潭人僉称武陵丸到潭時人民均称張四王爺敬湯坐在輪船
中其時南軍詣船檢查得張敬湯衛兵三名已將槍枝全數交存
該船賬房經南軍將槍三支檢携離船而去復有南軍再來檢查查
獲張四王爺敬湯一名當從身衣袋中檢出張敬湯名片三張即時
拘帶離船路由日清公司門前經十三總街而去旋至四時後喧傳
四王爺槍斃洗硯塘畔惟隨行之日人三名已由紅十字會保護回

武陵丸後即時開駛下江當時查獲被檢獲之張四王爺自拿獲時
起至槍斃時止未發一言咸稱即非張敬湯亦係北方軍官誠恐露

北方口音故爾啞口不言

一、由武陵丸大餐間檢獲之張四王爺在六月十一日午後三四時許

一、六月十三日即陰歴四月二十七日午後四時後有日人數名偕往張四王爺斃命地点声称該屍係日本人遷守屍具日夜不離當時拠地方喧伝張敬湯確匿武陵丸內因南軍捕索嚴切誠恐稍延時刻万
一將張敬湯檢出該保險金十四万勢必退還該船主乃以他人作
張敬湯交出妄意研審時仍可釈放故自被獲後始終不發一言此
中詭計疑竇叢生初則団免除保險金計以魚目混珠繼則殘及身
命未免有乖人道紛紛伝說惟無一定

一、南軍各路司令係是日午後三時由搭嶺前進（計離湘潭約三十里離侯家大屋二十三里）六時半宿營侯家大屋離湘潭河岸六里許

丙 調査武陵丸在潭及駐潭日清汽船公司会社倉庫損失詳情

一、拠潭人僉称當時喧伝張四王爺被獲土民蜂擁觀聽良莠不齊拠称失去衣箱等件但未詳見多寡

一、當時喧伝北軍軍用珍重各物品均寄藏日清汽船公司内故

有兵士數人當詣檢查一二分鐘後旋見多人從該公司棧出來祇
手攜肩負衣箱箋簍等件逐件均懸竹木号牌書有中國文字見者
咸謂係潭人寄存公司保險之物件也但未見扛有笨重大箱商貨
各說

乾豐泰估紋 <small>萬</small>	同興裕估紋 <small>萬</small>
鄭恆豐估紋 <small>千</small>	正和祥估紋 <small>千</small>
謙益祥估紋 <small>千</small>	同人利估紋 <small>ト</small>
復章估紋 <small>千</small>	德茂生估洋 <small>千</small>
協益祥估紋 <small>千</small>	東記估紋 <small>千</small>

(右和訳文) (註 前記附屬書及其別紙ノ訳文ナリ)

照会使字第四四号

民国九年九月十八日 領外交總長

小幡公使宛

以書翰致啓上候陳者日本人大津米徳ノ湖南ニ於ケル被害並
日本軍艦及商船ノ射擊掠奪セラレタル事件ニ関シ九月八日
面会ノ節ノ貴公使御申出並九日附覺書孰レモ致了承候本件

ニ関シテハ本国政府ヨリ既ニ湖南譚延闔ニ對シ各事件ノ詳細
細事情ヲ查明電報スヘキ旨電報致シアリ候然ルニ當部力囊
ニ湖南ニ派遣シタル調査委員ヨリ最近接受シタル報告ニ拠
レハ各事件トモ其事件発端事情ハ貴公使屢次ノ御來翰中ニ
述ヘラレタル所ト大分相違致居ルモノ有之候就テハ湖南省
ヨリノ各事件詳報當部ニ於テ接到後貴公使ニ對シ交渉ヲ提
出可致候ヘ共茲ニ不取敢調査委員ノ報告書写及御送付候間
御查照相成度此段照会得貴意候 敬具

憑票寄存○箱○○口

日清公司

查得寄藏日清公司内已經失去各物件照調查時各商号臨時補
抄估價單各一紙開列如下

湖南總司部中校副官劉恩九

存機貨物未經
保險各安天命

郭委員ト劉副官トノ立会調査報告書写

(甲) 軍艦ニ関スル件

一 本年六月十二日（陰歴四月二十六日）午前六時北軍ハ陸統トシテ退走ス八時ニ至リ突然兵約二十余名ヲ載セタル敵船來リタレハ地方土民三四人ハ九連発銃一挺五連発銃

一挺ヲ荷ヘ木碼頭ニ走リ行キ敵船ニ向テ七八発ヲ連射セルカ敵兵ハ之ヲ迎撃シテ砲砲スル様ノコトナク日本軍艦ノ傍ニ駛行セリ日本兵ハ旗ヲ掲ケ再ヒ発射ヲ准ササリシモ土民ハ無知ナル為軍艦ハ敵船ヲ庇護スルモノトノミ思惟シ又敵船ニ向テ二発ヲ発射シタルカ日本兵ハ直チニ機関銃ヲ以テ土民ニ向ヒ数発ヲ連射セリ為ニ土民黄金生ハ日本兵ノ銃弾ニ中ルコト二弾弾丸ハ胸ヨリ腰ヲ貫通セリ土民朱桂生ハ日本兵ノ銃弾ニ中ルコト一弾弾丸ハ胸ヨリ背ヲ貫通セリ此外一人ハ手部ニ負傷シ銃ヲ棄テ逃走セリ日本軍艦ハ旗ヲ立てタル儘敵船ヲ送リツツ下航セリ

一 査スルニ土民黄金生ハ湘陰人ニシテ長沙大西門外劉陽碼頭碧湾街四十四号ニ住シ父母アリ父ハ黃斌ト云フ黄金生一名ヲ捕タルニ着用シ居タル衣服ノ衣嚢中ヨリ張敬湯ノ名刺三枚顕レタレハ即刻之ヲ拘引離船シ日清公司門前ヨリ十三総街ヲ經テ去レリ次テ四時過ニ至リ四王爺ハ洗硯塘畔ニテ銃殺サレタリト喧伝セラレタリ隨行ノ日本人三名ハ赤十字会ニ依リ保護セラレ武陵丸ニ帰リ後直チニ出帆下航セリ

一 当時逮捕サレタル張四王爺ハ捕ヘラレタル時ヨリ射殺サルル時迄一言モ發セス依テ皆ノ者ハ張敬湯ニ非ストスルモ北方ノ軍官ニシテ北方ノ語音ノ露頭センコトヲ恐レ故サラニ黙シテ言葉ヲ發セサリシモノナルヘシト云ヘリ
一 武陵丸ノ食堂ニ於テ張四王爺ヲ發見逮捕シタルハ六月十一日午後三四時頃ナリ

一 六月十三日（陰歴四月二十七日）午後四時突然日本人數名ハ共ニ張四王爺落命ノ地点ニ至リ其死屍ハ日本人ナリト称呼シ遺骸ノ廻リニ纏マリ居リ日夜離レス當時地方ニ喧伝セラレタル所ニ拠レハ張敬湯ハ正シク武陵丸内ニ隠レ居

体ハ小吳門外老五十標後ノ公共地ニ埋葬セリ

一 査スルニ土民朱桂生ハ靖港人大西門外鐵碼頭塙運街五十六号ニ住居シ日本軍艦兵士ノ射撃ヲ受ケ負傷シタル後ハ大西門ノ羅ナルモノノ許ニ担キ行カレ治療ヲ受ケタリ

(乙) 日本人大津來徳被害ニ関スル件

一 湘潭人多数ノ申立ニ拠レハ本年六月十一日（陰歴四月二十五日）午後二時武陵丸ハ湘潭ニ來航シ河ノ中間ニ碇泊セリ三時ニ至リ解纜拔錨スルヤ張四王爺敬湯ヲ乗セ去リ其

保険ヲ引受ケ居ルモノナリト喧伝セラレ又同船ノ傍ニ軍服類數枚浮流シ居タリ南軍ハ空ニ向ツテ発射シ検査ヲ実施センカ為停船セソコトヲ求メ次テ検査セルニ武陵丸ニハ何等營業的ニ貨物ヲ積載シ居ルコトナク何カ為ニ湘潭ニ來航セルヤ解シ難キ節アリタリト云

一 査スルニ武陵丸船内ニハ前湖南營產經理處處長辜天保前督軍署參議兼善後籌備處總務科科長黃中潛居シ彼等ハ日本人ヨリ保護ヲ受ケンカ為保険費三千元ヲ出セリト之ハ當時前任鄧県知事王雄健及土民二三人ノ共ニ目擊セル所ナリ交渉ノ後辜黃二人ハ食堂ノ方向ニ去レリト

一 湘潭人多數ノ申立ニ拠レハ武陵丸湘潭ニ到着セル際人

庫損害ニ関スル件

一 湘潭人多數ノ申立ニ拠レハ當時張四王爺力逮捕セラレタリト傳ヘラレタル為土民ハ争フテ見物ニ赴キタルカ中ニハ不良分子モアリタリ紛失ノ衣類其他ノ個数等幾何ナリシヤ詳カナラス

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七九〇

八九八

一、當時北軍ハ軍用ノ貴重物品ヲ日清汽船会社内ニ寄託シタリト伝ヘラレタル為兵士數名ハ検査ニ赴キタリ一二分時

ノ後ニ多數ノモノカ該会社ノ倉庫ヨリ出テ來ルヲ見受ケタルカ衣類入箱ヤ籠等ヲ手ニ提ケ又ハ背負ヒ居タリ是等ノ物

件ニハ孰レモ支那文字ノ記サレタル竹又ハ木ノ札ヲ附シリタリ目撃セル者ノ云フ所ニヨレハ是湘潭人々会社ニ寄託

保険ニ付セル物件ナリト云フ但大嵩ノ商品入貨物ノ如キモノヲ担キ出シタルモノハ見エサリシト

一、査スルニ在湘潭日清汽船会社ニハ南北軍開戦以前マテ商品貨物等ヲ儲藏スルコトナク其後戰闘烈トナリ湘潭ノ各商店カ衣類入箱ヤ籠等ニ物品ヲ入レテ保険ヲ請求セルニ

該会社ハ係員使人等ノ特別ノ給料ナリトテ毎箱ニ付寄托料金四元宛ヲ徵收シタリ各商店カ受取居ル証券(様式別紙ノ通)ハ之カ証憑トスヘシ後ニ至リ紛失セルモノハ別ニ帳簿等ニ依リ要償交渉ノ地歩トスヘシト云フ現ニ取調ノ結果

各商店ノ寄托貨物ノ紛失セルモノニ付其見積価格表別記ノ通十件ヲ茲ニ掲ケ置クモノナリ

漢口交渉署委員

郭良泉

湖南總司令部中佐副官

劉思九

日清公司ニ寄託貯藏セルモノノ内既ニ紛失セル物件ニシテ調査ノ際各商店カ不敢提出セル見積価格表ニヨリ之ヲ列記スレハ左ノ如シ

乾豊泰

紋銀一万三千百十六両二錢四分五厘

同興裕

紋銀一万一千二百八十七両八錢五分

鄭恒豐

紋銀三千五百二十両

正和祥

紋銀二千四百両

謙益祥

紋銀二千二百両

同人利

紋銀一千百両

復章

紋銀二千八百七十二両

徳茂生

洋銀三千百十九両七錢五分

各商店カ日清公司ニ寄託シ之ト引換ニ受取居ル証券ノ様式左ノ如シ

○箱〇〇個

安ンスヘシ

右御預リ申候也

日清公司

協益祥 紋銀三千三百両
東記 紋銀一千四百七十両

七九一 九月二十五日 在中国小幡公使ヨリ
外交総長ニ対シ調査委員報告ノ杜撰ヲ指摘シ中央政
府ガ我方ノ被害ニ付陳謝スル様観得ノ件

第一〇二七号

(九月二十六日接受)

往電第一〇〇五号ニ関シ

九月二十四日外交総長ト会见支那側報告書ハ極メテ荒唐無稽ニシテ單ニ地方ノ噂ヲ搔キ集メタルニ過キ本件解決上何等参考トスルノ価値ナク殊ニ斯ル杜撰ナル報告ヲ送リ来ルカ如キハ誠意アル措置トハ受取り難ク甚々遺憾ナルカ外交部トシテ我方ニ対シ遺憾ノ意ヲ表スルハ寧ロ要求ナク譚延闐側ニ於テモ之ヲ認メ大津葬式ノ際ノ如キハ自ラ祭文ヲ寄セ其ノ無辜ノ死ヲ痛惜スルノ意ヲ表明シタル位ニテ中央政府トシテ我方ニ対シ遺憾ノ意ヲ表スルハ寧ロ要求ナクトモ進ンテ為スヘキコトナルニ拘ラス今猶之ニ同意セサルハ總ニ於テハ果シテ斯ル明々白々ナル事實ヲ否認シ或ハ遺憾ヲ表スルニ価セスト思考シ居レル次第ナリヤト述ヘタ

ルカ衣類入箱ヤ籠等ヲ手ニ提ケ又ハ背負ヒ居タリ是等ノ物

件ニハ孰レモ支那文字ノ記サレタル竹又ハ木ノ札ヲ附シ

アリタリ目撃セル者ノ云フ所ニヨレハ是湘潭人々会社ニ寄託

保険ニ付セル物件ナリト云フ但大嵩ノ商品入貨物ノ如キモノヲ担キ出シタルモノハ見エサリシト

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七九一

八九九

ヲ総長ニ手交シ熟覽ノ上速ニ回答アリタシト求メ引キ取り
タリ就テハ条件(一)実行時期ニ関スル先方ノ申出ニ対シテハ
猶一応直チニ実行方ヲ求メ結局ハ中央政府ヨリ本件交渉ノ
促進方譚延闊ヘ申送ルコトヲ承諾スルニ於テハ右条件ノ実

行ハ地方交渉結了迄待ツコトニ同意スヘキ旨ヲ答フルモ可
ナルヘキカト思考ス貴見何分ノ儀回電ヲ請フ

漢口、長沙、広東へ転電セリ

七九一 九月二十七日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

湖南事件ニ關シ中國側ノ調査報告ヲ誹議シ日本側提
示ノ解決条件承認ヲ要請セル覺書写送付ノ件

附属書 九月二十四日附小幡公使ヨリ頗外交總長宛覺書第
一九六号写

湖南事件ニ關スル日本側解決条件承認ヲ要請ノ件

機密第三七八号

大正九年九月二十七日

(十月四日接受)

在支那

特命全権公使 小幡西吉(印)

外務大臣伯爵 内田康哉殿

本件ニ關シ左記書類及送付候也
大正九年九月二十四日附外交總長
宛覺書写

(附屬書)
九月二十四日附外交總長宛覺書写

湖南事件ニ關スル日本側解決条件承認ヲ要請ノ件

第一九六号

以書翰致啓上候陳者湖南省ニ於ケル支那軍隊ノ帝国軍艦砲
撃、帝国臣民大津来徳ノ惨殺並日本汽船武陵丸及日清汽船
会社倉庫掠奪其他各被害事件ニ關シ九月十八日附使字第四
四号照会ヲ以テ御回答相成ト同時ニ曩ニ貴部ヨリ派遣セラ
レタル調査員ノ報告写併セテ御送付相成致聞悉候然ルニ右
報告ナルモノヲ観ルニ其内容全然真摯ヲ欠キ何分ニモ本件
ノ如キ性質重大ナル各事件ニ対シ責任ヲ以テ事実ヲ調査ス
ルノ意思ヲ有シタル者ノ手ニ成リタルモノトハ認メ難キノ

ミナラス甚タシキハ事件ヲ玩視シ毫モ本件交渉ノ輕重如何
スラモ辨マヘサルニアラサルヤヲ疑ハシムルモノ有之例セ
ハ武陵丸船長カ張敬湯ノ保険金十四万ヲ利センカ為メ張ノ
身代リニ他人即チ本件ノ悲慘ナル被害者タル大津来徳ヲ進
ソテ自ラ乱兵等ニ引渡シタリト云ヘルカ如キハ荒唐極マレ
ル謡言ニ有之將又張敬湯ハ貴国湖北官憲ノ為メ過般死刑ニ
処セラレタルコト公表セラレ居リ貴部ニ於テモ御承知ノ筈
ナルニ拘ハラス六月十一日湘譚ニ於テ貴國軍隊ノ手ニ殺害
セラレタルハ張敬湯ナラストスルモ北方ノ軍官ナルヘク故
ニ始終一言ヲ發セサリシト云ヘル如キ無稽無責任ノ談ヲ其
儘載セタル所謂調査書ナルモノヲ特ニ當方ニ送付セラレタ
ルカ如キニ至ツテハ全ク其何ノ意タルヤヲ解シ難キ儀ニ有
之其他該報告書ニ就キ一々爰ニ不当ナル各点ヲ指摘スルノ
煩ヲ敢テスルコトハ特ニ之ヲ避クヘキモ要スルニ斯ノ如キ
報告ハ徒ラニ道聽途說ヲ列ネタルモノニシテ且ツ調査ニ對
シ何等ノ誠意ヲ有セサルモノナルコト一見シテ明カナルハ
勿論斯カル両國間重要交渉案件處理ノ上ニ何等資料トスル
ニ足ラサルモノニ有之貴総長ニ於テ更ニ平心以テ該報告内
容ヲ閱セラレ而シテ本件名事件ニ關スル本使屢次照会ノ次

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七九二

湖南省ニ於ケル武陵丸掠奪大津来徳惨殺並軍艦ニ對ス
ル不法射擊等ニ關スル件

本件写送付先

漢口
廣東

當然ノ儀ニ有之而シテ一面在湖南譚延闊氏ニ於テ既ニ此等
事件ノ事實ヲ確認シ又大津来徳ノ惨殺其他掠奪等ニ因ル損
害ニ対シテモ非公式ナカラ甚タ遺憾ニ堪ヘサルノ意ヲ表明

シタル今日尚貴國中央政府ニ於テ単ニ今回ノ如ク貴部派遣員ノ報告ト称シテ前記ノ如キ書類ヲ送致セラレ而シテ當方

解決条件（一）ノ実行其他ニ関シ何等言及セラル所ナキカ如キハ甚タ怪訝ニ堪ヘサル次第ニ有之斯ノ如キハ六月二

十二日陳外交總長代理カ本使ニ対シ支那南北軍隊其何レノ所為タルヲ問ハス對外問題トシテ中央政府ニ於テ其責任ヲ負フヘキ旨声明セラレタル趣旨ト全然相背馳セル次第ニ有

之候

上述ノ次第ナルニ付貴總長ニ於テ更ニ本件交渉ニ關スル本使屢次ノ公文覚書等ヲ細閱セラレ条件（一）ノ実行及其他

条件ノ承認方ニ就キ御明答相成度此段重ネテ照会得貴意候

大正九年九月二十四日 在支那
日本帝国特命全權公使 小幡酉吉

支那共和國署外交總長 順惠慶殿

邦商戴生昌湘潭事務所掠奪事件及日清汽船沅江丸蓬萊丸射擊セラレタル事件迅速解決ノ為善處方中國側

（要求ノ公文写送付ノ件）

日本帝国特命全權公使 小幡酉吉
内田外務大臣宛

七九三 九月二十七日

日本帝国特命全權公使 小幡酉吉
内田外務大臣宛

七九四 九月二十八日

日本帝国特命全權公使 小幡酉吉
内田外務大臣宛

（附屬書）
九月二十七日附小幡公使ヨリ順惠慶外交總長宛公文写
邦商戴生昌湘潭事務所掠奪及日清汽船沅江丸蓬萊丸被射擊事件
ニ關スル件

第一九九号

以書翰致啓上候陳者日清汽船株式会社汽船武陵丸並ニ同社在湘潭倉庫及同地代理店ニ對スル貴國軍隊兵士ノ掠奪及其帝國臣民大津來徳慘殺並ニ其帝國軍艦ニ對スル不法射擊及

其當然ノ責任ヲ尽サシメラレ以テ帝國領事トノ間ニ迅速事件ヲ結了セシメラル様切寒御取計相成度此段照会得貴意候 敬具

大正九年九月二十七日
日本帝国特命全權公使 小幡酉吉
支那共和國署理外交總長 順惠慶殿

大正九年九月二十八日
日本帝国特命全權公使 小幡酉吉
内田外務大臣宛

湖南事件ニ關シ中国政府ノ陳謝ヲ先ツ実行セシメ次

デ其他ノ解決条件交渉ノコトニ中國側ト協定スル様

訓令ノ件
第五四七号

名許駐屯シツツアルヲ見而シテ同社汽船蓬萊丸モ亦六月二十七日臨湘機附近ニ於テ南兵ノ為メ船体右舷ニ多數ノ銃弾

ヲ受ケ為メニ火夫一名頭部ニ負傷シタル不法事件等有之タ

ル次第ナル旨引続キ報告有之而シテ此等事件ニ關シテハ前記大津來徳ノ慘殺其他各掠奪事件等ト共ニ在湖南譚延闔氏

ニ於テ帝國領事ニ対シ孰レモ既ニ事實ヲ承認シ且ツ誠意ヲ以テ迅速解決スヘキノ意ヲ表明シ居レル趣ニ有之候間右様御了承ノ上貴總長ニ於テ此等事件ニ対シテモ貴國側ヲシテ

有効ナル進捗ヲ期スルニ就キ好都合カトモ思考セラレ旁々

外務大臣伯爵 内田康哉殿
特命全權公使 小幡酉吉（印）
（十月四日授受）
機密第三八〇号
大正九年九月二十七日 在支那
南軍ノ戴生昌湘潭事務所掠奪ニ關スル件
本信写送付先
長沙
廣東

本件ニ關シ左記書類及送付候也
大正九年九月二十七日附外交總長宛
敬具

公文第一九九号写
（附屬書）
九月二十七日附小幡公使ヨリ順惠慶外交總長宛公文写
邦商戴生昌湘潭事務所掠奪及日清汽船沅江丸蓬萊丸被射擊事件
ニ關スル件

第一九九号

以書翰致啓上候陳者日清汽船株式会社汽船武陵丸並ニ同社在湘潭倉庫及同地代理店ニ對スル貴國軍隊兵士ノ掠奪及其帝國臣民大津來徳慘殺並ニ其帝國軍艦ニ對スル不法射擊及

其當然ノ責任ヲ尽サシメラレ以テ帝國領事トノ間ニ迅速事件ヲ結了セシメラル様切寒御取計相成度此段照会得貴意候 敬具

大正九年九月二十七日
日本帝国特命全權公使 小幡酉吉
支那共和國署理外交總長 順惠慶殿

大正九年九月二十八日
日本帝国特命全權公使 小幡酉吉
内田外務大臣宛

湖南事件ニ關シ中国政府ノ陳謝ヲ先ツ実行セシメ次

デ其他ノ解決条件交渉ノコトニ中國側ト協定スル様

訓令ノ件
第五四七号

貴電第一〇二七号ニ關シ既ニ順惠慶外交總長ニ於テ支那政府トシテ

遺憾ノ意ヲ表スルコト当然ナル旨ヲ言明セルヲ幸ヒ此ノ際貴地ニ於テハ不取敢解決条件ノ（一）ヲ実行シ以テ本件全部ノ

迅速且円満ナル解決ヲ促進シ度ニ付右ノ御含ヲ以テ折角御

尽力アリタシ尚ホ長沙ニ於ケル交渉ニ付テハ或ハ別ニ適當ナル人物ヲ簡派シ池永ト協力シテ之ニ衝ラシムル方本件ノ

九〇三

深沢書記官（瀬川總領事ハ長ク任地ヲ離レ難キ事情モアルヘキニ付）ヲ全地ニ出張セシムルコトセハ單ニ譚ト相識

ノ間柄タルニ止マラス特ニ貴地ヨリ簡派セラルルノ事實ニ顧ミ交渉ノ進行ヲ円満且有効ナラシムルニ好都合ナルヘキ

カト思料セラルル處其辺ニ閔スル御意見折返シ電報アリタシ

一、湖南事変ニ際シ邦人被害事件交渉方ニ閔スル件
(附屬書)

九月二十八日在長沙池永領事代理ヨリ在中国小幡公使宛機密信
第二五号写

湖南省ニ於ケル邦人被害事件解決ノ条件ヲ譚延闥ニ提示ノ件

機密信第二五号
大正九年九月二十八日

在長沙
領事代理 池永林一

在支那

特命全権公使 小幡西吉殿

湖南事変ニ際シ邦人被害事件交渉方ニ閔スル件
本件交渉方貴電五三号ヲ以テ御電示ニ相成拝承別紙写之通

リ当地當局ニ対シ交渉ヲ開始致候条左様御了承相成度此段申進候 敬具

追テ右書信發送ト共ニ譚延闥ニ面晤交渉シ其ノ結果電報可致候間此旨申添候也

本信写送附先

七九五 九月二十八日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛
湖南省ニ於ケル邦人被害事件解決ノ条件ヲ譚延闥ニ提示ノ件
提示ノ件

附屬書 同日附池永領事代理發在中国小幡公使宛機密信第
二五号写

機密信第三〇号
大正九年九月二十八日

在長沙
領事代理 池永林一 (印)

外務大臣伯爵 内田康哉殿

大正九年九月二十八日附機密信第二五号

支那公使宛往信写送付

外務大臣、漢口總領事、廣東總領事
註 小幡公使發池永領事代理宛第五三号（九月二十二日小幡公使
發外務大臣宛第一〇〇七号）省略セリ右ハ我方ノ解決条件(三)
乃至(八)ノ实行方ニ付譚延闥ト至急交渉ヲ開始スル様訓令セル
電報ナリ

(別
紙)

九月二十八日附池永領事代理ヨリ譚延闥宛書翰写

セル左記条件ヲ提出シ是等事件ヲ円満ニ解決致度候ニ付速ニ此正当公平ナル要求全部御承認相成様致度此段照会得貴意候 敬具
(一)各不法行為ヲ直接ニ指揮シ若クハ下手シタル將校兵卒ハ總テ嚴重刑罰ニ處スルコト

右刑罰執行（繼續的刑罰ニ就テハ其ノ宣告）ノ際ニハ在長沙帝國領事又ハ館員ヲシテ之ニ立会ハシムルコト但シ軍艦砲擊事件ニ就テハ帝國海軍將校ヲモ之ニ立会ハシムルコト

(二)不法行為ヲ敢テシタル將卒ノ直屬長官ヲ嚴重処分スルコト

(三)當該軍隊最高指揮官自ラ在長沙帝國領事館ニ來リテ陳謝ノ意ヲ表スルコト

(四)右ノ外軍艦砲擊事件ニ關シテハ不法行為ヲ加ヘタル主要部隊指揮官ヲシテ我艦隊司令官ニ陳謝ノ意ヲ表セシムルコト

(五)死傷者ニ對シ弔慰金ヲ支払フコト

(六)掠奪其ノ他ニ因ル損害ニ對シ迅カニ相當賠償金ヲ支払フ

二、湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七五

九〇五

一一 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七九六 七九七 七九八

九〇六

コト

大正九年九月二十八日

池永林一

(十月一日接受)

譚延闔殿

七九六 九月三十日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件ニ關シ中央政府ノ陳謝ヲ先ツ行フベキコト

二付外交總長ト交渉ノ模様報告ノ件

第一〇四二号

貴電第五四七号ニ関シ
(九月三十日接受)

九月二十九日本使外交總長ニ会見ノ上中央政府ヨリ陳謝ノ公文此際直ニ送付方ニ付切言シタル處總長ハ前通り強硬ニ事件全部ノ解決セサルニ当リ中央ノミ其ノ一部ヲ實行スルノ不当ナルヲ主張シテ止マス一時間余ニ亘リ論難交渉ノ末本使ノ論拠多少先方ノ決意ヲ動カス所アリタリト見エ兎モ角一応熟考ノ上兩三日中ニ何分ノ回答ヲ為スヘシト云ヘリ(三十日)

七九七 十月一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

七九八 十一月一日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛

湖南事件ニ際スル邦人被害事件ニ關シ譚延闔トノ交渉ニ付報告ノ件

附屬書 同日附池永領事代理ヨリ在中国小幡公使宛機密信
第一八号写
附記 附屬書ノ別紙甲号及丙号ノ和訳文
機密信第三三号

大正九年十一月二日

在長沙

領事代理 池永林一(印)

外務大臣伯爵 内田康哉殿

大正九年十一月二日附第二八号支那公使宛往信写送付

一、湖南事變ニ際シ邦人被害事件交渉方ニ關スル件

(附屬書)

十一月二日附在長沙池永領事代理ヨリ在中国小幡公使宛機密信第二八号写

湖南事變ニ際シ邦人被害事件交渉方ニ關スル件

機密信第二八号

大正九年十一月二日

在長沙

領事代理 池永林一

在支那

特命全權公使 小幡西吉殿

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

七九八

(別紙)

(甲号写)

十月二十四日附譚湖南督軍ヨリ池永領事代理宛照会

邦人被害事件解決条件中承認シ難キ点ヲ指摘ノ件

九〇七

往電第一〇四二号ニ關シ三十日外交總長ヨリ使ヲ以テ湖南事件解決条件第一項直チニ實行ノ儀ハ種々考慮ヲ加ヘタルモ支那政府ニ於テハ矢張地方的協定ノ成立ヲ俟ツテ實行スルコトトシ度ク此ノ儀ハ曩ニ寛城子事件解決ノ際地方的協定成立ヲ俟チ中央ニ於テ陳謝ノ意ヲ表シタル前例モアルコトナレバ日本政府ニ於テ支那政府ガ陳謝ノ意ヲ表スルコトヲ承諾セルコトヲ公表セラルルトモ苦シカラザル旨申出タルニ付本使ハ從來示ノ論拠ヲ反覆布衍シ既ニ支那政府ニ於テ陳謝ノ意ヲ表スルコトヲ承諾シナガラ之ガ實行ヲ遷延スルノ故無キヲ弁駁シタルモ使ノモノハ兎モ角右ノ次第日本政府ニ転達ヲ請フ旨ヲ懇願シ引取レリ

長沙、漢口へ転電セリ
本件解决条件第一項直チニ實行ノ儀ハ種々考慮ヲ加ヘタルモ支那政府ニ於テハ矢張地方的協定ノ成立ヲ俟ツテ實行スルコトトシ度ク此ノ儀ハ曩ニ寛城子事件解決ノ際地方的協定成立ヲ俟チ中央ニ於テ陳謝ノ意ヲ表スルコトヲ承諾セルコトヲ公表セラルルトモ苦シカラザル旨申出タルニ付本使ハ從來示ノ論拠ヲ反覆布衍シ既ニ支那政府ニ於テ陳謝ノ意ヲ表スルコトヲ承諾シナガラ之ガ實行ヲ遷延スルノ故無キヲ弁駁シタルモ使ノモノハ兎モ角右ノ次第日本政府ニ転達ヲ請フ旨ヲ懇願シ引取レリ

トナレバ日本政府ニ於テ支那政府ガ陳謝ノ意ヲ表スルコトヲ承諾セルコトヲ公表セラルルトモ苦シカラザル旨申出タルニ付本使ハ從來示ノ論拠ヲ反覆布衍シ既ニ支那政府ニ於テ陳謝ノ意ヲ表スルコトヲ承諾シナガラ之ガ實行ヲ遷延スルノ故無キヲ弁駁シタルモ使ノモノハ兎モ角右ノ次第日本政府ニ転達ヲ請フ旨ヲ懇願シ引取レリ

貴領事上月二十八日來函關於此次湖南事變所提各案經帝国政府基於兩國親善之本旨慎重考慮提出左記条件以期將是等事件円満解決並望對於公平正当之要求速為全部承認等因披閱之余深有同感惟細繹各項条文似覓

貴國政府對於各案發生之詳細事實及辦理困難情形尚未蒙十分洞察因是本督軍對於各条件歉難全部承認殊為可惜日前屢與貴領事往復詳細磋商希望酌改茲特備文聲復將各案分別詳述如下

「(一)对于直接指揮不法行為或下手將校兵卒悉嚴重處以刑罰」查此項事件悉出自戰事紛亂之中當茲避難不暇之時武陵輪船獨自冒險駛近戰地敵人雖潰殘部尚多聞土匪亦乘機蜂起致有不知何人將大津錯認戕害之舉此項行為究意出自敵人抑或出自土匪嗣後嚴重調查迄無端緒業將調查困難情形商達在案來文有直接指揮不法行為或下手將校語句殊與當日情事不符緣國內戰爭決非仇及外人況是等事件更絕對無指揮之意思即下級將校亦決不至共同下手若其時有指揮者及將校在場反能制止不至肇事因是對於此條特慎重聲明希望改為「对于不法行為者查明嚴重處罰」至追書一節係閔執行手續如已查明下手者自應依法判處可將執行判決結果以文書通告但未便會

貴領事妥洽商辦並深望転達

貴國政府諒体此旨俾易接洽但屬慮辦之事自應竭力辦到以副親善雅意也耑此奉復頤

時祺

譚延闥

印私

十一月二十四日

(乙号写)

十月二十七日附池永領事代理ヨリ譚湖南督軍宛照会

譚督軍ノ照会ハ從前ノ商議決定ト異ナル旨ヲ指摘シ双方ノ了解ヲ確認方要請ノ件

以書簡啓上致候陳者今回ノ湖南事變ニ際シ貴軍軍隊ガ敝國

人ニ被ラシメタル不法事件解決案ニ関シ本年九月二十八日

付拙信ヲ以テ六ヶ条ノ解決条件ヲ閣下ニ提出シ之レカ閣下

ノ承認ヲ得ル為本年九月三十日並ニ本月十八日會見シ閣下

ト隔意ナキ商議決定トハ相違ノ点多々有之候前商議決定ノ御

レハ右商議決定トハ遂ケタルニ其後本月二十四日付貴信ニ依確認ヲ得ル為メ更ニ昨二十六日閣下ヲ訪問左ノ如ク重ネテ商議決定致候

一、右解決条件中(一)ノ追書(二)(三)(四)(五)ハ閣下ニ於テ承認セラ
レタリ

同執行合併声明「(二)对于不法行為將卒之直屬長官嚴重处罚」此条應關聯於第一条下手者既未查係何人本条自無從辦理「(三)該軍隊最高指揮官親赴駐長沙帝國領事館道歉」本督軍對於該項行為無論出自任何方面均極抱歉早經表示誠意並經以書面道致歉忱請為轉達

貴國政府有案此条早已实行「(四)關於砲擊軍艦一事應令不法行為主要部隊之指揮官向本國艦隊司令官道歉」此事前經本督軍以文書聲明責任並道歉忱業經函達

貴國遭外艦隊司令官查照並准復在案本条應無重行之必要「(五)对于死傷者給予吊慰金」此条承認酌辦「(六)对于掠奪及其他損害迅付相當之賠償金」此条掠奪事實雖經嚴重調查迄無要領但亦歸於被害之列此項掠奪事樣希望酌改又文內既稱賠償則係專對外人直接受損而言華人損失不能包含在內縱謂船舶堆棧有受寄及運輸關係然遇有不可抗之事究不能代負保險之責即有損失可由華人逕呈本国政府該辦特先附帶聲明請改為對於該輪日僑被害所生之損害迅付相當之賠償金」以上各條係參照各項事實慎重聲明分別解說承認本督軍對於是等案件最初即願以誠意相商亟圖円満解決惟因事後調查困難不得不酌量情形与

キ旨ヲ主張セラレ將校ノ二字ヲ省キ各不法行為ヲナシタル兵卒ヲ總テ嚴重刑罰ニ処スルコトニ訂正ノ希望ヲ陳ヘラレ當方ハ帝國政府ノ訓令ヲ俟テ更ニ商議スル旨答へタリ
一、(内ニ対シ閣下ハ支那人ノ損害賠償ヲ含マシメザルコト並ニ掠奪ノ事實ハ認ムルモ掠奪ノ文字不穩当ニ付被害ニ対シ速ニ相當賠償金ヲ支払フコトニ訂正ノ希望ヲ陳ヘラレ之
レニ対シ當方ハ帝國政府ノ訓令ヲ俟テ更ニ商議スル旨答へタリ
右商議決定ニ関シ及御照会候間至急以書面御確認相成度此段照会得貴意候 敬具

大正九年十月二十七日

池永林一

(丙号写)

十月三十日附譚湖南督軍ヨリ池永領事代理宛照会

十月二十七日附池永領事代理照会ニ対シ回答ノ件

逕復者准

貴領事本月二十七日來函關於此次湖南事變所提各案業經提出解決条件六条函請承認並經迭次面晤為無隔意之商議嗣准

(一) 前記別紙甲号ノ和訳文(註 仮訳文ナリ)

「帝国政府ハ両國親善ノ本旨ニ基キ慎重考量シ左記条件ヲ提出シ以テ事件ノ円満ナル解決ヲ期ス尚公平正当ナル要求ニ対シ速ニ全部承認相成リ度シ」ト此レ大ニ同感トス所ナレトモ貴国政府ハ各案ニ対シ事変發生ノ原因詳細並ニ弁理困難ナル事情今尚充分御洞察シ居ラレザルモノノ如シ依ツテ本督軍ハ各条件全部ヲ承認シ難シ此誠ニ遺憾トスル所ナリ

セリ

「帝國政府ハ該領事ト屢々往復詳細協議ノ上改定方御願申置キタルガ茲許又書面ヲ以テ各条件ニ付キ詳述ス可シ」
一、「直接不法行為ヲ指揮シタル者及下手将校兵卒ニ対シテハ悉ク処スルニ嚴罰ヲ以テス可シ」云々
蓋シ此事變ハ戰事紛乱ノ際ニ起リシモノニシテ當時避難スルノ暇アラズ武陵丸ハ独り危險ヲ冒シ戰地ニ接近シタリ時已ニ敵敗レタリト雖モ残兵尚多シ土匪亦機ニ乗ジテ蜂起セリト聞ク故ニ何人錯リテ大津氏ヲ殺害セルヤ知ルベカラズ、原因ヲ探究スルニ敵人ノ行為ナルヤ果又土匪ノ行為ナ

重ニ改定セラレンコトヲ希望ス
「不法行為者ニ対シ嚴重处罚ス可シ」云々ノ一節ハ執行手続ニ関ス、若シ下手判明セバ當然法ニヨリ裁判シ執行判決シ文書ヲ以テ通告ス可シ但未ダ共同執行シ共ニ声明スルヲ得ズ

二、「不法行為將卒ノ直屬長官ニ対シテハ嚴重处分スルコト」云々
此条ハ第一条ノ下手者ノ何人ナルヤ未ダ判明セザルガ故ニ自然之ヲ茲許ニ弁理スルヲ得ズ

三、「該軍隊ノ最高指揮官親シク長沙駐劄帝国領事館ニ赴キ謝意ヲ表スルコト」云々

貴領事往復磋商然後以書面答復分別解釈承認立案与商議決定并無不同之点但因各案中之詳細事實及弁理因難情形有慮請転達貴国政府充分諒解者并為慎重承認起見對於条件中有應附帶声明者如第一条之追書雖可承認但声明未便会同昨重行商議經

貴領事詳細解釈以会同并非干涉裁判亦非会同審訊但於判決後何日執行及宣告之時通知蒞視又第四条前经商議無重行之必要昨復商議以此條係對於政府答復条件可於各案解决後仍由本督軍以文書補行声明至第一条及第六条之希望改訂仍請照前函声請弁理照此商議決定關於第一条追書二三四五条之承認及第一条第六条之改訂特備文答復確認請併查照前函詳細轉達

貴國政府為荷此頌

日社

譚延闥 譚延闥印

(附記)

ルヤ何等ノ端緒ナシ依ツテ調査困難ナル事情ハ已ニ御通告申上ゲタリ

貴書面ニ「直接不法行為ヲ指揮シタルモノ或ハ下手将校」云々ノ語句アリ、此當時ノ事情ニ一致セズ、蓋シ内乱ハ決シテ仇ヲ外人ニ及ボスベカラズ。況ヤ此等事件更ニ指揮スルノ意志ナシ又下級將校ト雖モ断ジテ共謀下手セザルナリ。若シ當時指揮者及將校現場ニ在リン時ハ反ツテ制止シ事ヲ肇ムルニ至ラザリシナラン。故ニ此条項ニ対シテハ慎重ニ改定セラレンコトヲ希望ス

「不法行為者ニ対シ嚴重处罚ス可シ」云々ノ一節ハ執行手続ニ関ス、若シ下手判明セバ當然法ニヨリ裁判シ執行判決シ文書ヲ以テ通告ス可シ但未ダ共同執行シ共ニ声明スルヲ得ズ

「不法行為將卒ノ直屬長官ニ対シテハ嚴重处分スルコト」云々
此条ハ第一条ノ下手者ノ何人ナルヤ未ダ判明セザルガ故ニ自然之ヲ茲許ニ弁理スルヲ得ズ

三、「該軍隊ノ最高指揮官親シク長沙駐劄帝国領事館ニ赴キ謝意ヲ表スルコト」云々

本督軍ハ該項ノ行為ニ対シテハ無論何レノ点ニ付キテモ大ニ遺憾トスルモノナルヲ以テ已ニ誠意ヲ表シ且書面ヲ以テ謝意ノ深情ヲ述べタリ何卒可然御轉達被下度已ニ貴國政府了承ノ儀ト信ズ
四、「砲擊軍艦ノ件ニ関シテハ応ニ不法行為ヲナセル主要部隊ノ指揮官ニ命ジ本国艦隊司令官ニ対シ陳謝スルコト」云々

右ハ已ニ本督軍文書ヲ以テ責任ヲ声明シ並ニ謝意ノ深情ヲ表シ函達ヲ経タリ

貴國遣外艦隊司令官已ニ查明承認シタルガ故本条ハ重ネテ行フノ必要ナシ

五、「死傷者ニ対シテ弔慰金ヲ給与スルコト」
右ハ承認酌辨ス

六、「掠奪及其他ノ損害ニ対シテハ相当ノ賠償金ヲ交附スルコト」

此掠奪ノ事實ハ嚴重調查スルモ今尚要領ヲ得ズ、但シ此項掠奪ノ文字ハ酌改ヲ希望ス又文内已ニ賠償ト云フハ専ラ外人ガ直接受ケタル損害ニシテ華人ノ損害ヲ包含スルノ意味ナシ綱令其内ニ船舶倉庫受托物運輸關係ヲ謂フモノアリト

雖モ遇々不可抗力ニ属スルモノニシテ代ツテ保険ノ責ヲ負
フコト能ハズ華人ヨリ本国政府ニ報告アリタレバ該弁法ハ
特ニ先ツ附帯声明ス請フ改メテ方法ヲ採ランコトヲ、該汽
船ノ日人ノ被害ニ対シテハ相当ノ賠償金ヲ交附スルコト等
ハ各項ノ事実慎重ニ声明シ各々承認シタルモノナリ
本督軍ハ是等案件ニ対シ元ヨリ誠意ヲ以テ円満ニ解決セ
ンコトヲ願ヘリ然レトモ調査困難ナルヲ以テ貴領事ト妥当協
議致シ度尚貴国政府ニ転達シ此旨御了解ノ上交渉ヲ易カラ
シメヨ此事件ハ当然処理ス可キ問題ナレバ當方モ大ニ尽力
シ以テ親善ノ御意ニ副フ可シ（以上）

（二）前記別紙丙号ノ和訳文（註　仮訳文ナリ）

拝啓本月二十七日付ヲ以テ湖南事件解決条件六ヶ条承認ハ
已ニ隔意ナキ商議ヲ経タル筈ナルニ今回御回答相成候各節
ハ商議決定ト符合セザル点勘カラザルニ依リ前回ノ商議決
定通り承認セラレ尚ホ又昨二十六日面談再議ノ点モ書面ヲ
以テ確認セラレ度旨御照会相成了承然ルニ各解決条件ハ曩
ニ貴領事ト往復磋商シ然シテ後書面ヲ以テ回答セル（分別
解釈ノ上）次第ニシテ前キノ商議決定トハ符合セザル筈ナ
キ所ニ有之候惟各条件中之詳細事実及ビ処置困難ナル事情

第三五号

貴官発在支公使宛機密第二八号ニ閔シ譚カ既定ノ了解ヲ覆
シ不法行為ヲ敢テシタル者ノ何タルヤヲ韜晦セムトスルカ
如キハ頗ル意外トスル所ニシテ不法事実力兵士ノ所為タル
ハ歴然タル事実ナルノミナラス已ニ解決条件二三四等不法
行為ヲ敢テシタル將士ノ直屬長官ノ处分ヲ承認スル以上先

方ニ於テハ不法行為者ノ兵士タルヲ間接ニ認メタルモノト
謂フヘク之ニ反シ若シ飽ク迄モ右兵士ノ不法行為ヲ認メサ
ルニ于テハ条件二三四等ノ承認ハ何等ノ意味ヲ為サス全然
空文ニ終ラサルヲ得サル次第ニテ旁々不法行為者力兵士タ
ルノ事実ニ就テハ飽ク迄モ先方ヲシテ之ヲ確認セシムルコ
ト必要ナリ兎ニ角本件交渉ハ之カ促進ヲ期スルコト得策ニ
付瀬川總領事ニ至急貴地出張ヲ命シタルニ付テハ同官ト協
力ノ上本件速決方極力御尽力アリタシ

北京漢口ヘ転電アレ
八〇〇　十一月十七日　在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛
湖南省邦人被害ニ閔スル商議決定ノ確認
書写送付ノ件

附属書　十一月十七日附池永領事代理及譚延闔両者ノ確認
書写

機密信第三五号

（十一月二十九日接受）

大正九年十一月十七日

在長沙

領事代理　池永林一（印）

外務大臣伯爵　内田康哉殿

湖南事変ニ際シ邦人被害事件交渉方ニ閔スル件

本日拙電第一号ヲ以テ及報告候本件ニ閔スル商議決定ニ
当地譚延闔ノ署名捺印セル書面写別紙之通り及御送付候右
書面ニテ兵士ノ不法行為ハ確認セルトコロニシテ況シヤ曩
ニ及御報告候通り兵士ノ不法行為ニ対シテハ度々書面ヲ以
テ確認セル次第ニ有之候間此ノ上確認セシムル必要無之コ
トト思考致候間左様御了承相成度此段申進候　敬具

本信写送付先　在支公使、在漢口總領事

（附属書）

十一月十七日附池永領事代理及譚延闔両者ノ確認書写

湖南省邦人被害ニ閔スル商議決定確認ノ件

ニ付テハ貴官ヨリ貴国政府ニ転致シ十分諒解セラレタルモ
ノト存候而シテ慎重ニ承認ノ為メ条件中ニ附帯事項ヲ付セ
サル可カラザル處ニシテ即チ第一条追書ノ如キハ之ヲ承認
スト雖モ会同（立会ヒ）ハ御免蒙リタシト存ズル處昨日重
ネテ商議シ貴領事ハ已ニ右会同ノ意味ハ何等裁判干涉ニモ
非ズ又会同審判ニモ非ズ只判決後其執行ニ立会フニスギサ
ルコトヲ御説明アリ又第四条ハ前キニ商議ノ際ハ之ヲ二度
繰返ス必要ナシトノ事ニナリ居レルモ昨日再商ノ結果此条
件ハ政府ニ対シ答覆スルモノナル由ニ付テハ各条件解決後
本督軍ヨリ文書ヲ以テ補行説明スベシ第一条及第六条ノ改
訂希望ハ飽迄前議ノ通りニ致シ度結局商議決定トシテハ第
一条追書二、三、四、五条ノ承認及び第一条第六条ノ改訂
ニ有之茲ニ文書ヲ以テ回答確認致ス次第ニ有之並ニ前書ヲ
詳細貴国政府ニ転達セラレントヲ希望致候

譚延闔　十月三十日

七九九　十一月十五日　内田外務大臣ヨリ

在長沙池永領事代理宛（電報）

湖南省邦人被害ニ閔シ譚延闔ヲシテ兵士ノ不法行為

ナルコトヲ確認セシムル様訓令ノ件

大正九年十一月十七日

九一四

提出シ之レガ閣下ノ承認ヲ得ル為メ本年九月三十日並ニ本
月十八日会見シ閣下ト隔意ナキ商議ヲ遂ケタルニ右解決条
件中(一)ノ追書(二)、(三)、(四)、(五)ハ何レモ承認セラレタルモ(一)
及(六)ニ対シテハ左ノ如ク商議決定セリ

(一)各不法行為ヲ直接ニ指揮シ若クハ下手シタル將校兵卒ハ
總テ嚴重刑罰ニ処スルコト

右ニ対シ閣下ハ直接ニ指揮ヲナシ若クハ下手シタル將校ナ
キ旨ヲ主張セラレ將校ノ二字ヲ省キ各不法行為ヲナシタル

兵卒ヲ總テ嚴重刑罰ニ処スルコトニ訂正ノ希望ヲ陳ヘラレ
當方ハ帝國政府ノ訓令ヲ俟テ更ニ商議スル旨答へタリ

(四)掠奪其ノ他ニ因ル損害ニ対シ速ニ相當賠償金ヲ支払フコ
ト
右ニ対シ閣下ハ支那人ノ損害賠償ヲ含マシメザルコト支那人
ノ損害ハ支那官憲ニ於テ調査弁理スルコト並ニ掠奪ノ事
實ハ認ムルモ掠奪ノ文字不穩当ニ付被害ニ対シ速ニ相當賠
償金ヲ支払フコトニ訂正ノ希望ヲ陳ベラレ之レニ対シ當方
ハ帝國政府ノ訓令ヲ俟テ更ニ商議スル旨答ヘタリ

閣下並ニ當方ハ右商議決定ノ相違ナキヲ確認シ左ニ署名捺
印スルモノナリ

アリタキ旨ヲ述べ之レガ承諾ヲ得タリ今回ノ改革ニ付交渉
員ニハ仇鰲政務府長ニハ馮天柱財政府長ニハ蕭翼万參謀長
ニハ楊源濬任命セラル尚昨日總司令ニ隨行シテ來レル鄧交
涉科長ノ語ル所ニ依レバ譚延闐ハ吳佩孚トノ関係上次第ニ
北方直隸派ニ親近セル傾向アリシ為上海ニアル孫文ハ湖南
省ヲ純然タル南方ノモントナサント欲シ種々画策ノ結果遂
ニ譚延闐ヲシテ此ノ地ニ止マルコト能ハサラシムルニ至リ
タルモノナリトス
在支公使ヘ転電セリ

註 十一月二十六日在長沙池永領事代理堯外務大臣宛電報第一〇

八号ニ左ノ一節アリ

「趙恒惕十一月二十五日湖南總司令ノ職ニ就キ譚延闐ハ上海
ニ向ケ出發ノ準備中ナリ」

八〇一 十二月一日 在長沙池永領事代理堯外務大臣宛(電報)

廣東軍政府ノ湖南總司令等任命ノ報道事実ナラバ湖
南事件解決遅延ノ虞アル旨瀕川報告ノ件

第一四号 (十二月二日接受)

瀕川總領事ヨリ左ノ通

昨三十日趙恒惕ニ会見ノ際趙ハ目下ノ政局ニ於テハ湖南省
一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際日本側被害一件

提出シ之レガ閣下ノ承認ヲ得ル為メ本年九月三十日並ニ本
月十八日会見シ閣下ト隔意ナキ商議ヲ遂ケタルニ右解決条
件中(一)ノ追書(二)、(三)、(四)、(五)ハ何レモ承認セラレタルモ(一)
及(六)ニ対シテハ左ノ如ク商議決定セリ

(一)各不法行為ヲ直接ニ指揮シ若クハ下手シタル將校兵卒ハ
總テ嚴重刑罰ニ処スルコト

右ニ対シ閣下ハ直接ニ指揮ヲナシ若クハ下手シタル將校ナ
キ旨ヲ主張セラレ將校ノ二字ヲ省キ各不法行為ヲナシタル

兵卒ヲ總テ嚴重刑罰ニ処スルコトニ訂正ノ希望ヲ陳ヘラレ
當方ハ帝國政府ノ訓令ヲ俟テ更ニ商議スル旨答へタリ

(四)掠奪其ノ他ニ因ル損害ニ対シ速ニ相當賠償金ヲ支払フコ
ト
右ニ対シ閣下ハ支那人ノ損害賠償ヲ含マシメザルコト支那人
ノ損害ハ支那官憲ニ於テ調査弁理スルコト並ニ掠奪ノ事
實ハ認ムルモ掠奪ノ文字不穩当ニ付被害ニ対シ速ニ相當賠
償金ヲ支払フコトニ訂正ノ希望ヲ陳ベラレ之レニ対シ當方
ハ帝國政府ノ訓令ヲ俟テ更ニ商議スル旨答ヘタリ

閣下並ニ當方ハ右商議決定ノ相違ナキヲ確認シ左ニ署名捺
印スルモノナリ

八〇一 十二月一日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

譚延闐 印

池永林一 印

新任湖南總司令趙恒惕ニ対シ湖南事件交渉開始ヲ督
促セル旨瀕川總領事ヨリ報告ノ件

第一一三号

(十二月二日接受)

瀕川總領事ヨリ左ノ通

三十日趙恒惕^(註)答礼ノ為來館セルニ付本官ハ湖南事件ノ交渉
ヲ速ニ開始ス可キ様督促シタル處趙ハ本件ニハ之レ迄直接
關係シ居ラサリシ為此ノ際充分研究スルノ必要アリ且ツ今

回省長ヲ始メ交渉員、政務長、財政長其ノ他幹部ノ人々全
送シタルニ依リ篤ト協議ノ上更ニ時日ヲ定メ通知ス可キ旨
答ヘタルニ依ツテ本官ハ更ニ當方ヨリ提出セル六個ノ条件
ニ就テ前任譚延闐ニ於テ已ニ確認シタルモノナレバ今回ハ
之ヲ基礎トシテ逐條實行ノ手続ヲ商議決定スル次第ニ付趙
司令ニ於テモ誠心誠意ヲ以テ事ニ當ラレンコトヲ希望ス尚
交渉開始ノ期日ハ成ル可ク速ニ取決メ二三日内ニ必ズ通知

ノ政務ハ北京政府ニ於テモ將又広東政府ニ於テモ何等掣肘
ヲ受クルコトナクシテ湖南省ニ於テ起リシ事件ハ湖南政府
ニ於テ自決スルコトヲ得ヘキ旨聲言シタリ然ルニ今一日發
行ノ長沙發行ノ新聞紙上ニハ廣東來電トシテ十一月三十日
軍政府ハ特ニ趙恒惕ヲ任シテ湖南各軍總司令トナシ林支宇
ヲ任シテ湖南省長トナシタル旨發布セラレタル旨記載アリ
右ハ果シテ事實ナルヤ否ヤ未タ當局者ニ付確メタルニアラ
サルモ若シ之ヲ事實トスルトキハ湖南事件ノ始末ノ如キモ
新ニ軍政府トノ關係ヲ生シ一々其指揮ヲ受クルニ於テハ之
カ解決上一層ノ時日ヲ要スルモノト思ハル
在支公使、廣東ヘ転電セリ

八〇三 十二月六日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

湖南軍兵士ガ延滞給料請求ノ為總司令部ニ押掛ヶ趙
トノ會見延期トナリタル内情ニ關シ瀕川總領事ヨリ

報告ノ件

第一一六号 (十二月九日接受)

瀕川總領事ヨリ左ノ通

六日午後三時湖南事件談判ノ為趙恒惕ト會見ノ約束ナリシ

処正午頃ニ至リ突然本日ノ会見ヲ延期シ来リタリ右ハ多数ノ兵士カ総司令部ニ押寄セ趙恒惕ハ出勤スルコト能ハサルカ為ナリ尚昨日來二三百ノ兵士カ造幣廠ニ詰掛け未収給料ノ要求ヲ為シ市中不穏ノ形勢アリシ處本日偶々黃一欧（黄興ノ長男ニシテ長沙市政局長）來訪シタルヲ以テ全人ニ其ノ仔細ヲ尋ネタルニ其ノ言ニ依レハ右等兵士ニ対シテハ毎月一人ニ付キ六元宛支給スヘキ筈ナルニ約一ヶ年間ハ毎月三分ノ一則チ二元宛支給セシニ遇キサルヲ以テ兵士ハ延滞給料請求ノ為造幣廠ニ詰寄せ次イテ総司令部ニ肉薄シタルモノナリト雖モ右ハ表面ノ理由ニシテ今回斯カル運動ヲ為セルハ何レモ嘗テ程潛ノ部下ニ属シ居タルモノナリ彼等ハ則チ今回譚延闔ヲ放逐シタルハ彼ナリトシテ此際程潛ヲシテ湖南総司令タラシメント欲シ趙恒惕ニ対シ殊更ニ示威運動ヲ為セルモノナレハ今朝來既ニ省長及各府長等ハ右兵士ノ代表者等ト會見シテ居中調停ノ勞ヲ執リ居レリ今回趙恒惕ノ総司令タリシコトニ就テハ元ヨリ趙ト程トノ間ニ諒解アリト雖モ程潛部下ノ者ハ之ニ満足セスシテ此ノ際必ス程ヲ総司令タラシメント欲スルナリ故ニ若シ程潛カ上海ヨリ來ルコトナクンハ湖南省ハ結局右等兵士ニ対シ一ヶ年間ノ

北京漢口ヘ転電アレ

註 十二月三日池永領事代理発外務大臣宛電報第一一五号ヲ省略
セリ該電ハ瀬川總領事ヨリ一先ヅ漢口ニ帰任シ度旨稟請セルモノナリ

八〇五 十二月八日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
譚延闔ノ長沙撤退兵士ノ給料問題ノ暫定的解決等湖南政局ニ關シ瀬川報告ノ件

第一一九号

（十二月十日接受）

延滞給料全部ヲ支払ハサルヘカラサルコトトナルカ故ニ財政窮乏ノ今日之又非常ノ問題ナレハ今後本件ハ如何ニ成行クヘキヤ未タ分明ナラス

在支公使ヘ転電セリ

八〇四 十二月八日 在長沙池永領事代理宛（電報）
湖南事件ニ関スル池永及譚延闔間ノ既存了解ヲ趙恒惕ヲシテ確認セシムベキ様訓令ノ件

第三八号

貴電第一一五号ニ閔シ瀬川總領事ヘ左ノ通

貴官其地出張ニ相前後シ譚延闔失脚ヲ来シ為ニ累ヲ本件交渉ニ及ホスノ虞アルハ寔ニ遺憾ノ至ニシテ本件解決ハ今後尙ホ多少ノ糾余曲折ヲ重ネサルヘカラスト推想セラルルモ勘クトモ趙恒惕ヲシテ池永譚間ニ於ケル已存ノ了解ヲ確認セシメタル上帰任セラレ度尙ホ未決条項即チ不法行為ヲ敢テシタル兵卒ノ上長官ノ処罰及損害賠償問題ノ如キモ池永宛送次ノ往電ニ依リ御推察可相成通彼我ノ間ニ尙ホ懇談妥商ノ余地無キニ非サルヘク例へハ上長官ト謂フモ我方ニ於テハ必スシモ將校以上ニ限定セムトスルモノニ非スシテ所

謂上長官ノ何人ナルヤハ之ヲ極言セハ先方ノ裁量ニ委スルヲ妨ケス又損害賠償ノ査定ニ当リテモ支那人側ノ被害若ハ間接損害ヲモ包含スヘキヤ否ヤニ就テハ實額ノ査定ニ際シテ尚ホ懇談ノ余地無キニ非サルヘク兎ニ角當方ニ於テハ貴地官憲トノ間ニ速カニ主義上ノ大綱ヲ協定シタキ所存ニ付其ノ辯駁ト御含ノ上右等ノ点ニ就テモ大体先方ノ諒解ヲ得ル様極力御尽力アリタシ六日趙トノ御会見ノ結果ニ依リ更ニ申進スヘキコト可有之モ右不取敢

北京漢口ヘ転電アレ

註 十二月三日池永領事代理発外務大臣宛電報第一一五号ヲ省略
セリ該電ハ瀬川總領事ヨリ一先ヅ漢口ニ帰任シ度旨稟請セルモノナリ

（十二月十日接受）

瀬川總領事ヨリ左ノ通
本月五日以來長沙ニ於ケル政局ハ再び混沌タル形勢ニ陥リ
一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

右蕭司令ハ譚ノ最モ信頼スル人物ニシテ新師編成ノ暁ニハ其ノ司令ニ擬セラレタルモノナレバ蕭ノ暗殺ト同時ニ譚ノ計画ハ全ク失敗ニ終リタルモノナリト雖モ軍人派ニ於テハ蕭ヲ暗殺セシ于応祥ニ対シテハ何等处罚ヲモ施サズ却ツテ譚ヲシテ之ガ為一切ノ官職ヲ抛チ当地ヲ撤退セザルベカラザルノ立場ニ至ラシメタルモノナリ湖南省内ノ軍隊ハ革命以前ニ在リテハ一箇師団ト外ニ一ヶ混成旅団ノ兵アリシニ過ギザリシガ今日ニ於テハ十万ノ兵ヲ養成シ之ヲ解散スルコトモ出来ズ又之ニ対スル軍費ヲ供給スルコトモ出来ザルノ結果南軍ノ未ダ永州ニ在リシ時ヨリノ給料不渡トナリ居タル處第一師所属ノ兵約一千名本月四日ヨリ不穏ノ形勢ヲ現ハシ五日ニ至リ銅元局軍械局總司令部ヲ襲ヒ之ヲ占領シタルヲ以テ趙恒惕ヲ始メ要路ノ人々ハ非常ニ狼狽シテ殆ド為ス所ヲ知ラザリシ際第二旅長廖喊棟ナルモノ出テ兵士側ノ代表者ト折衝ノ任ニ当リ兵士側ノ要求ニ係ル十、十一月両月分ノ給料ヲ現金ニテ交付シ其ノ以前ヨリ未払ノ給料ハ陰曆年末迄ニ精算シテ相当ノ処置ヲ為スコトトシテ解決シ以上三所ニ集合セシ兵士ハ一旦撤去シタルヲ以テ差当リ右軍資金ノ支出方ニ付当局者ノ間ニ目下協議中ナリトノコ

トナリ尚今回ノ事変ト共ニ最モ注意すべきハ目下趙恒惕ノ部下ニ属スルモノガ急ニ權力ヲ恣ニシ元譚延闡ノ一派タリシ馬嘶團ノ者ヲ虐待シ又程潛系統ノ者ヲモ兎角冷遇スル傾企テント欲シタリ今回ノ兵變ノ如キモ斯ル人物ガ中間ニアリテ大ニ煽動シタリトノ説アルモ差当リ趙恒惕以外ニ總司令トナルベキ適當ノ人物アラザルガ故ニ此ノ際程潛ガ廣東ヨリ帰來セザル限りハ結局現状ヲ維持スルノ外ナカルベキ程潛ハ何日カ湖南ニ来リ趙恒惕ヲ追放シ自ラ代リテ其ノ地位ヲ奪フヤモ計ラレズト云フ

在支公使ヘ転電シ上海広東漢口ヘ郵報セリ

八〇六 十二月九日 在漢口瀕川總領事ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

長沙ノ事態不穏ニ付隅田艦ニ同地急行依頼ノ件

第一七一号

(十二月十日接受)

長沙不穏ノ形勢ニ関シテハ全地領事發本省宛第一一七号當館ニモ転電アリタル處昨八日ヨリ全地トノ電信不通トナリ事態憂慮ニ堪ヘサルヲ以テ軍艦隅田ニ全地ヘ急行方ヲ依頼

シ全艦ハ八日午後五時當地発長沙ニ向ヘリ十一日午前中ニ全地著ノ予定ナリ
在支公使及上海ヘ転電セリ

八〇七 十二月十二日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

長沙ニ於ケル兵士ノ給料騷動ノ際林支宇省長ガ漢口

逃亡ノ準備ヲ為セルコト等瀕川報告ノ件

第一二四号

(十二月十三日接受)

シタル結果ニ外ナラスト云フ尚省長トハ交渉問題ニ関シ多ク語ルノ機会ヲ得サリシモ總司令ニ面会ノ節右ノ督促方ヲ依頼シ置キタリ
在支公使ヘ転電セリ

八〇八 十二月十三日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

速ニ漢口ニ帰任方並長沙領事館ノ市内適地移転及同

館員增加方ニ付瀕川ヨリ稟申ノ件

第一二五号

(十二月十四日接受)

瀕川總領事ヨリ左ノ通
昨十一日省長林支宇及商埠地警察署長張灼棠ノ兩人相前後シテ領事館ニ來訪セリ其際張ノ語ル所ニ依レハ林支宇ハ今回国事変ニ際シ密ニ沅江丸(七日入港九日出帆)ニ乗リ漢口ニ逃ルルノ準備ヲナシ居タルモ政府ハ省長ハ省議會ノ選挙シタルモノニシテ即チ民選ナレハ何人カ來ルトモ決シテ逃クルニ及ハサル旨ヲ勸告シ而シテ其後程潛ノ來ラサルコトモ愈々明白トナリシヲ以テ遂ニ漢口ニ行クコトヲ中止シタルモノナリト云フ右ハ當地ノ支那官憲力今回ノ事変ニ際シ如何ニ狼狽シタルカノ一端ヲ知ルニ足ルモノニシテ畢竟程潛部下ノ者共カ一時無根ノ流言ヲ放チ湖南当局者ヲ恐喝

ハ実ニ万口ムヲ得ザルモノナルニ付此辺ノ事情篤ト御諒察トナリ尚今回ノ事変ト共ニ最モ注意すべきハ目下趙恒惕ノ部下ニ属スルモノガ急ニ權力ヲ恣ニシ元譚延闡ノ一派タリシ馬嘶團ノ者ヲ虐待シ又程潛系統ノ者ヲモ兎角冷遇スル傾企テント欲シタリ今回ノ兵變ノ如キモ斯ル人物ガ中間ニアリテ大ニ煽動シタリトノ説アルモ差当リ趙恒惕以外ニ總司令トナルベキ適當ノ人物アラザルガ故ニ此ノ際程潛ガ廣東ヨリ帰來セザル限りハ結局現状ヲ維持スルノ外ナカルベキ程潛ハ何日カ湖南ニ来リ趙恒惕ヲ追放シ自ラ代リテ其ノ地位ヲ奪フヤモ計ラレズト云フ

トナリ尚今回ノ事変ト共ニ最モ注意すべきハ目下趙恒惕ノ部下ニ属スルモノガ急ニ權力ヲ恣ニシ元譚延闡ノ一派タリシ馬嘶團ノ者ヲ虐待シ又程潛系統ノ者ヲモ兎角冷遇スル傾企テント欲シタリ今回ノ兵變ノ如キモ斯ル人物ガ中間ニアリテ大ニ煽動シタリトノ説アルモ差当リ趙恒惕以外ニ總司令トナルベキ適當ノ人物アラザルガ故ニ此ノ際程潛ガ廣東ヨリ帰來セザル限りハ結局現状ヲ維持スルノ外ナカルベキ程潛ハ何日カ湖南ニ来リ趙恒惕ヲ追放シ自ラ代リテ其ノ地位ヲ奪フヤモ計ラレズト云フ

在支公使ヘ転電シ上海広東漢口ヘ郵報セリ

八〇八 八〇八

九一九

ヲ仰ギタク尚本官ハ往電第一一五号裏請ノ通ナルニ付可成
速ニ帰任ノ機ヲ得タキ所存ナルモ今回当地出張中切ニ感ジ
タルハ現在ノ領事館ガ在留民トノ関係上最不便ノ地位ニ在
ルコトト交渉事件頻発シ領事館員ノ手不足ナルコトノ一事
ナリ右ハ固ヨリ書面ニテ詳細稟報スペキ筋ノモノニ属スル
モ最近ニ於テ宜昌事件發生シ且長沙近時ノ状況ニ照ラシ居
留民ノ神経頗ル過敏トナリ居ルヲ以テ御参考迄ニ右二項ニ
関シ実地ノ状況並本官ノ意見併セテ左ニ開陳ス

当地居留民ノ在住セルハ西門外ノ河岸ニ接近セル場所ニシ
テ日清汽船ノ碼頭ヲ始メ三井洋行中日銀行及其他大小ノ店
舗何レモ其界限ニ集り居レル處独リ領事館ハ其下流約二哩
ノ地点ニアリ而モ其間道路最モ悪シク此頃ノ如ク雨天打続
ク時ハ殆ド車ノ通行モ困難ヲ感ズル程ニテ不便云フ可カラ
ザルモノアリ然ルニ西門外ノ対岸水陸洲ト称スル中洲ニハ
英國領事館アリ税關長ノ官宅及中日銀行ノ社宅等モアリテ
至極閑静ニシテ安全ナル場所ナレバ当地在留民ハ何レモ領
事館ノ水陸洲ニ建設セラレンコトヲ希望シ居ル次第ナリ本
官ノ見ル所ヲ以テスレバ長沙ハ目下小康ヲ保チ居ルモ何時
如何ナル事変ノ突發ヲ見ルヤ計ル可カラザル状態ニアリ然

八〇九 十二月十四日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

瀬川ヨリ湖南事件ニ闕スル趙總司令ト交渉ノ状況報
告並今後ノ措置振ニ闕シ請訓ノ件

第一二六号 （十二月十五日接受）

瀬川總領事ヨリ左ノ通

昨十三日午後三時池永領事ト共ニ總司令部ニ到リ趙恒惕ト
会見シテ湖南事件ノ交渉ヲ開始セリ支那側ニハ趙ノ外ニ參
謀長楊源濬、交渉課長鄧承疇列席セリ本官ハ六ヶ条ノ解決
条件ヲ一応説明シテ帝国政府ノ提案ハ極メテ公平ニシテ一
モ両國親善ノ趣旨ニ悖リタル所アラザルガ故ニ全部承認シ
テ速カニ之ガ實行ニ着手センコトヲ希望スル旨ヲ述ベタル
処總司令ハ本年六月南軍ノ始メテ当方面ニ來着シタル際無
智蒙昧ノ兵士共ガ何等ノ見境モナク為シタル所ノ不法行為
ニ対シテハ何人モ決シテ指揮シタルニハ非ザルコト篤ト諒
解アリタク我軍隊ニ於テハ如何ナル士官モ断ジテ日本ニ対
ルモノアラザルコトハ誓ツテ保証スル所ナリ然ルニ斯ノ如

ルニ本年六月ノ事変ノ際ニハ幸ニシテ武陵丸ノ在泊シ居タ
ル為在留民ノ大部分ハ一時同船内ニ避難シタルモ冬季減水
期ニ於テハ汽船ノ航行杜絶シ万ノ場合ニ於テ適當ノ避難
場所ナク且領事館ト在留民ノ住スル所ト遠隔セル為軍艦ノ
如キモ両方同時ニ保護スルコトハ頗ル不便ヲ感スル次第ニ
シテ水陸洲ニハ幸敷地モアルコトナレバ右敷地内ニ領事館
ヲ建設移転スルコトモナラバ対岸ノ居留民ハ何時ニテモ
隨意避難シ得ルノミナラズ之ガ保護上ニモ至極便利ナルモ
ノナリ又當地ニハ從来交渉案件ノ甚ダ多キニ拘ラズ領事ノ
交迭頻繁ナルト館員ノ手不足ナル（脱）問題ハ積シテ電信
件ノ多キニ達セリ故ニ現在ノ如ク一名ノ書記生ヲシテ電信
会計其他諸般ノ事務ヲ執ラシメ併セテ交渉事件ニ關係セシ
ムルコトニシテハ到底出来得ベカラザルコトニシテ少クト
モ多少事務ニ経験ヲ有スル書記生三名在勤スルニアラザレ
バ事務ノ整理ヲ見ルコト困難ナルベク而シテ從来領事始メ
館員ノ永ク当地ニ勤続セザル弊モ亦之ガ為ナリト信ズ以上
二項ニ闕シテハ多数居留民ノ希望モアルコトナレバ此際至
急御詮議ノ上何分ノ御取計アランコトヲ請フ

在支公使ヘ転電セリ

二時間余ニ亘レルモ尚決定セザルニ依リ六時三十分会議ヲ中止シ夫レヨリシテ準備ノ食卓ニ就キ我々五人ノ外ニ軍需課長高モ加ハリ彼等日本留学當時ノ逸話ナド何レモ日本語ヲ以テ面白ク話合ヒ八時半帰館セリ（彼等四人何レモ日本人、掠奪、砲撃等ノ不法行為ハ南軍始メテ当方面ニ殺到シ非常ナル混雜ヲ極メタル際無智蒙昧ノ兵士共ノナシタル所ニシテ何等責任ヲ有スルモノノ関係シタルモノニ非ザルコトヲ確信シ居ルモノノ如シ而シテ當方ニ於テモ果シテ之ヲ指揮シタルモノアルカ否カハ全ク不明瞭ニシテ別ニ何等証拠ヲ有スル訳ニアラザルガ故ニ支那側ノ云フ所或ハ事實ナルヤモ計ラレズ果シテ然ラバ總司令ノ立場ヨリシテ考フル時ハ若シ當方ノ要求通り此項ヲ承認スルニ於テハ自然指揮シタルモノアリトヲ承認シタルガ如キ姿トナルガ故ニ特ニ其ノ訂正ヲ求メタル次第ナリト雖モ実地取調ノ結果シタルモノアリコトヲ発見シタル場合ニハ嚴重処罰スルコトヲ言明シタル以上ハ此際強ヒテ第一項ノ全文ヲ承認セザルモ之ガ實行ニ着手シ何等差支ナキモノト信ズ又支那人ノ損害ノ如キモ支那官憲ニ於テ調査弁理スルコト

ガ故ニ若シ當方ノ査定額ニ何等反抗ヲ及ボスガ如キコトアル場合ニハ一応稟申ノ上御指揮ヲ俟チテ決定スルコトトナシ直ニ實行ニ着手スル考ニ付至急何分ノ御回電ヲ請フ在支公使ヘ転電シ、漢口ヘ郵送セリ

八一〇 十二月十八日 内田外務大臣ヨリ
在長沙池永領事代理宛（電報）

湖南事件解決条件中趙総司令ノ反対スル二点ニ付我方最後ノ讓歩案訓令ノ件

第三九号 至急

貴電第一二六号ニ關シ瀕川總領事ヘ左ノ通伝達ノ上貴官ニ於テモ全總領事ト打合セ折角努力アリタシ

(一)元來邦人ノ慘殺及帝国軍艦ニ対スル射撃ノ如キ事態極メテ重大ニシテ當時支那兵卒カ上官ノ指揮ヲ俟タスシテ漫りニ恁クノ如キ不法行為ヲ敢テシタルモノトハ到底認ムルヲ得ス從テ第一項ハ主義上是非共承服セシムル様極力御説得アリ度ク尤モ貴電第一二五号ニ拠レハ貴地政情依然不安ノ域ヲ脱セサルモノノ如ク又々地方当局ノ変動ヲ見ルカ如キコトアルニ於テハ益々事態ヲ渋滞セシムルノ虞無キニ非ス旁々下手人タル兵卒ノ刑罰執行ハ勿論ナルモ本件不法行為

ノ希望ヲ述べタル迄ニシテ當方ニ於テハ未ダ其希望ヲ容レタルモノニハ非ザルガ故ニ第六項ヲ実行スル場合ニ当リ武陵丸下級船員若クハ日清代理店ノ受ケタル損害ニ対シテ極力回収ニ力メ而シテ湘譚ニ於テ掠奪セラレタル荷主ノ損害高ハ其ノ金額モ多キガ故ニ支那側ニ於テ之ガ賠償ヲ承諾スルコト到底不可能ト信ズルモ一応ハ必ず要求ヲ試ミ然ル後承諾セザル場合ニハ右荷主ト日清汽船会社トノ関係ヲ支那側ニ移シ荷主ヲシテ日清ニ向ヒ何等要求ガマシキコトナカラシムル様支那側ニ於テ責任ヲ持チ弁理スルニ於テハ第六項モ亦此際強ヒテ承認セシメザルモ之ガ實行上ニ付左迄ノ差支ナキモノト信ズ前述ノ如ク張總司令ニ於テモ池永ト譚延闊トノ覺書中記載之通解決条件中一二、三、四、五ハ何レモ承認スペキ旨声明シタル以上ハ愈々實行ニ取懸リ第一ニ関シテハ若シ支那人犯罪者ヲ逮捕スルニ於テハ直ニ嚴重処罰ヲ追求スベク而シテ尚未ダ逮捕シ居ラザル時ハ至急嚴命ヲ下シテ當時ノ不法行為者ヲ逮捕シ然ル後嚴重処罰スベキ旨ヲ記載シタル書面ヲ取置キ第二ハ第一ノ手続完了ノ上実行スルコトナシ第三ト第四トハ直ニ實行ニ着手第五、第六ハ主トシテ金額ノ多少ガ双方ノ問題トナルニ過ギザル

実行ノ時機及順序ニ付テハ更ニ何分池永宛申進スヘシ
北京広東ヘ可然電報アリタシ

八一一 十二月二十二日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

湖南事件解決条件ニ關シ趙総司令ハ依然其主張ヲ固
執スルニ付我方ノ最後的讓歩案ニテ妥結セル旨報告
ノ件

第一三一号 （十二月二十三日接受）

瀬川總領事ヨリ左ノ通り
本官ハ二十日池永領事ト共ニ總司令ニ會見シ先づ第一ニ本
件ハ事態最モ重大ナルコトヲ説キ次デ日本政府ノ提案六ヶ
条ハ最モ公平ニシテ且穩當ナルコトヲ説キ而シテ本件ヲ処
理スルノ任ニアルモノハ互ニ誠心誠意ヲ以テ事ニ当ラザル
可カラザルコトヲ諄々説明スルト全時ニ本官モ漢口へ帰任
ヲ急ギ居ルヲ以テ一日モ速ニ解決ヲ希望スル旨ヲ述ベタル
末第一及第六項ニ付テハ更ニ詳細ナル説明ヲナシタルモ先
方ニ於テハ依然第一項ノ將校ナル文字ノ削除ヲ求メ又第六
項支那人ノ損害賠償ノコトニ關シテモ前説ヲ主張シ到底滿
足ナル解決ヲ見ルノ見込ナカリシヲ以テ本件ニ關シテハ篤

ハ差間アリトテ会見スルコトヲ得ズ而シテ二十二日ハ先方
ヨリ午餐ノ案内アリシヲ以テ一時間前ニ池永ト共ニ總司令

部ニ至リ總司令及交渉員ニ面会シ双方腹蔵ナキ意見ヲ交換

シタル處実ハ第六項ハ聊カ諒解ノ色アリシモ第一項ノ將校

ナル文字ニ付テハ依然諒解スル所ナク當方ニ於テモ主義上

是非共本項ヲ承認スル様再三再四説得スル所アリシモ頑ト

シテ之ニ応ゼザルノミナラズ強ヒテ之ヲ承認セシメントス
ル時ハ將校ノ二字ヲ削除スルカ然ラザレバ之ヲ單ニ下士ノ
意味ヲ有スル文字ニ改メンコトヲ主張スルモノナリト雖モ
右ハ何レモ當方ニ於テ承認シ難キ所ナレバ到底原案ノ儘ニ
テハ承認セシムルコト能ハザルニ依リ最後ノ手段トシテ遂
ニ貴電御訓示ノ趣意ニ基キ前ニ譚延闊ノ確認シタル第一項
ノ追書及（二）、（三）、（四）、（五）ハ全部確認シ而シテ第一項ニ就テ
ハ各不法行為下手人タル兵卒ハ凡テ嚴重刑罰ニ處スルコト
ハ無論ナルモ各不法行為ニ直接干与セル上官ノ查弁ニ閑シ
テハ嚴重查明ノ上適切ノ処分ヲ講ズルコト第六項ニ關シテ
ハ主義上原案ヲ承認スルモ只支那人荷主ノ損害ニ付テハ日
清汽船会社ノ査定額ヲ切実ニ考慮シ別ニ公正ノ処置ヲ講ズ

ベキ旨ヲ明記シタル公文ヲ當方ニ送付セシムルコトニ協議
一決シ午後二時一同食卓ニ就ケリ本官ハ右公文ノ接到スル
迄当地ニ滯在スベキ筈ナルモ目下漢口ニ於ケル公務上ノ都
合モアルニ依リ明朝出発帰任ノ途ニ就ク考ナレバ右御了承
ヲ請フ

北京、廣東へ転電セリ

八一二 十二月二十五日 内田外務大臣ヨリ
在長沙池永領事代理宛（電報）

湖南事件ニ關スル弔慰金損害賠償額ノ協議ニ移ルコ
ト及其他ノ条件実行ノ手順ニ付訓令ノ件

第四〇号

貴電第一三一号ニ關シ貴官等段々ノ御尽力ニ依リ大体円満

ナル解決ヲ得タルハ寔ニ好都合ノ至ナリ就テハ此ノ機ヲ逸

セス引続キ弔慰金及損害賠償額ノ協議ニ移リ速カニ我方查
定額ヲ承諾セシムル様極力御尽力アリタク殊ニ大津弔慰金

ニ付テハ最先キニ解決ヲ期スル様致度シ尙ホ解決条項（五）及
（六）以外ノ各項ハ此ノ際直ニ実行ニ取懸リ差支無キ次第ナル
モ上記（五）及（六）ノ協定目鼻付カサル裡他各項悉ク實行ヲ了シ
去ルニ於テハ結局弔慰金及損害賠償ノ問題ハ有耶無耶ニ遷

機密信第三八号

大正九年十二月二十九日

在長沙

（大正十年一月十一日接受）

領事代理 池永林一（印）

外務大臣伯爵 内田康哉殿

湖南事件解決案承認方ニ関スル件

一二 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

八一二 八一三

九二五

本件ニ関シ往電一二一號ヲ以テ及報告候處其後支那側ヨリ

右承認ニ関シ公文ヲ送付シ來ラサルヲ以テ面晤或ハ別紙甲号写シノ通り書面ヲ以テ督促致置候處去ル二十七日付ヲ以

テ昨二十八日別紙乙号写ノ通り書面送付致來リ候条及御送付候間御查閱相成度此段申進候 敬具

本信写送付先 在支公使、在漢口總領事、在廣東總領事

(附屬書一)

申号写

十二月二十五日附池永領事代理ヨリ趙総司令宛書翰

湖南事件解決条件承認ノ公文送附方督促ノ件

大正九年十二月二十五日

池永林一

趙恒惕殿

以書簡啓上致候陳者本年九月二十八日付拙信ヲ以テ六ヶ条ノ解決条件ヲ譚前任ニ提出シ置キタルニ右解決条件ハ大部

分確認セラレタルトコロ右(一)及(四)ノ二項ニ関シテハ猶商議

ヲ要スル点有之候條本月二十二日在漢口瀕川總領事ト共ニ

閣下ニ会見シ種々商議ノ結果左記三項ヲ御承認ニ相成り候

ニ就テハ右三項御承認ノ旨速ニ御回答相成様致度此段照会

認并以書面附加解釈声明及對於第一条第六条声請改訂嗣後商議決定復經双方簽訂各在案昨承

貴國駐漢總領事暨

貴領事迭次会商以第一条第六条政府未允改訂持続行磋商要請全部承認本総司令對於此次事變所生各案深抱歉忱既經譚前総司令商議決定有案自応繼續辦理以資解決惟是各案發生

情形實由於兵士衆多倉卒誤會所致至為遺憾前經譚前総司令將各案調查情形詳細函達即對於各条件之分別承認解釈及希望改訂亦係為鄭重案件起見今本総司令接統商辦自不得不慎重承認以期能於切実履行在

貴領事方面對於条件之說明固称詳尽而各案實在情形亦不得不要請充分諒解茲依此次磋議之結果前經

貴領事與譚前総司令商議決定已經承認各案自応繼續承認其

希望改訂之第一条及第六条復經商明重訂如下「第一条各不法行為之直接下手兵卒務予嚴重處罰但關於各不法行為直接

長官之查辦亦應於嚴重查明之後為適切之处置」「第六条主

義上原案雖可承認但華人損害中貨主之損害可就日清公司之查定額切実斟酌另講公正之处置」查原案綱領所載賠償損害並未提明日人華人因是譚前総司令特声明華人損害不包含在

得貴意候 敬具

追テ本件ニ関シ御回答ノ上ハ一応政府ノ訓示ヲ必要トスルトコロニ有之候条至急御回答相成様致度此旨重ネテ申添へ候也

左 記

第一項、曩ニ譚前任ノ確認セラレタル右解決条件中ノ(一)追書及(三)(四)(五)ハ閣下ニ於テモ全部御確認セラレシコト

第二項、右解決条件中ノ(一)ニ付テハ各不法行為下手人タル兵卒ハ總テ嚴重刑罰ニ処スルコトハ勿論ナルモ名不法行為ニ直接干与セル上官ノ查辨ニ関シテハ嚴重查明ノ上適切ノ处置ヲ講ズルコト

第三項、右解決条件中ノ(四)ニ関シテハ主義上原案ヲ承認スルモ唯支那人荷主ノ損害ニ付テハ日清汽船会社ノ查定額ヲ切実ニ考慮シ別ニ公正ノ处置ヲ講ズルコト 以上

(附屬書二)

乙号写

十二月二十七日附趙総司令ヨリ池永領事代理宛公文

湖南事件解決条件承認ノ件

池永先生台鑒巡復者卷查此次湖南事變所生各案前經

貴領事提出解決条件六条与譚前総司令往復磋商業已分別承

拝復湖南事件各項ニ關シ貴領事ヨリ提出セル解決条件六ヶ条ハ貴領事ト譚前総司令トノ間ニ往復磋商セラレ已ニ分別承認シ且ツ書面ヲ以テ附加解釈シ竝ニ第一条及第六条ハ改訂ヲ請フ旨声明シアリテ夫レ夫レ商議決定簽訂済ナル所今般漢口總領事及貴領事ト屢々会商スルニ至リ第一条及第六条ハ貴國政府ニ於テ之カ改訂ヲ承允セサル趣ヲ以テ引続キ磋商全部ノ承認ヲ求メラレ候處本総司令ニ於テモ今回ノ事件發生ニ付テハ深ク遺憾ニ存スル次第ニシテ且ツハ已ニ譚

前総司令ニ於テ商議セラレタル懸案ナレハ自ラ応ニ継続辦理シ以テ解決ヲ期シ度所存ニ有之候然ルニ本件発生ノ原因ハ全ク多數兵士ノ倉卒誤解ノ致ス所ニシテ寔ニ遺憾ノ次第ニ有之候已ニ譚前総司令ヨリ本件各項ノ調査状況ヲ詳細函達致シタル通り即チ各条件ハ分別承認解釈ヲ附シ且ツ改訂ヲ希望シタルモノアルハ事件ヲ慎重ニ取扱フ趣旨ヨリ出タルモノニシテ本総司令ニ於テ継続商議スルモ固ヨリ慎重処理シ以テ切実履行ヲ期セサルヲ得サル次第ニ有之候而シテ貴領事側ハ条件ニ対スル説明ハ已ニ尽キタリト称セラルモ各案ノ実際情況ニ就キテ尚ホ充分ノ諒解ヲ請ハサル可カラサル所ニ有之茲ニ今回商議ノ結果曩ニ貴領事ト譚前総司令トノ間ニ協議決定已ニ承認ヲ経タル各条項ハ元ヨリ継続承認致スヘク其改訂希望ノ第一条及第六条ハ再議ノ結果左ノ如ク

第一条 各不法行為ノ直接下手人タル兵卒ハ嚴重之ヲ処置スヘシ但シ各不法行為ニ関スル直接上官ノ查辦ハ亦嚴重查明ノ後適切ノ処置ヲ為スヘシ

第六条 主義上原案ヲ承認スト雖モ支那人損害中荷主ノ損

候 敬具

趙恒惕

(十二月二十七日)

事項一三 中国内政関係雑件

八一四 四月十六日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛

來朝中ノ總統府秘書孫潤宇中國南北ヲ妥協セシムル
為日本力關係諸國ヲ誘ヒ北方政府ニ共同勧告ヲ為ス
コトヲ要望ノ件

附屬書 孫潤宇ガ高尾總領事ニ對シ為シタル談話要領

政一機密送第四三号
南北妥協問題ニ關シ來朝中ノ總統府秘書孫潤宇來談ノ件

今般東京ニ於テ開催セラレタル國際弁護士協会ニ支那側代表ノ一人トシテ來朝セル總統府秘書孫潤宇ハ來著勿々本大臣ヲ來訪シ支那南北妥協行惣ミノ情況ヲ説キ之レカ成立ヲ期セムカ為ニハ陰曆客年末日本ヨリ借款ニ応セラレタル際其條件中ニ「南北妥協ノ成立ヲ希望ス」トノ条項アルヲ幸ヒ適當ノ機会ニ於テ日本ヨリ關係諸國ヲ誘ヒ更ラニ有力ナル勧告ヲ支那政府ニ致サルルコトトナラハ之ニヨリテ反対派ヲ抑圧シ局面ノ展開ヲ容易ナラシメ得ヘントノ旨ヲ述ヘ

害ハ日清汽船ノ査定額ニ基キ切実斟酌シ別ニ公正ノ処置ヲ講スヘシ

ト改メ候査スルニ原条件綱領所載ノ損害賠償ニ付テハ日本

人ト支那人トニ何等區別シ居ラサルニ依リ譚前総司令ニ於テ特ニ支那人ノ損害ヲ包含セサルヲ声明シ支那人ノ損害ハ

支那官憲ニ於テ調查辦理スル旨附加シ置キタル次第ナル処貴國總領事及貴領事ハ此点ヲ分別解釈シテ湘潭代理店支那人及汽船水夫等ノ支那人ハ日本商ノ直接使用人ニシテ応サニ分別辦理スヘク支那人荷主ノ損害ハ稍々巨額ナルニ依リ支那官憲ヨリ査酌辦理スヘク但シ日清汽船ニ累ヲ及ボサランヲ期シ別ニ相當ノ処置ヲ執ルヲ妨ケスト為サレタルヲ以テ茲ニ併セテ再ヒ声明致シ置キ度右今回ノ磋商決定ニ基キタルモノニ有之候ニ付テハ右御查照相成度此段回答申進候 敬具